

# 学生による授業評価アンケート(報告)

## － 集計結果および授業改善策 －

---

令和3(2021)年度

令和4年7月

別 府 大 学

## 目 次

1. アンケート結果の総括・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
「学生による授業評価アンケート」の結果について	
FD 委員長 安松みゆき	
2. 授業評価アンケートを踏まえた各教員の授業改善策等	
文学部国際言語・文化学科・・・・・・・・・・・・・・・・	35
文学部史学・文化財学科・・・・・・・・・・・・・・・・	48
文学部人間関係学科・・・・・・・・・・・・・・・・	59
食物栄養科学部食物栄養学科・・・・・・・・・・・・・・・・	68
食物栄養科学部発酵食品学科・・・・・・・・・・・・・・・・	77
国際経営学部国際経営学科・・・・・・・・・・・・・・・・	83
教職課程・・・・・・・・・・・・・・・・	92
司書課程・・・・・・・・・・・・・・・・	96
3. 2021 年度学生による授業評価アンケート実施要項等・・・・・・・・	99



## 1. アンケート結果の総括



別府大学FD委員会

委員長 安松 みゆき

## (1)経緯

別府大学では、授業改善を目的に平成14年に「学生による授業評価アンケート調査」をはじめて実施し、以降毎年アンケート調査を行ってきた（2021年度は15回目）。これまで、前期と後期で交互に調査を実施しており、2019年度（令和元年度）には後期（14週目～以降）にアンケート調査を行い、「原則として全科目を対象」（2019年度までは教員が選択した2科目）にしてアンケート調査を実施した。2020年度では科目対象は2019年度を引き継いで全科目とし、アンケート調査は前期と後期の各学期毎に行なったが、その結果については一年を通して全体で把握する形に変更した。その方法により教員への回答負担軽減につながったため、今年度も昨年の形式を踏襲することにした。また今年度もコロナ禍にあったが、運用においては今後のwith Covid 19（ウィズ・コロナ）を見据えて対面授業にできるだけ戻すなど、昨年度とは異なった方法がとられた。今後は一部でオンライン授業を活用しつつ、基本的には対面授業を行う方向での運用を目指すため、コロナ禍での授業に関する項目も引き続き加わっている。設問項目には内容的に類似するものなどがあるので改めて整理した。それによって従来よりも質問項目を減らすことができた。そのことは学生への回答負担を減らすことにつながっている。引き続き短大とできるだけ共通の項目を揃えて実施した。

## (2)アンケートの質問項目

「学生による授業評価アンケート調査」の設問は、従来大きくQ1群とQ2群、および自由記述に分けられてきたが、前述のようにコロナ禍という特異な状況の中での教育を実施したため、2020年度に設定した方法に即してコロナ禍の授業に対する設問をQ3群としている。Q1群はアンケートに回答する学生自身の受講態度に対する設問であり、下記の5項目について学生自身が自己評価を行う。Q2群は学生が受講した授業内容について問うもので、対象となる授業科目に関して8項目の質問が設定されている。これらの設問では類似する項目などがあったため、項目を整理した。それによって項目数が昨年度よりも減少し、学生へのアンケート回答への負担軽減にもつなげることができた。Q1群、Q2群、Q3群の設問の回答は、⑤そう思う、④どちらかといえばそう思う、③どちらともいえない、②どちらかといえばそう思わない、①そう思わない、の5段階とする。自由記述は「1. この授業で良いと思う点を教えてください」と「2. この授業の改善点を教えてください」の設問で構成されている。

次に設問Q1群、Q2群、Q3群の小項目を記す。

### 設問Q1群

- ①あなたはこの授業を休んだり、課題の提出が遅れたりしないで受講しましたか。
- ②あなたはこの授業の間、他のことに気をとられず集中して取り組みましたか。

- ③あなたはこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか。
- ④あなたはこの授業内容の課題やレポートなどに積極的に取り組んだと思いますか。
- ⑤あなたはこの授業のために1週間あたり平均何時間勉強しましたか。

〔内訳は、⑤2時間以上、④1～2時間、③30分～1時間、②15～30分、①15分未満〕

#### 設問Q2群

- ①新型コロナ対策に沿った授業概要への変更および到達目標について説明されていきましたか。
- ②学生の理解度や到達度を確認し、授業を進めていましたか。
- ③教材（テキスト・配布資料）、教具の利用は適切でわかりやすい授業でしたか。
- ④教員の説明（話し方、資料）はわかりやすかったですか。
- ⑤学生が質問や意見を述べられるように配慮がなされていましたか。
- ⑥教員の授業に対する熱意・真剣さが感じられましたか。
- ⑦授業の達成目標は到達できましたか。
- ⑧コロナ対策の下での授業として、この授業は満足できるものでしたか。

#### 設問Q3群

- ①オンライン（ハイブリット含）授業が適切に用意されていましたか。
- ②オンライン（ハイブリット含）授業の利用方法は十分に案内されましたか。
- ③オンライン（ハイブリット含）授業利用に対するサポートは十分に提供されましたか。
- ④オンライン（ハイブリット含）授業など代替授業は、従来の授業に比べて不足のないものでしたか。
- ⑤あなたの通信環境や機器などで、オンライン（ハイブリット含）授業は不便なく利用できましたか。

### (3)アンケートの実施方法

このアンケート調査では、専任教員と非常勤教員の授業を調査対象としている。2019年度以降「原則として全科目を対象」（＝シラバスに記載がある科目）にした調査に変更している。外部評価等が求める基準や全国大学で実施されている授業評価アンケートの趨勢を考慮したものであり、多くの科目で評価を受けることで、教員が自らの授業について多角的に分析・考察を行い、授業改善に更に効果的に取り組むことを可能にすることをねらいとした。

2021年度の「学生による授業評価アンケート調査」は、前期末の2020年7月27日（月）～8月8日（土）にかけて、後期末の2021年1月12日（火）～2021年1月23日（土）にかけて実施した。前期は6月に、後期は12月にWEB上での入力方法を添付した文書にて全教員に周知し、その後教授会等において口頭で入力指導のお願いと確認を行った。授業時間内で行うか、あるいは授業時間外で行うかについては、回収率が悪いため、できるだけ演習で実施してもらうように合わせて教授会でお願いした。

アンケートの集計は、昨年同様にコロナ禍での授業に関して新たに加えた項目についてはFD委員会で分析し、それ以外を外部に委託した。具体的な集計の内容は大学全体の平均値と教員別の

質問項目ごとの比較、教員別の自由記述の整理、学部・学科ごとの平均値の一覧を基本とする。コロナ禍以前から学生の授業時間外学習が問題となっていたが、コロナ禍になって大方の大学で悪化している状況がある。今回はこの状況を踏まえて、学生に学ぶ姿勢を取り戻してもらおうきっかけになるように、特に授業時間外の学習への分析に力点を置いている。

アンケート結果については、2020年度に外部委託からの前期の集計結果の提示が12月に遅延したために、想定していなかったが、教員への前期結果の通知を、後期アンケート結果とまとめて通知することに変更した。前述したように、この方法が教員への負担軽減につながったため、今年度も昨年度同様に年度末に通知した。通知する内容は、各教員への評価結果（質問項目別の数値と自由記述）と全体の平均値となる。さらにそれを受けて、各教員には前期・後期の評価結果に基づき、「授業改善プラン」を提出してもらった。それら調査結果と授業改善プランは報告書にとりまとめ、学生の閲覧に供する。また総括した部分については、HPでも学生が確認できるようにする予定である。最後に各教員の評価結果を学長と各学部長に提供し、学長と学部長は評価が極端に低い教員に対して助言を行う。

## **(4)アンケート結果の分析**

### **4-1 考察の変更について**

考察等については 2019 年度までに採用していた、授業時間外の学習時間と各設問との関連などの確認を行う様式に戻している。前述のとおり昨年度に比べオンライン授業などは減っており、重要な授業時間外学習の時間の確認を行う。ただし設問は昨年とほぼ同様のため、関連を確認する対象の設問はそれに合わせて変更している。

### **4-2 全体的な傾向と考察**

#### **4-2-1 低い回答率**

全体として回答率の低い傾向が続いている。全体の平均回答率は、前期 52%・後期 47%で、いずれも半数以上の科目が回答率 50%を下回っている。少人数の科目では回答率 100%のものもかなり増えたが、依然として許容誤差 5%とした場合、満たしている科目は前期で 52 科目、後期で 29 科目、大半が受講者数 10 名以下の少人数科目だった。

全体的にわずかに改善しているとは言えるが、回答の信頼性を担保するには大きく不足している。

少人数の科目ほど回答率が高くなりやすく、また極端な評価をつけやすいため、それらの偏りを補正するためにも、全体平均で 90%程度を目指す必要があると考えられる。また分析で後述するように前期・後期でも回答者数が減少している状況も見做せない。

したがって回答率の向上には、抜本的な対応が求められる。教員による回答の要求は不可欠であるものの、やはり学生自身がアンケートの重要性を理解することが最も重要であるため、そのことを促す方法を構築することが必要となる。適切な解決方法はなかなか見つからないが、たとえば、現在就職活動に結びつけた教育を強化しているために、アンケートをその一貫として捉えて、社会に出た時の重要な対応として学生に指導する方法が提案できる。

#### **4-2-2 評価の全体的な傾向**

昨年度以前に引き続き、学生による科目に対する評価を示す Q2 群の平均では、3 ポイント台

の科目が前期で 63 科目、後期で 75 科目あった。中には 1 ポイント台の極端に低い評価の科目もあったが、受講者が少人数で回答数も非常に少ないため、偏りのひとつとして捉える値と言える。

Q2 群の平均の低い科目は、学生による授業への取り組みの自己評価である Q1 群の平均に対し、1 ポイント近い差のある科目も珍しくない。Q2 群（授業内容や教員への評価）から Q1 群（自己の取り組み評価）を引いた結果がマイナスになる科目は、学生にとって相対的に授業の満足度が低かったことを示す。

Q1 群で低い科目は、学生自身の意欲や努力の不足が原因の可能性もあり、それに合わせて Q2 群が下がる可能性が考えられる。しかし Q1 群が高いにも関わらず Q2 群が低い科目は、学生の意欲や具体的な努力に応えられていないという点で、心理的な満足度は数値以上に低いと考えられる。この傾向は例年続いており、特に改善が必要である。

#### 4-3 評価の高い科目の傾向 講義形態

今回の評価では前期・後期ともに、講義形態「演習」の科目が、Q2 群の高評価科目に含まれる割合がやや高かった。Q2 群平均上位 50 科目における講義形態「演習」の科目が占める割合は、前期・後期ともに 60%以上あった。次いで「講義」、わずかに「実習」系の科目だった。

科目全体で見ると、講義→演習→実習の順に評価が高くなるという形態の傾向は、過去の授業評価でも一貫して続いている。しかし Q2 群上位の科目に占める割合では、演習が占める割合は大きく、むしろ実習は講義よりも少ない。Q2 群という学生の授業や教員に対する評価を基準にすると、実習より演習の方が高い評価を受けやすい傾向があると言える。

#### 4-4 評価の高い科目と低い科目の傾向 受講人数

受講人数の影響は、非常に少人数の科目で全ての回答が 5 ポイントとなるなど、極端な結果になりやすい。今回も前期・後期ともに、全問 5 ポイントの科目は、ほとんどの回答数が 10 件以下の少人数科目である。この傾向も例年継続している。

一方で、評価が極端に低い科目も大半が回答数 10 件以下のものであり、いずれも少数回答による偏りが強く出てしまっている。少人数の科目の方が、良い評価も悪い評価も極端に受けやすい傾向がある。

少人数の科目は、教員との距離が密接になりやすい分、低評価をつけにくい。またそもそも受講者が 5 名もない科目では、誰が低評価をつけたのかすら教員に判別できてしまう可能性がある。そのため全設問が 5 ポイントといった極端な評価が生じやすい。一方で、特定の学生と教員の間には何らかの衝突等があれば、それが直接極端な低評価となってしまう場合もある。

こうした回答数による偏りは、個々の科目の評価として見ても問題だが、学科等の単位で集計した際に問題となる。少人数科目の割合で、評価が大きく歪められる可能性があるためである。極端な偏りを排除するためには、回答率を高めることはもちろん、少人数科目の扱いを分けて集計するなど、何らかの工夫が必要である。

もちろん、人数が多いにも関わらず Q2 群平均が低かったり、Q2 群平均 - Q1 群平均が大きくマイナスになるような科目は別個に改善が必要だが、そのような傾向は全体に共通しては見られない。

## 4-5 授業外の学習時間 (Q2)

設問 2-1「この授業の予習・復習や課題・宿題のために、1週間あたり平均何時間勉強しましたか。」は、学生が授業時間外に、どの程度学習に時間を費やしたのかを確認するものである。

前述したように授業外の学習時間は昨今大学教育において重要視された点であり、なおかつコロナ禍の影響を最も大きく受けた側面でもあるため、今回はこの項目について詳細に分析を行った。

回答は「2時間以上」「1～2時間」「30分～1時間」「15～30分」「15分未満」という単位で設定しているため、時間の把握としてはある程度粗い単位となる。これらにより学習時間の長いものから5～1の5段階のスコアを与え、これを平均して傾向を把握する。またグラフによって回答の割合も確認する。

最後に、平均と授業の属性や他の設問との相関を確認し考察する。

### 4-5-1 授業形態と授業外学習時間

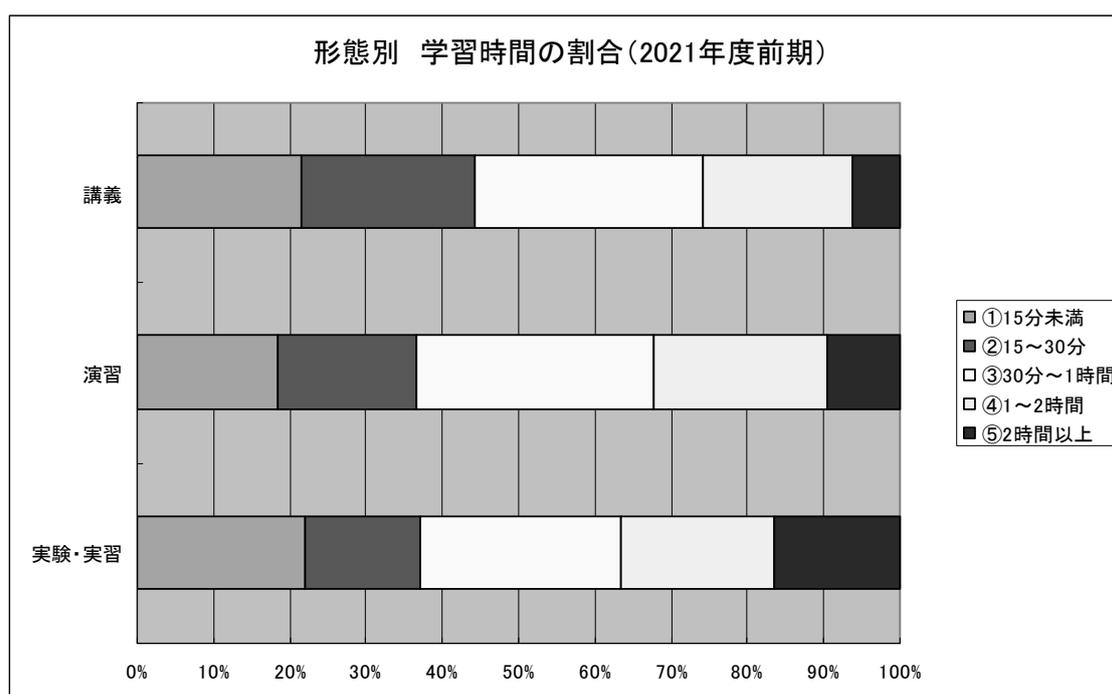
授業には、「講義」「演習」「実習（実験・実技含む）」の形態がある。これらの形態による授業外学習時間を比較する。

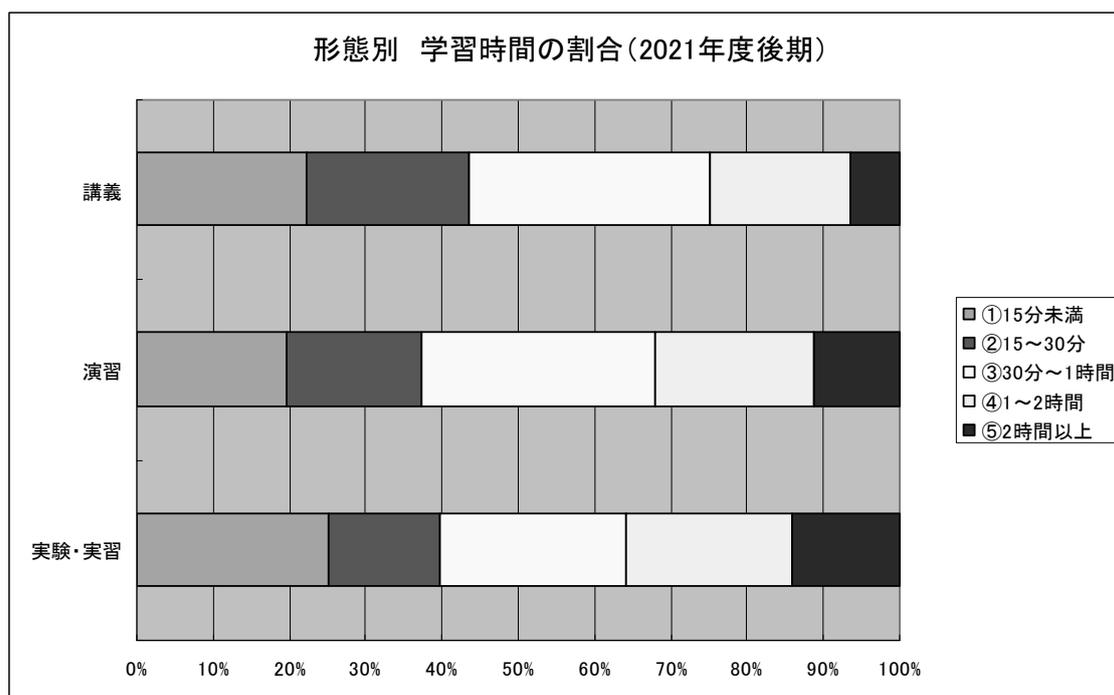
まず、5段階の学習時間を平均した結果は、前期・後期それぞれ以下のようになる。

前期	講義	2.66	演習	2.87	実習	2.94
後期	講義	2.66	演習	2.87	実習	2.85

おおよそ実習（実験・実技含む）、演習、講義の順に高く、実験・実習と講義の差は大きいという傾向は例年と変わらないが、後期ではわずかに演習が実習類を上回っている。

次に、形態ごとの回答数の割合を示す。





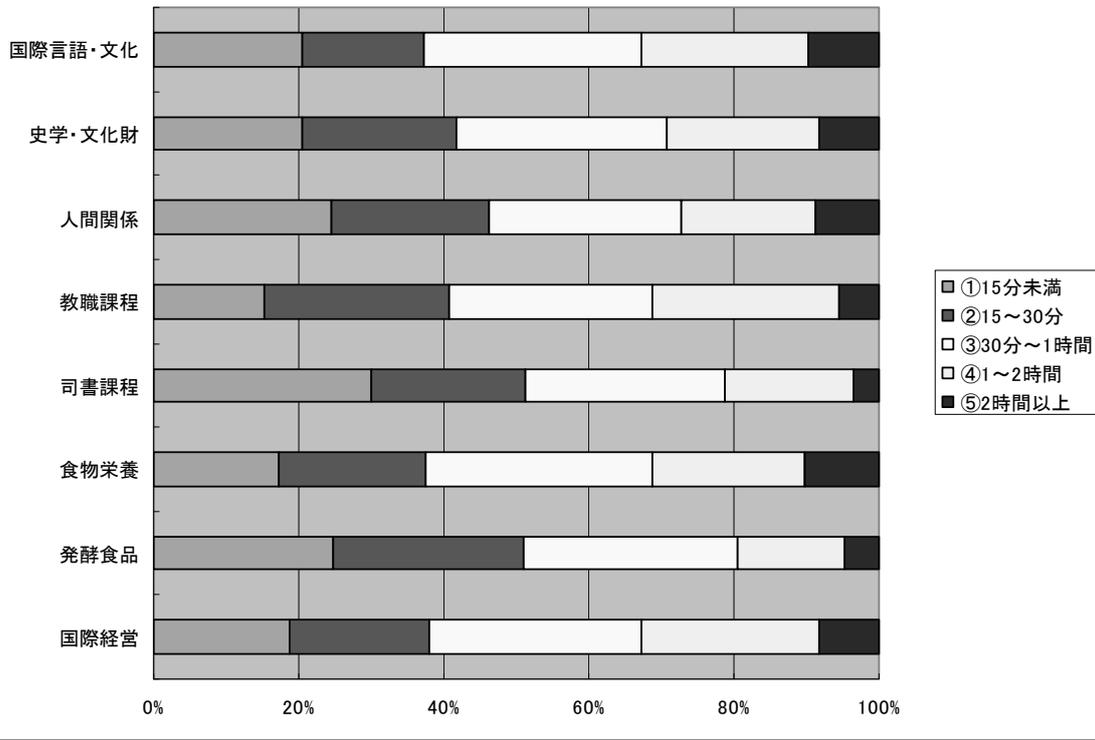
前期・後期ともに、形態別の傾向は近い。講義、演習、実習の順に学習時間に占める長時間の回答が多い。件数としては中間にあたる30分～1時間という回答が多く、次に15分未満が多い。前期・後期ではやや後期の方が、長時間の回答が減っている。

#### 4-5-2 教員所属学科別の学習時間

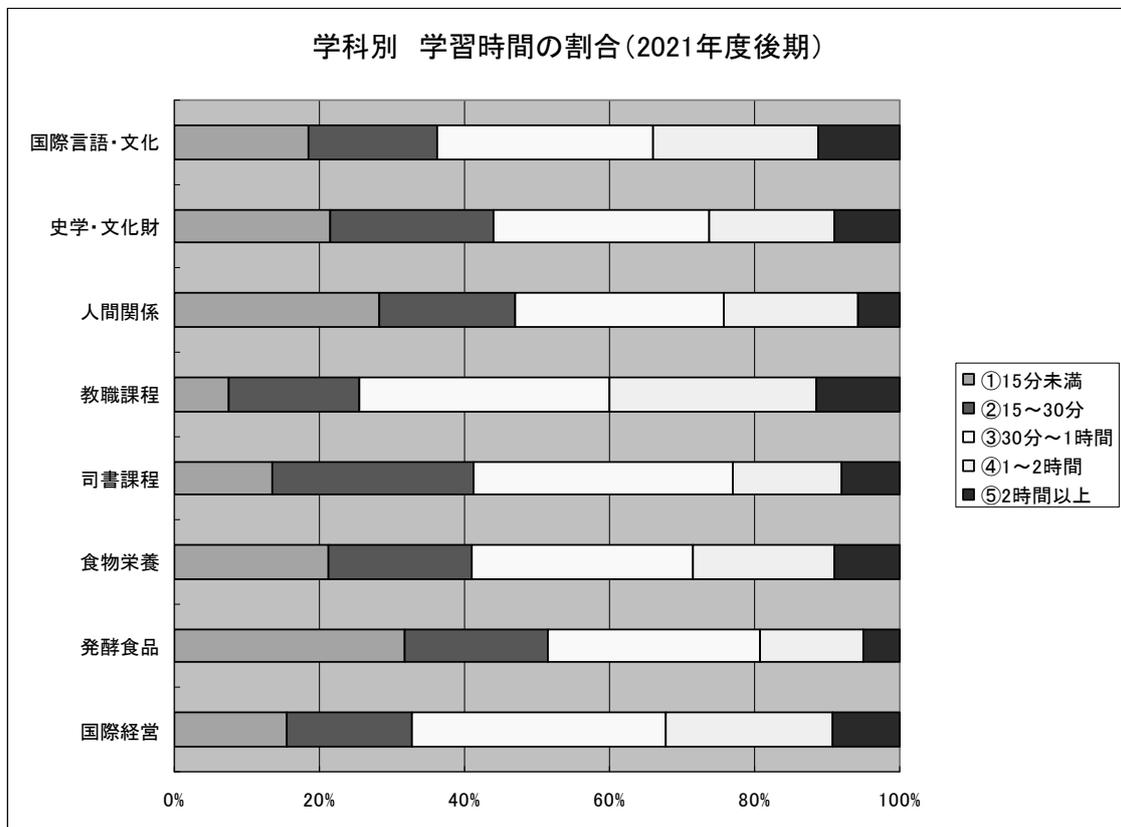
各学科での学習時間の平均スコアは次のようになる。

	前期	後期
国際言語・文化学科	2.85	2.90
史学・文化財学科	2.75	2.70
人間関係学科	2.65	2.53
教職課程	2.81	3.18
司書課程	2.41	2.79
食物栄養学科	2.87	2.74
発酵食品学科	2.46	2.41
国際経営学科	2.84	2.93
非常勤	2.69	2.46

学科別 学習時間の割合 (2021年度前期)



学科別 学習時間の割合 (2021年度後期)



全体的には前期・後期で極端な違いはないのが国際言語・文化学科である。一方で、向上している学科、低下している学科もある。史学・文化財、人間関係、食物栄養学科、発酵食品学科では低下し、国際経営、教職、司書では増加している。

継続している問題は、「①15分未満」の回答が2割以上もある学科が引き続き見られる点である。「①15分未満」は、実質学習時間を設けていないのに近い。「②15～30分」も合わせると、授業時間外に学習時間をまともに確保できていない科目が、4割前後存在していることになる。

「①15分未満」の回答を減らし、2, 3, 4...と改善していくためには、学生の意識の向上はもちろんだが、教員からの働きかけや、授業内外での工夫も不可欠である。たとえば取り組みやすく、且つ効果的な課題や、積極的に参加を促す授業手法などが有効と考えられる。

#### 4-5-3 Q1群の各問と学習時間

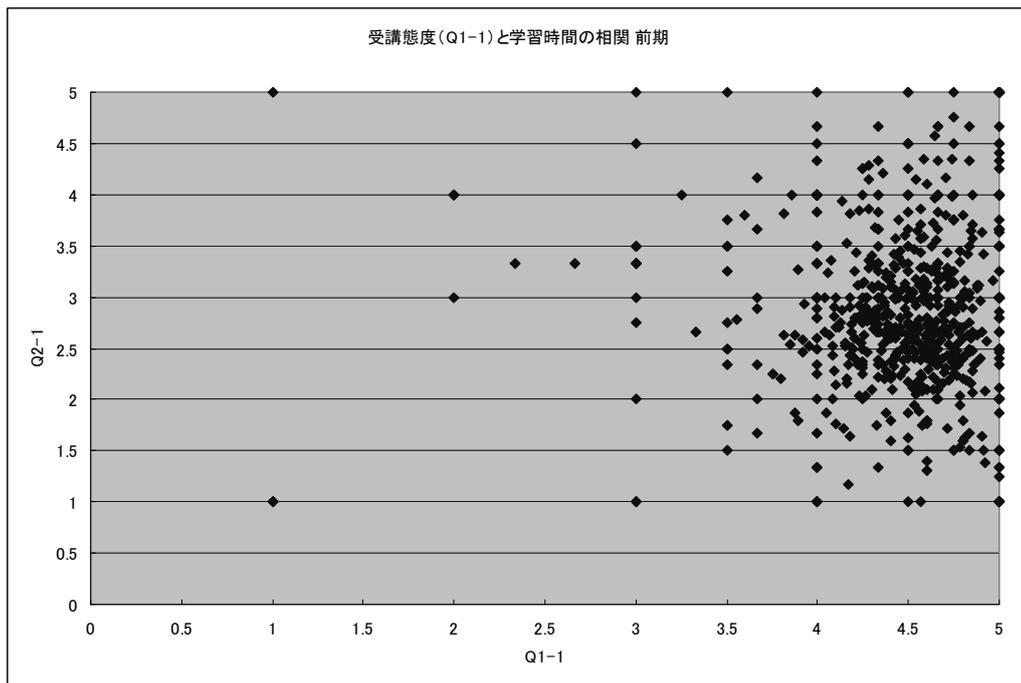
Q1群の設問は学生による授業への意識や取り組みの自己評価である。これらの各設問とQ2-1の学習時間の相関を、散布図と相関係数で確認した。ただしこれらの確認では、大きな傾向は見えるが、係数の差がそのまま相関の実際の差となるわけではない点に注意が必要である。

Q1-1「あなたはこの授業を休んだり、課題の提出が遅れたりしないで受講しましたか。」と授業外学習時間の相関係数は、前期で0.02、後期で0.05と、全設問中最も低いものだった。いわゆる"まじめに受講する"という態度と、授業外学習時間の間には、想像以上に相関がないと言える。

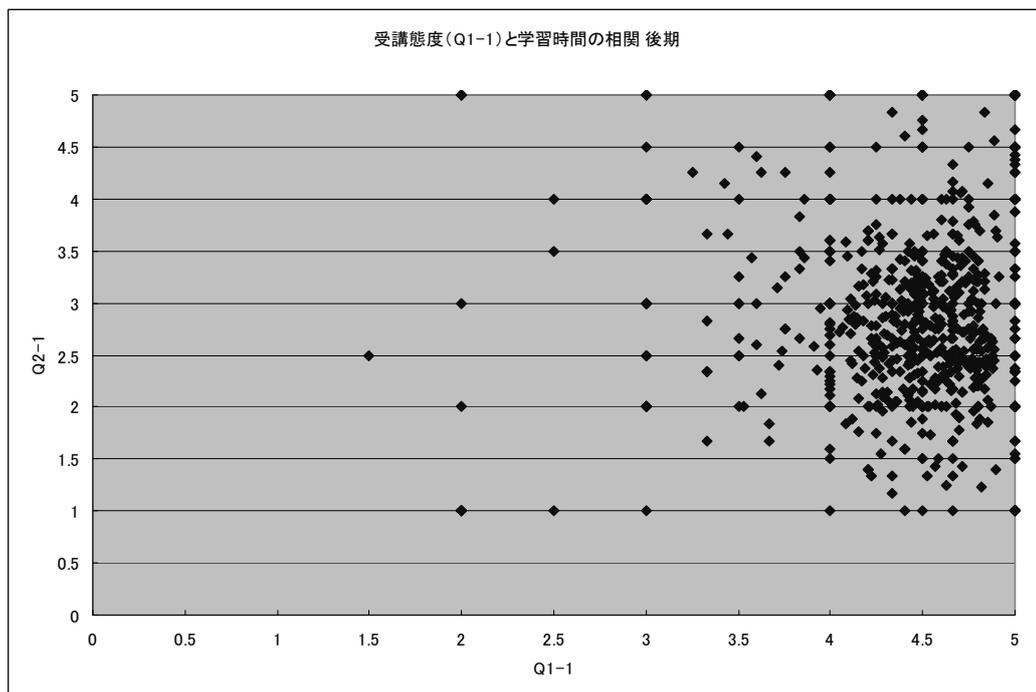
Q1-2～4は学生自身の授業へのより具体的な取り組み方を問うものだが、これらは0.16～0.25の間と、Q1-1に比べれば相関が見られるが、強いものではない。

少なくとも今年度のアンケートにおいては、学生自身の意識と授業外の学習時間とに、強い相関は見られなかった。次に、授業への評価との相関を確認する。

# 受講態度 (Q1-1) と学習時間の相関

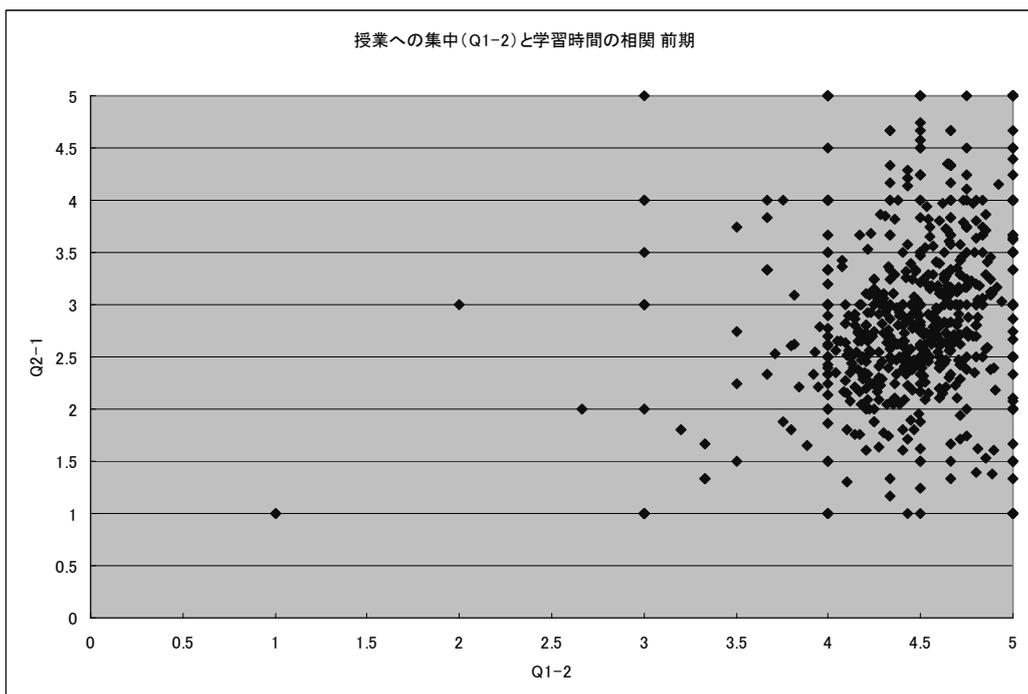


相関係数 : 0.02

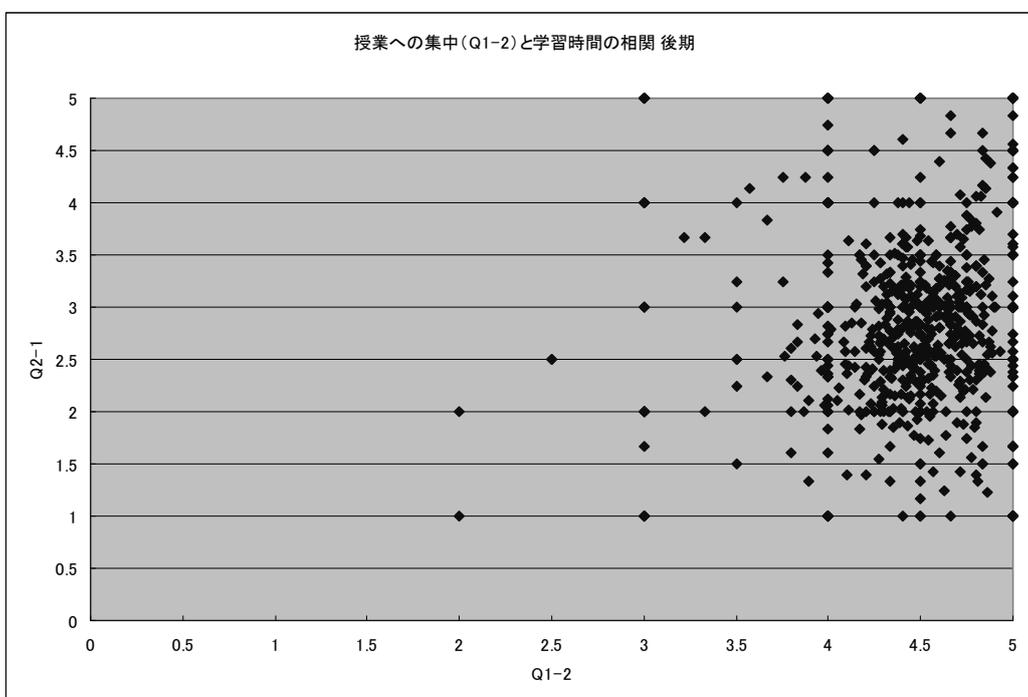


相関係数 : 0.05

# 授業への集中 (Q1-2) と学習時間

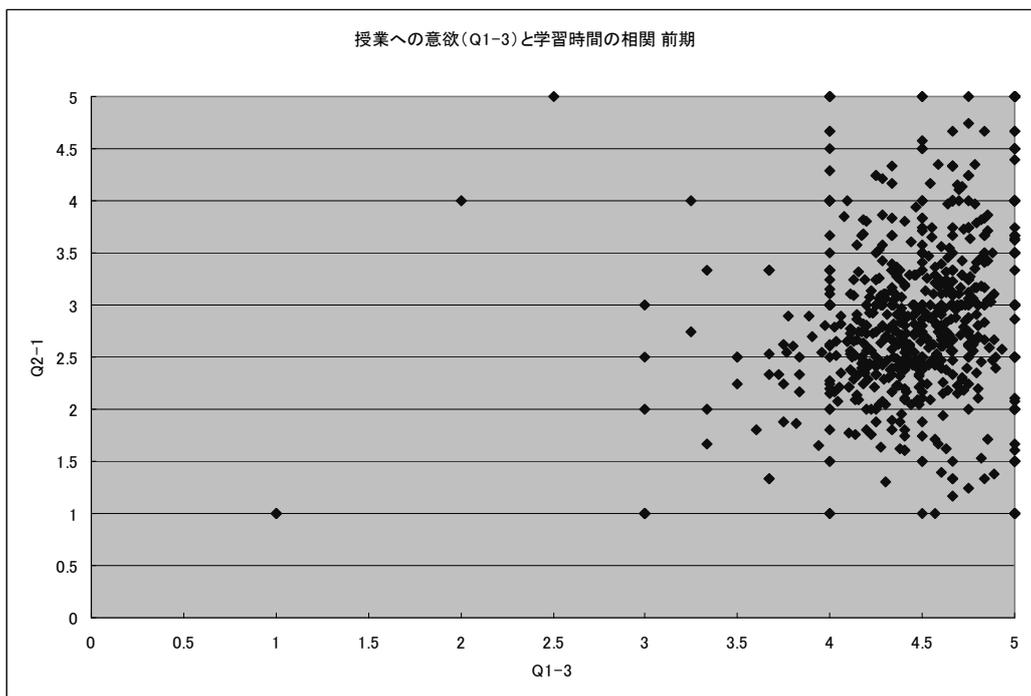


相関係数 : 0.25

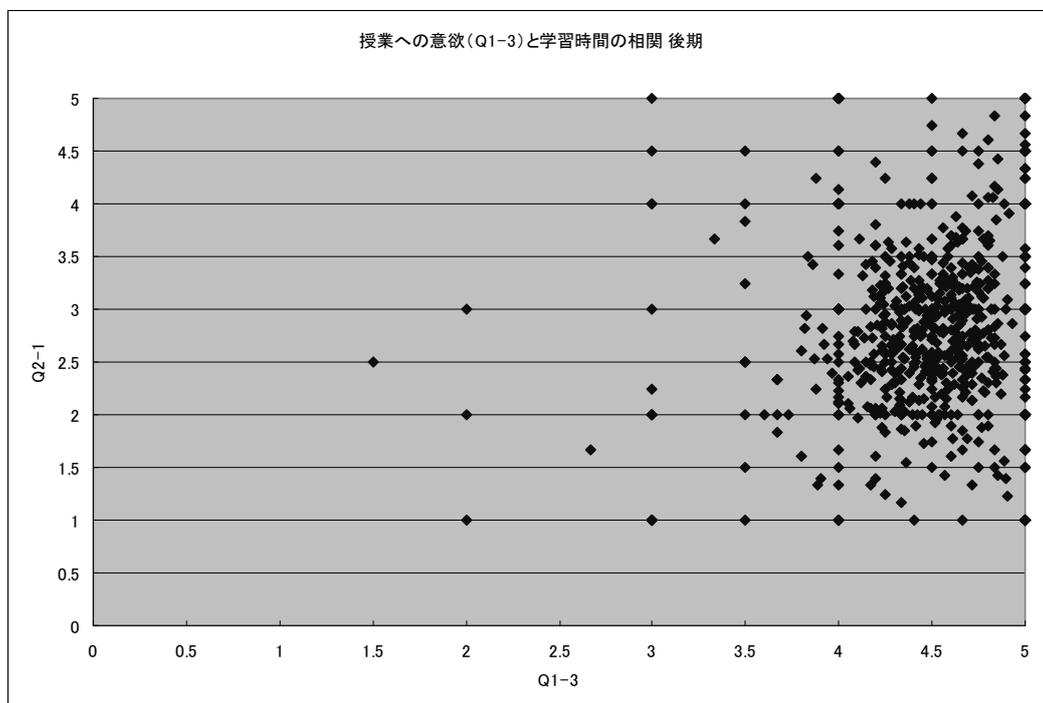


相関係数 : 0.16

# 授業への意欲 (Q1-3) と学習時間

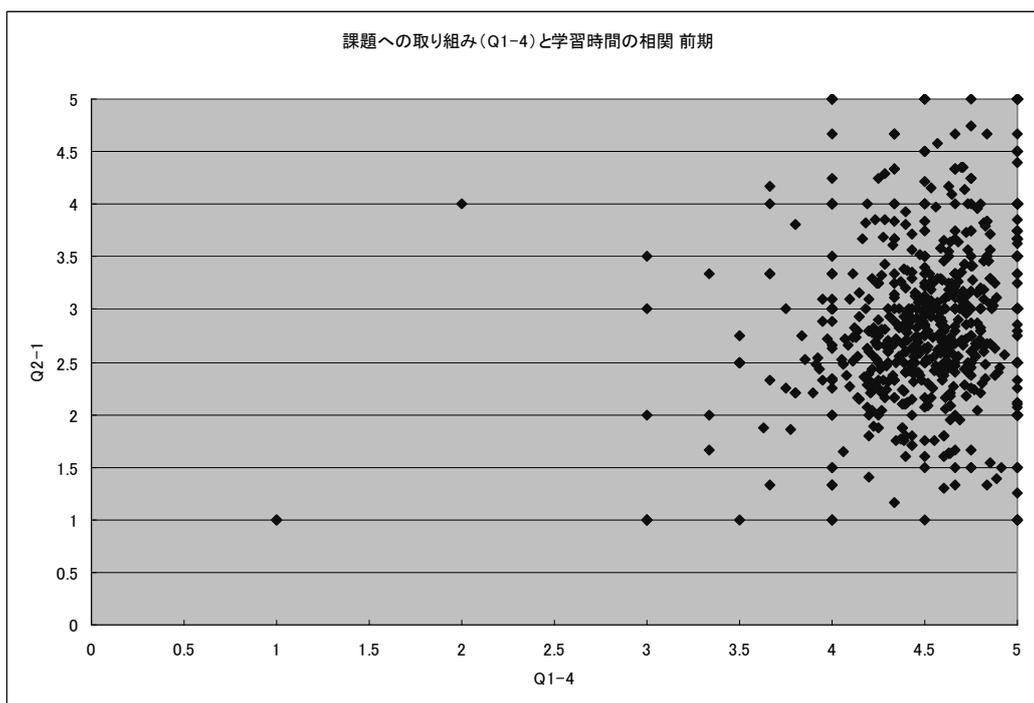


相関係数：0.23

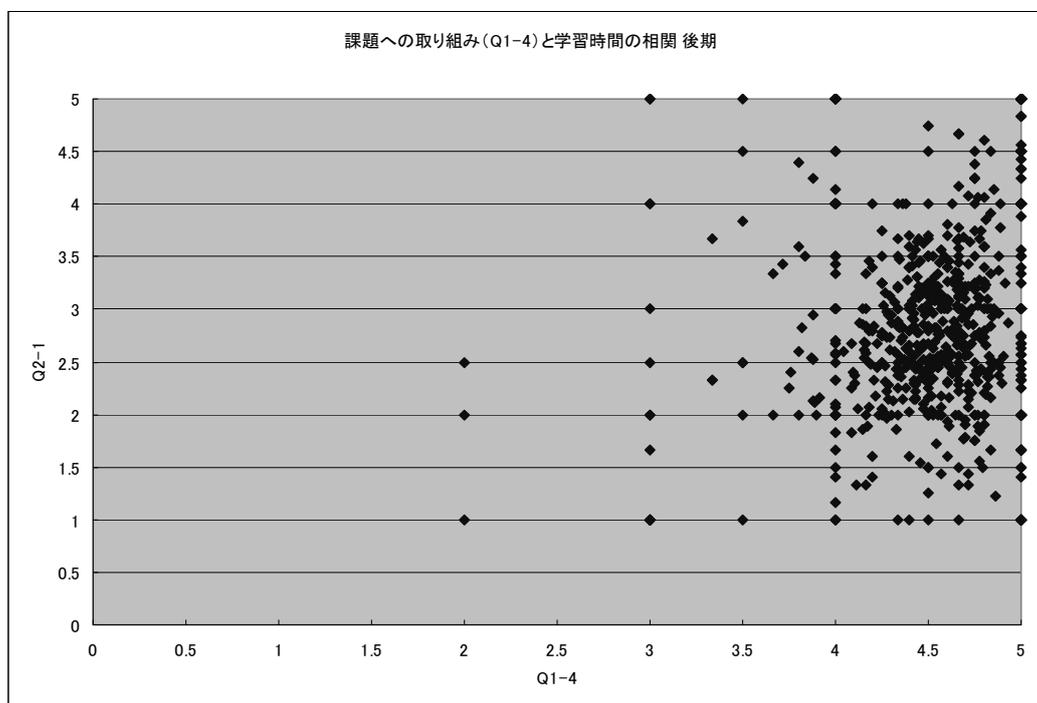


相関係数：0.19

### 課題への取り組み (Q1-4) と学習時間



相関係数 : 0.24



相関係数 : 0.19

#### 4-5-4 Q2群の各問と学習時間

Q2群の設問は、学生による授業への評価である。これらの各設問とQ2-1の学習時間の相関を確認する。

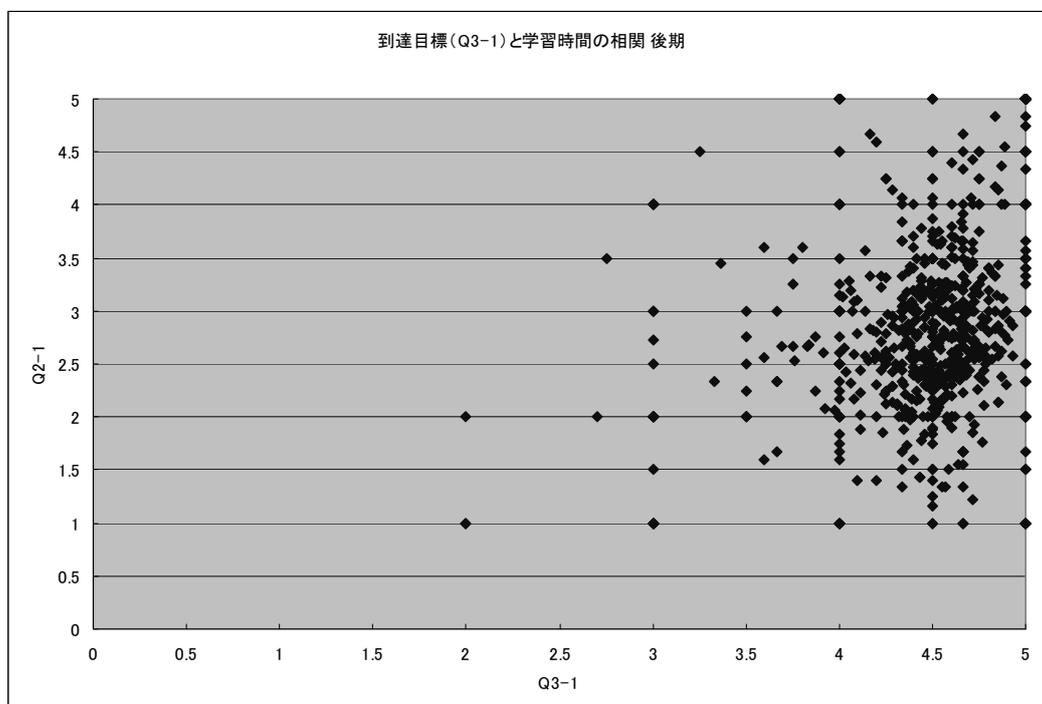
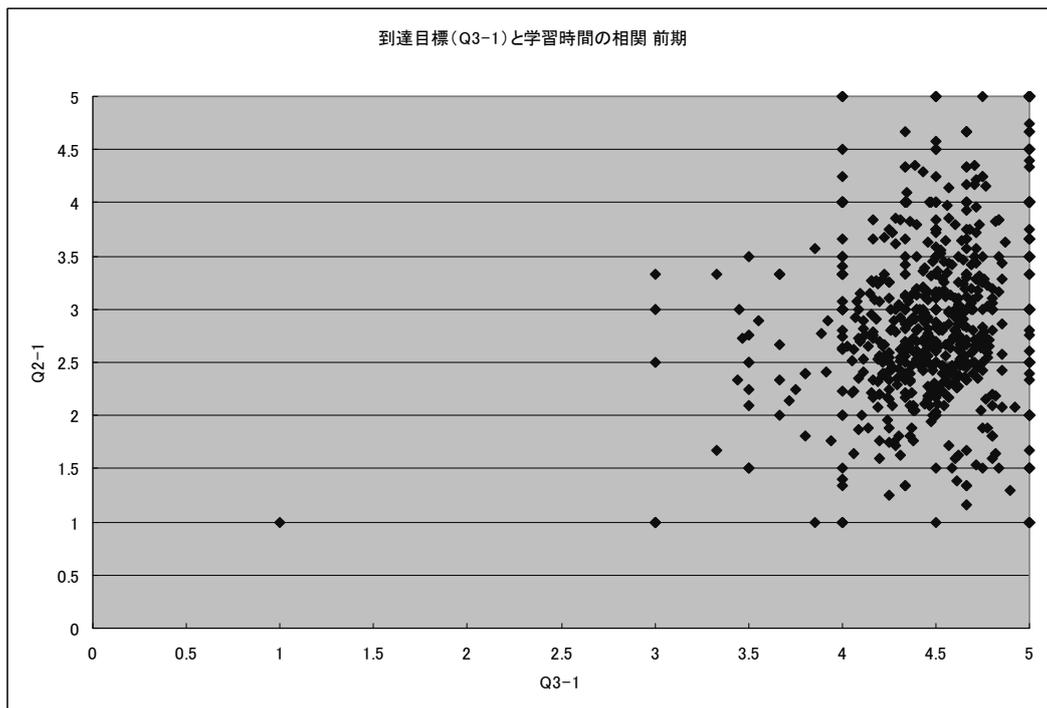
全体的な傾向として、従来の調査に比べて相関は低く見える。最も高いものでもQ2群の設問のなかのQ2-2「学生の理解度や到達度を確認し、授業を進めていましたか。」の3.3を示した。それも前期では1.6であり、この設問が強い相関をしているとは考えにくい。

他の設問でも同じような傾向で、いずれの設問でも逆相関は見られないが、多いものでも弱い相関程度の係数しか確認できていない。

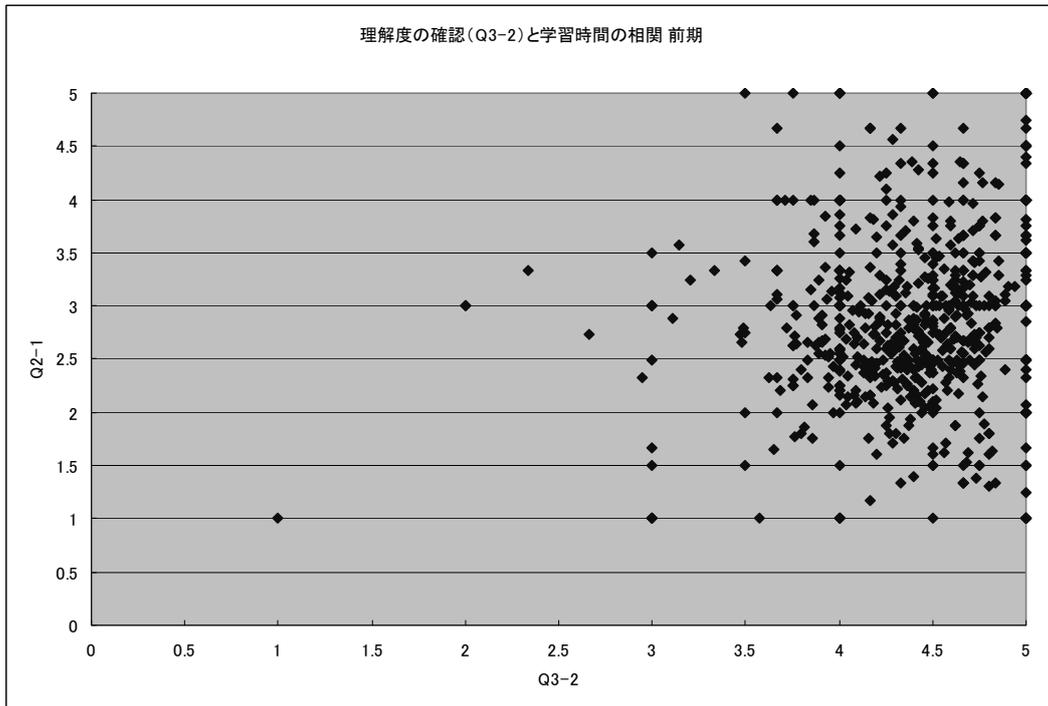
これほど全体的に弱い相関しか確認できない理由として、まず低い回答率が考えられる。十分に実態を把握できるとは言えない回答率が現状であり、これが授業外学習時間の相関にも影響している可能性がある。次に科目の人数や教員との関係である。人数が少なすぎたり多すぎる場合や、教員との関係が密接すぎたり敵対的だったりした場合には、全てに5をつけるなど歪んだ回答が行われ、それにより相関が正しく見えない可能性がある。

もう一つの理由として、設問が想定している評価そのものが、授業外学習の実態と相関を見出すのに適切ではない可能性も指摘できる。たとえば、スマートフォンの利用時間や、在宅時間、アルバイトの時間など、学生の私生活に関わる設問の方が、より明確な相関を示す可能性はある。

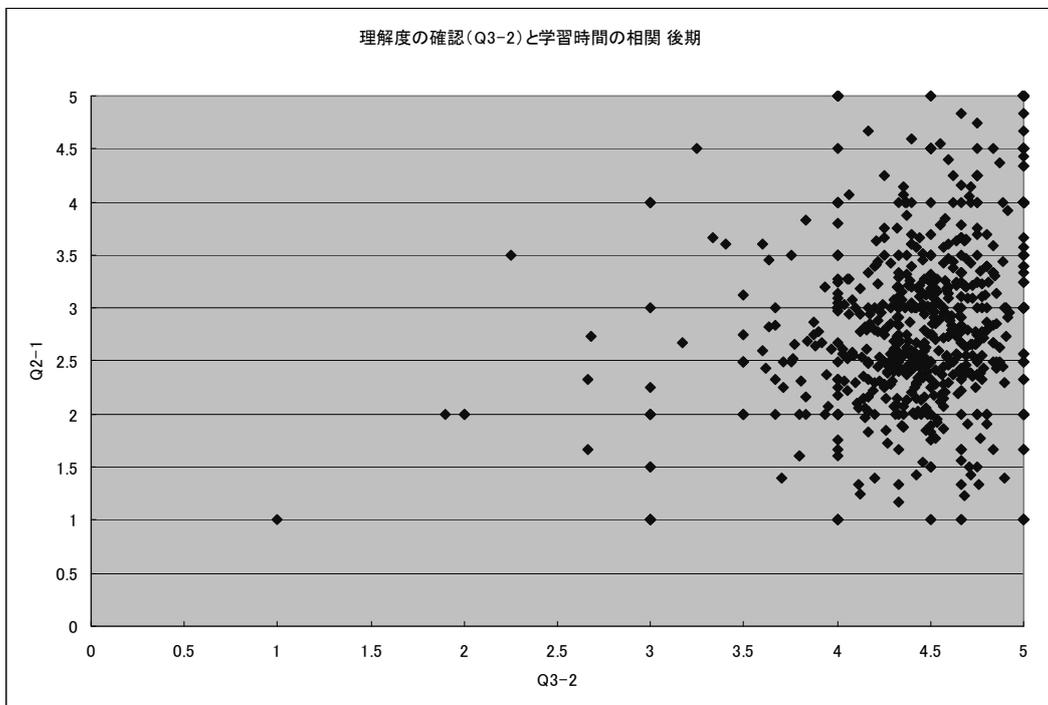
# 到達目標 (Q3-1) と学習時間



# 理解度の確認 (Q3-2) と学習時間

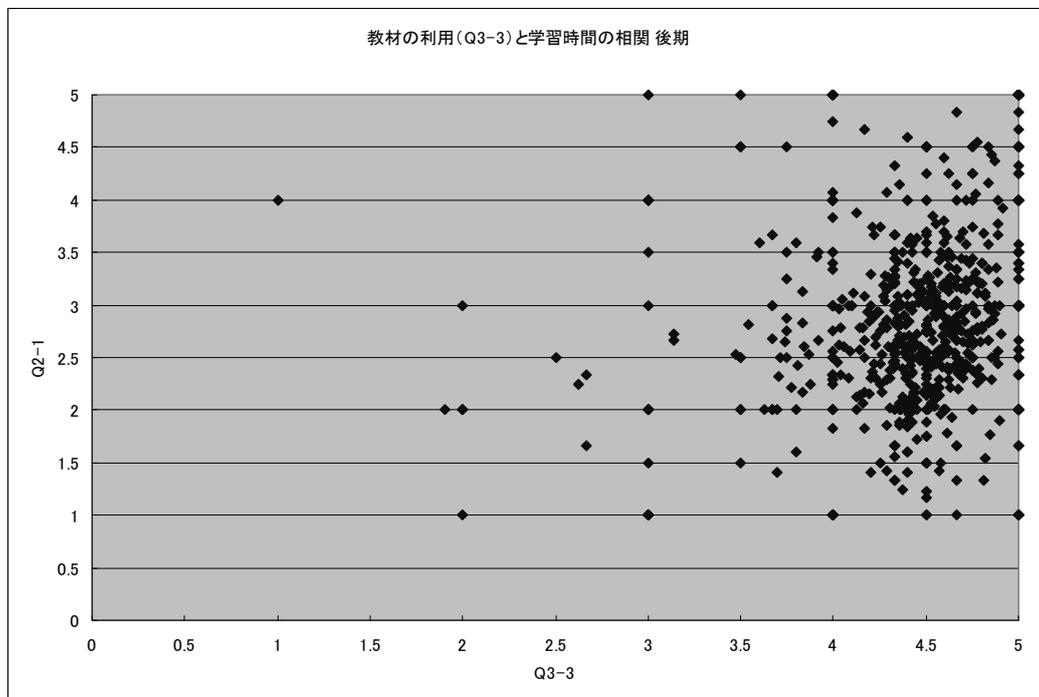
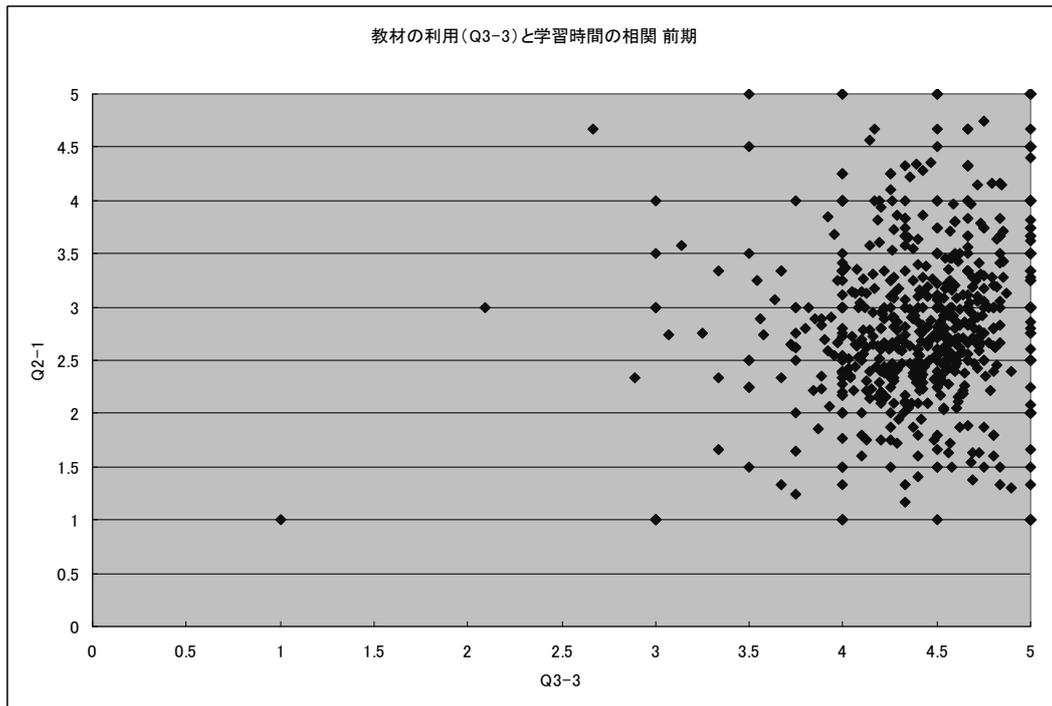


相関係数：0.16

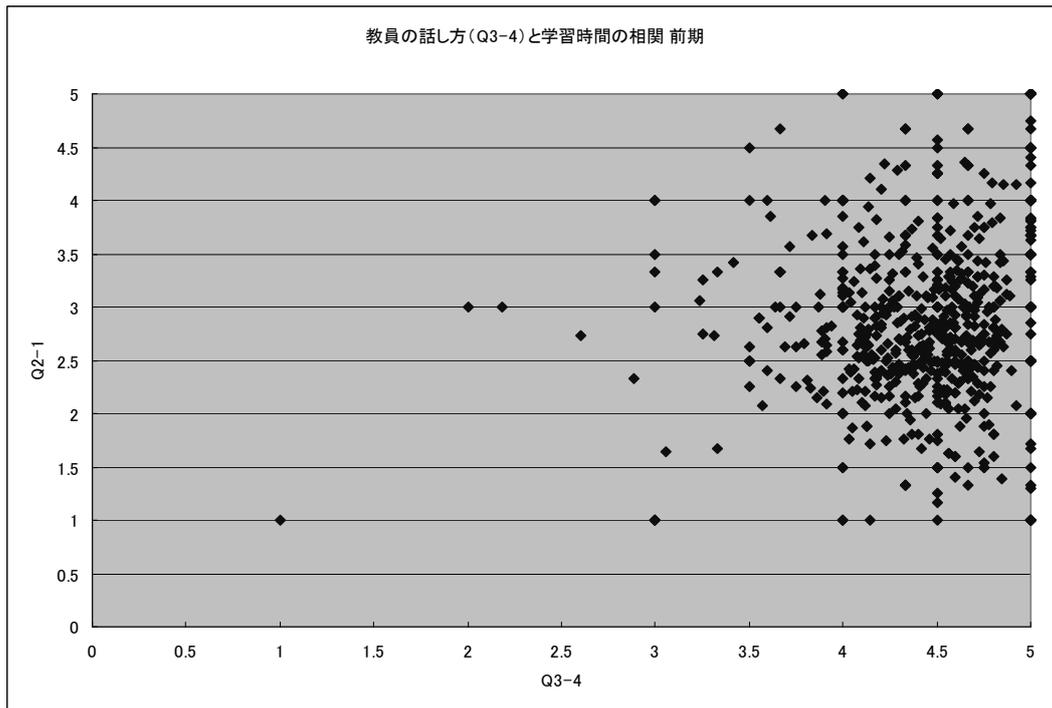


相関係数：0.33

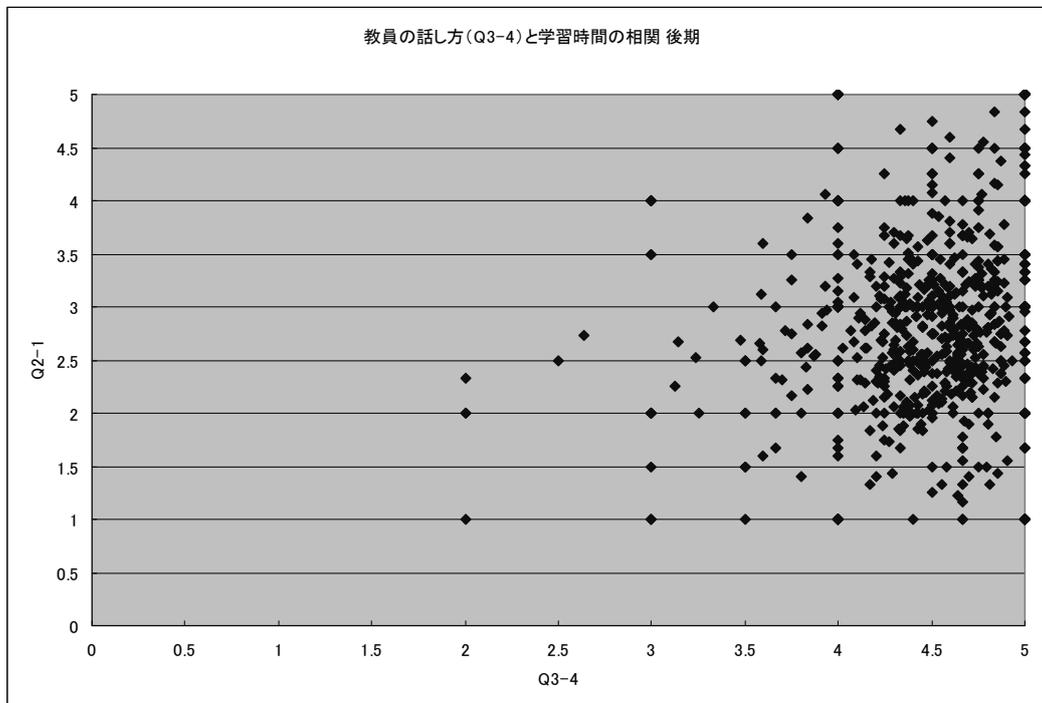
# 教材の利用 (Q3-3) と学習時間



# 教員の話し方 (Q3-4) と学習時間

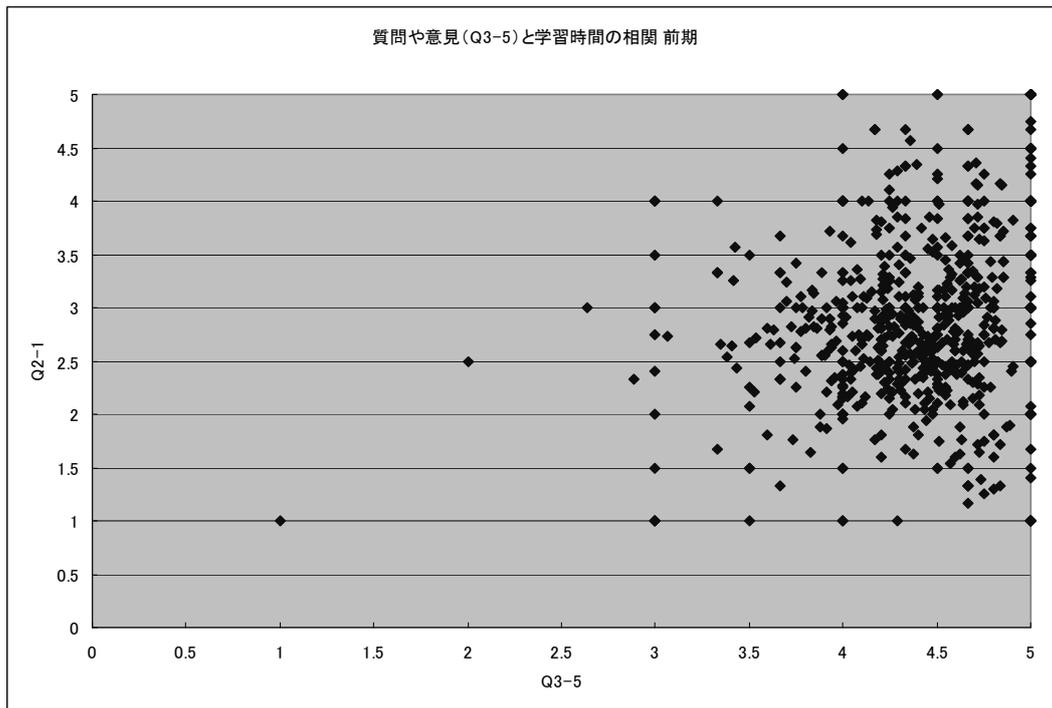


相関係数 : 0.15

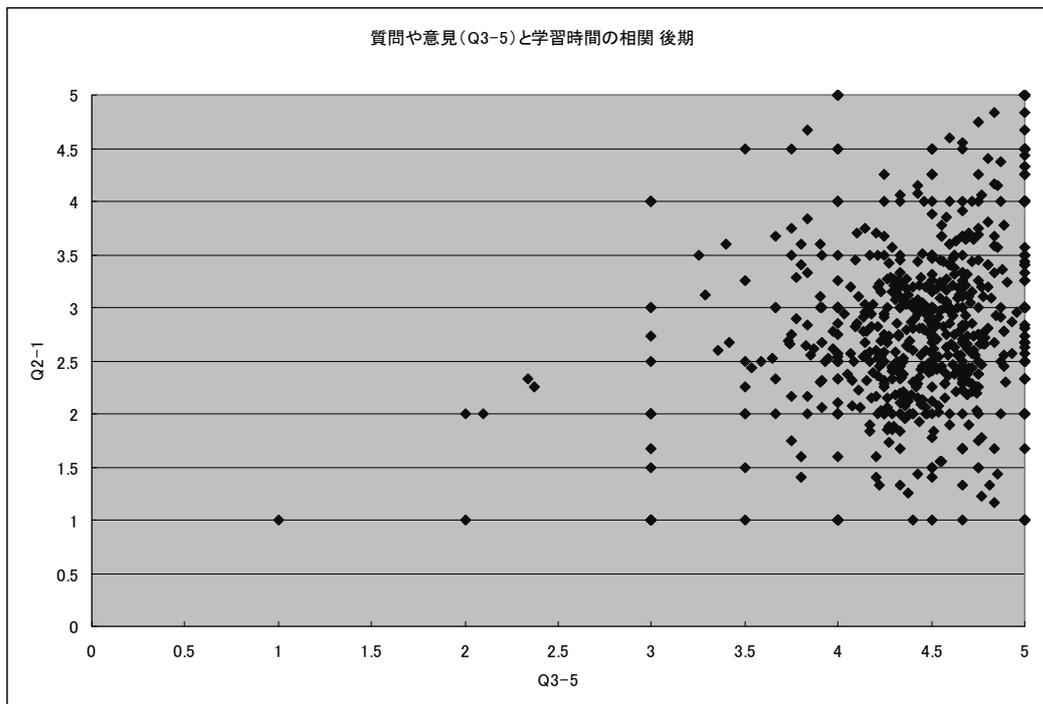


相関係数 : 0.28

# 質問や意見 (Q3-5) と学習時間

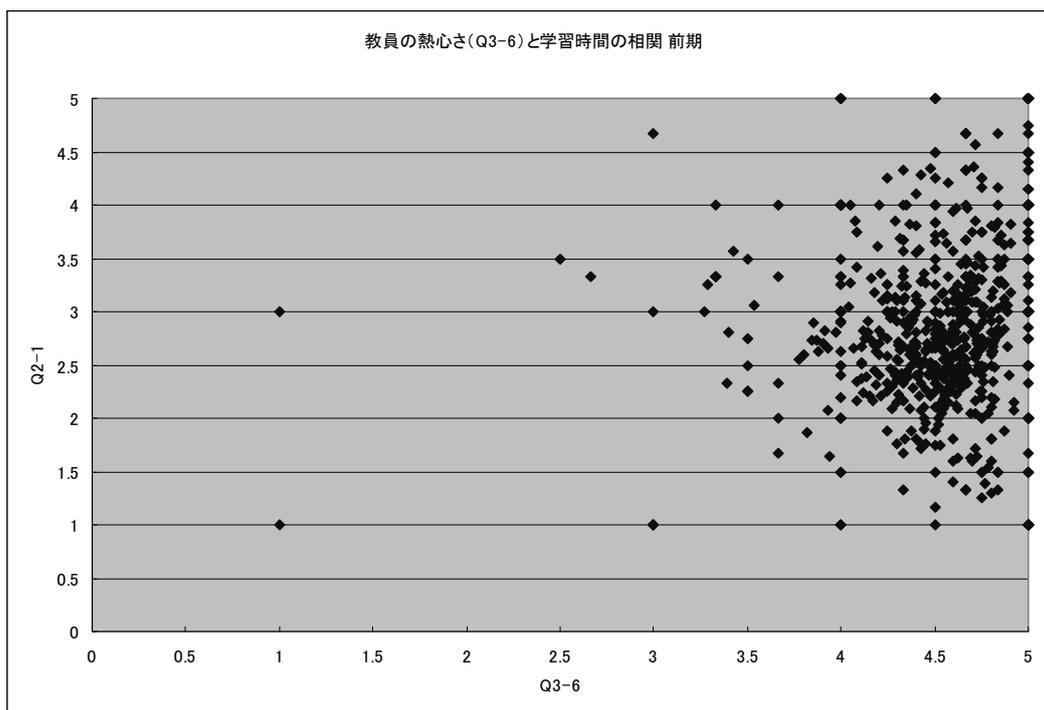


相関係数 : 0.22

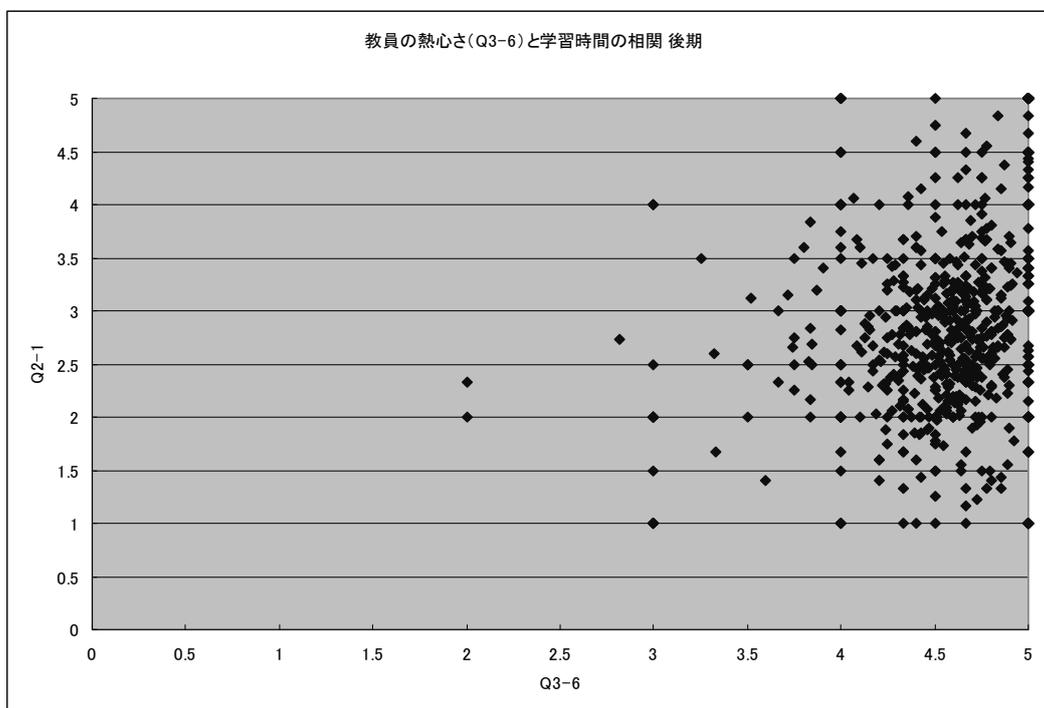


相関係数 : 0.33

# 教員の熱心さ (Q3-6) と学習時間

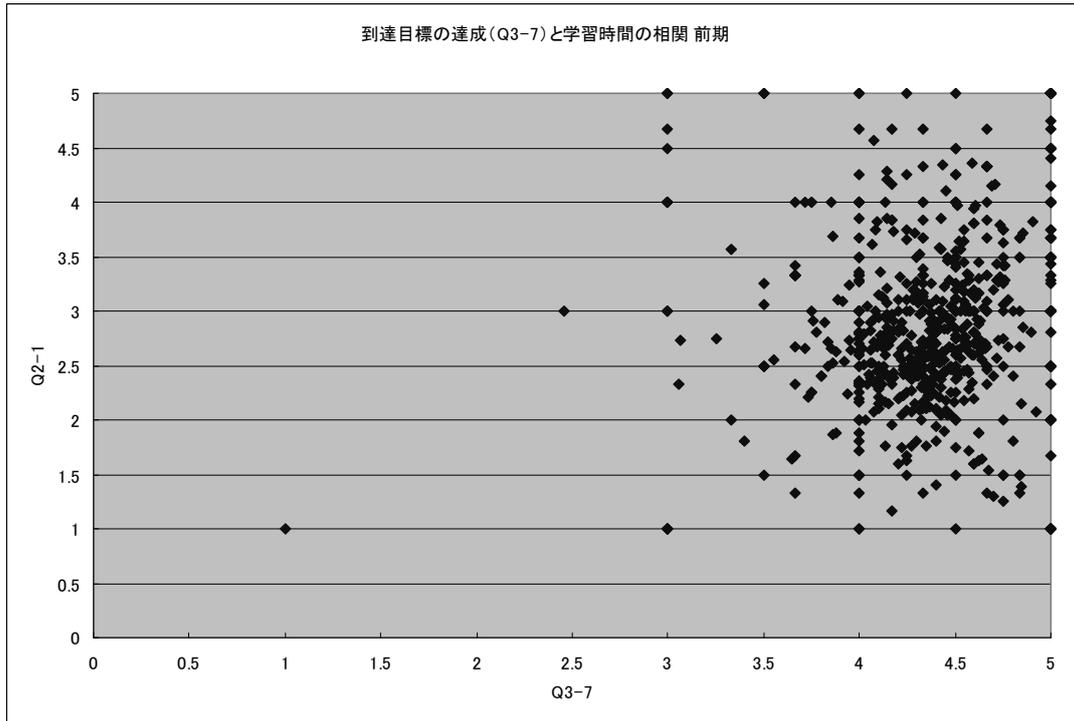


相関係数 : 0.13

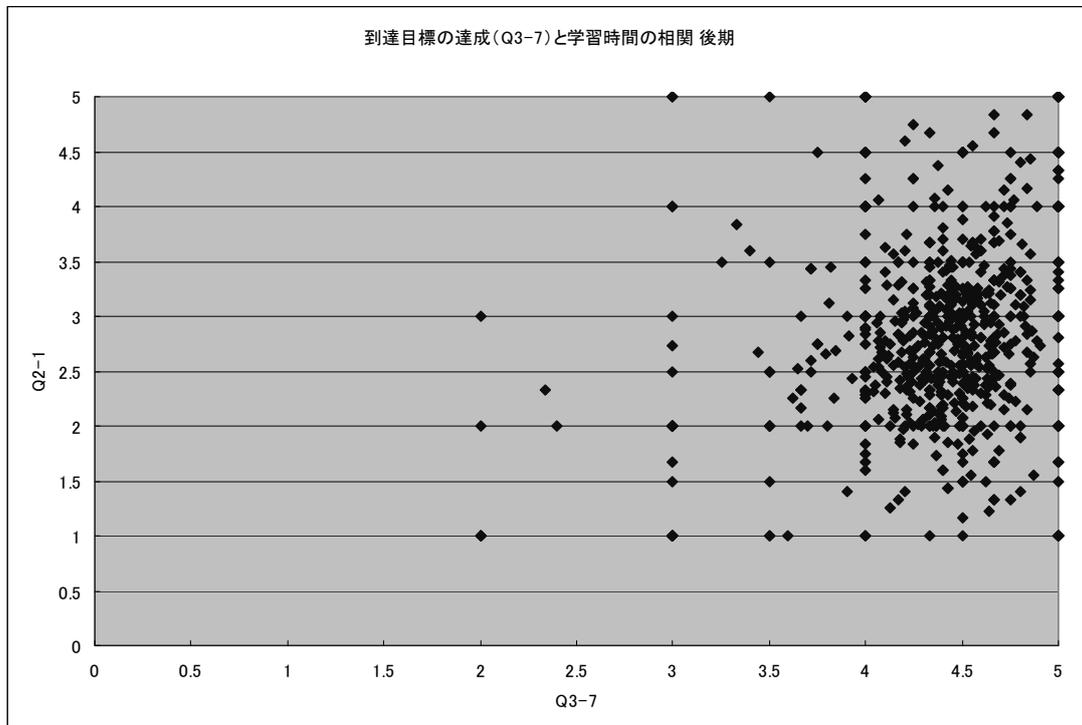


相関係数 : 0.28

# 到達目標の達成 (Q3-7) と学習時間

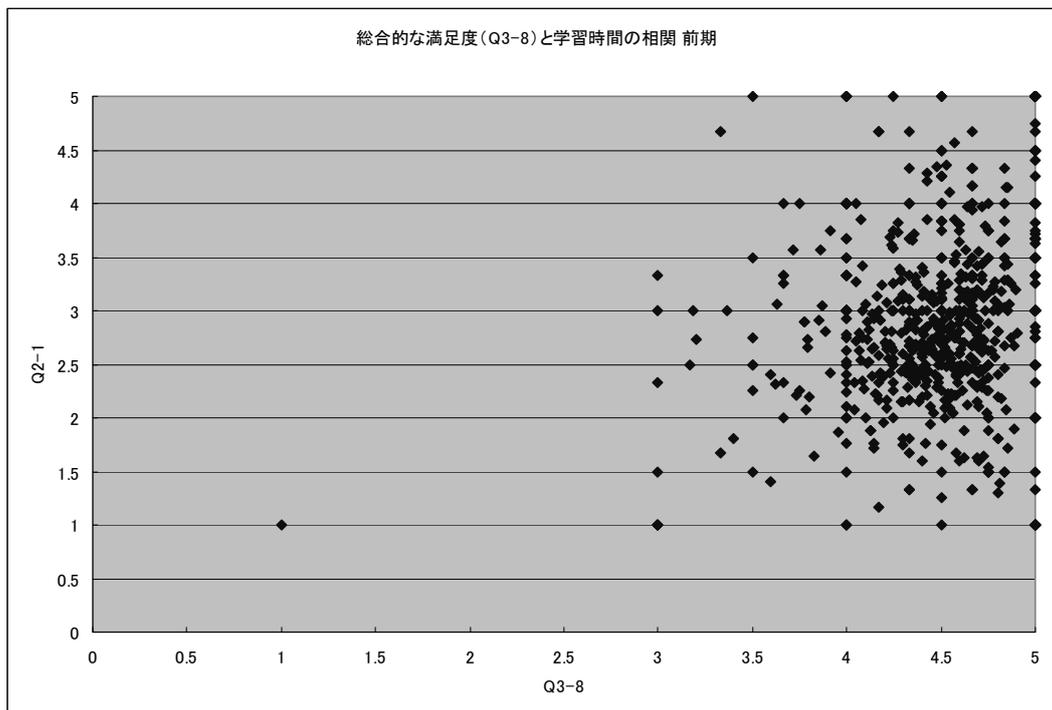


相関係数 : 0.13

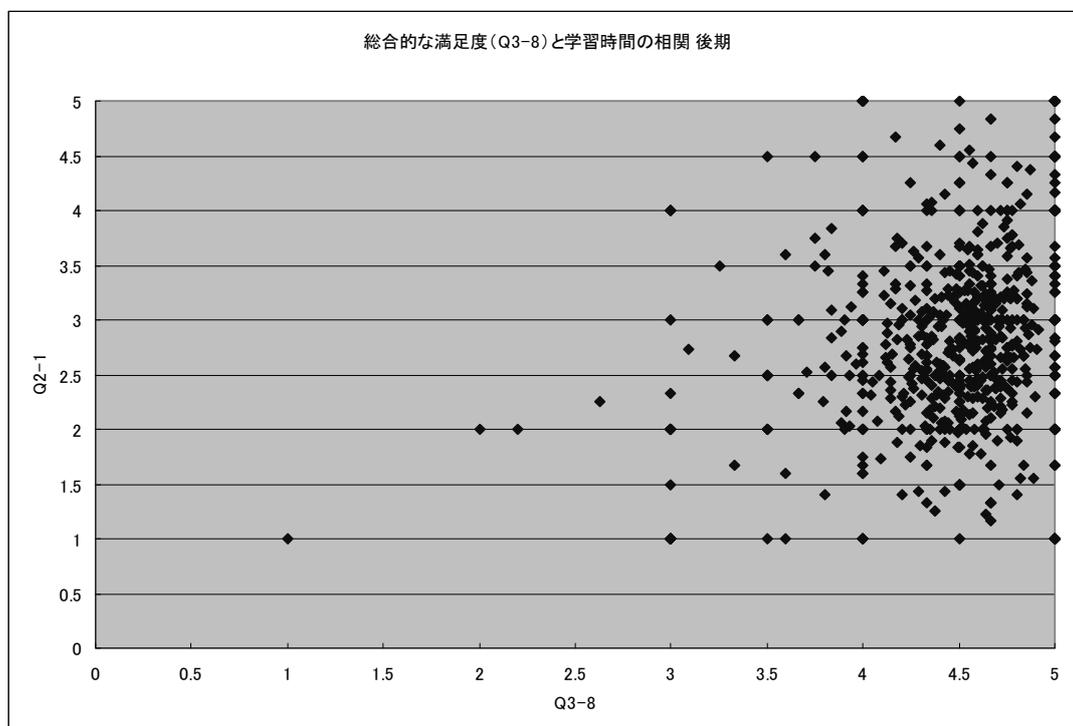


相関係数 : 0.31

### 総合的な満足度 (Q3-8) と学習時間



相関係数 : 0.18



相関係数 : 0.31

## 4-6 総合的な自己評価（Q1-3）及び授業評価（Q3-8）と各設問

### 4-6-1

Q1-3「あなたはこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか。」と、Q3-8「コロナ対策の下での授業として、この授業は満足できるものでしたか。」は、それぞれ自己及び授業に対する総合的な評価を行う設問である。これらの設問と、他の設問の相関を見ることで、自己評価及び授業評価に影響の大きい要素を確認できることが考えられる。

Q1-3「あなたはこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか。」

まず学生による自己評価の中で自主的な意識に関する Q1-3 と、他の設問の相関を見る。

#### 前期

No.	問い	相関係数
Q1-1	あなたはこの授業を休んだり、課題の提出が遅れたりしないで受講しましたか。	0.61
Q1-2	あなたはこの授業の間、他のことに気をとられず集中して取り組みましたか。	0.85
Q1-3	あなたはこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか。	
Q1-4	この授業内容の課題やレポートなどに積極的に取り組んだと思いますか。	0.84
Q2-1	この授業の予習・復習や課題・宿題のために、1週間あたり平均何時間勉強しましたか。	0.23
Q3-1	新型コロナ対策に沿った授業概要への変更および到達目標について説明されていましたか。	0.61
Q3-2	学生の理解度や到達度を確認し、授業を進めていましたか。	0.58
Q3-3	教材（テキスト・配布資料）、教具の利用は適切でわかりやすい授業でしたか。	0.57
Q3-4	教員の話し方は、明瞭で聞き取りやすかったですか。	0.55
Q3-5	学生が質問したり、意見が述べられるように配慮がなされていましたか。	0.54
Q3-6	教員の授業に対する熱意・真剣さが感じられましたか。	0.57
Q3-7	授業の達成目標は到達できましたか。	0.62
Q3-8	コロナ対策の下での授業として、この授業は満足できるものでしたか。	0.60

#### 後期

No.	問い	相関係数
Q1-1	あなたはこの授業を休んだり、課題の提出が遅れたりしないで受講しましたか。	0.71
Q1-2	あなたはこの授業の間、他のことに気をとられず集中して取り組みましたか。	0.84
Q1-3	あなたはこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか。	
Q1-4	この授業内容の課題やレポートなどに積極的に取り組んだと思いますか。	0.84
Q2-1	この授業の予習・復習や課題・宿題のために、1週間あたり平均何時間勉強しましたか。	0.19
Q3-1	新型コロナ対策に沿った授業概要への変更および到達目標について説明されていましたか。	0.56
Q3-2	学生の理解度や到達度を確認し、授業を進めていましたか。	0.55
Q3-3	教材（テキスト・配布資料）、教具の利用は適切でわかりやすい授業でしたか。	0.56
Q3-4	教員の話し方は、明瞭で聞き取りやすかったですか。	0.59

Q3-5	学生が質問したり、意見が述べられるように配慮がなされていましたか。	0.56
Q3-6	教員の授業に対する熱意・真剣さが感じられましたか。	0.54
Q3-7	授業の達成目標は到達できましたか。	0.63
Q3-8	コロナ対策の下での授業として、この授業は満足できるものでしたか。	0.56

当然ながら Q1-1~Q1-4 までの設問との相関が高く、それに比べて Q3 の設問グループとの相関は低い。そして前項で述べた通り、Q2-1 の授業外学習時間との相関は低い。いわゆる受講態度についての Q1-1 に比べると、残りの 2 問がやや相関が見られる。大きな差ではない。従来通り、自身が総合的に意欲的と捉える科目に対しては、Q1 の設問の相関は高い。

Q3 の設問との相関は 0.5~0.6 の範囲で、ある程度の相関は見られるが、Q1 の設問ほどではない。

#### 4-6-2 Q3-8「コロナ対策の下での授業として、この授業は満足できるものでしたか。」

Q3-8 は、学生による授業への総合的な評価であり、この設問 2-1 との相関は重要である。

##### 前期

No.	問い	相関係数
Q1-1	あなたはこの授業を休んだり、課題の提出が遅れたりしないで受講しましたか。	0.36
Q1-2	あなたはこの授業の間、他のことに気をとられず集中して取り組みましたか。	0.53
Q1-3	あなたはこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか。	0.60
Q1-4	この授業内容の課題やレポートなどに積極的に取り組んだと思いますか。	0.58
Q2-1	この授業の予習・復習や課題・宿題のために、1 週間あたり平均何時間勉強しましたか。	0.18
Q3-1	新型コロナ対策に沿った授業概要への変更および到達目標について説明されていましたか。	0.80
Q3-2	学生の理解度や到達度を確認し、授業を進めていましたか。	0.79
Q3-3	教材（テキスト・配布資料）、教具の利用は適切でわかりやすい授業でしたか。	0.81
Q3-4	教員の話し方は、明瞭で聞き取りやすかったですか。	0.81
Q3-5	学生が質問したり、意見が述べられるように配慮がなされていましたか。	0.77
Q3-6	教員の授業に対する熱意・真剣さが感じられましたか。	0.79
Q3-7	授業の達成目標は到達できましたか。	0.79
Q3-8	コロナ対策の下での授業として、この授業は満足できるものでしたか。	

##### 後期

No.	問い	相関係数
Q1-1	あなたはこの授業を休んだり、課題の提出が遅れたりしないで受講しましたか。	0.45
Q1-2	あなたはこの授業の間、他のことに気をとられず集中して取り組みましたか。	0.51
Q1-3	あなたはこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか。	0.56

Q1-4	この授業内容の課題やレポートなどに積極的に取り組んだと思いますか。	0.56
Q2-1	この授業の予習・復習や課題・宿題のために、1週間あたり平均何時間勉強しましたか。	0.31
Q3-1	新型コロナ対策に沿った授業概要への変更および到達目標について説明されていましたか。	0.81
Q3-2	学生の理解度や到達度を確認し、授業を進めていましたか。	0.85
Q3-3	教材（テキスト・配布資料）、教具の利用は適切でわかりやすい授業でしたか。	0.79
Q3-4	教員の話し方は、明瞭で聞き取りやすかったですか。	0.82
Q3-5	学生が質問したり、意見が述べられるように配慮がなされていましたか。	0.84
Q3-6	教員の授業に対する熱意・真剣さが感じられましたか。	0.77
Q3-7	授業の達成目標は到達できましたか。	0.82
Q3-8	コロナ対策の下での授業として、この授業は満足できるものでしたか。	

Q1 の設問と同様、同じグループの設問内での相関が高い、という当然の結果となっている。そしてやはり、Q2 との相関は低い。

突出して強い相関が見られる設問がないのは、総合的な評価に偏って影響する設問はないということを示す可能性がある。よって今後も継続してこの傾向が続くのであれば、設問の構成がいくつかでなく適切と考える根拠のひとつと捉えられる。同じグループに極端に相関が低いものがあれば、それは関連性の低い不適切な設問と言える可能性があるためである。一方で、もっと強い相関が確認できるような設問を追加することも考えられる。

Q2-1 の授業外学習時間については、やはり設問の見直しがなければ、相関によって学習時間の増加を図る根拠を見出すことは難しいと考えられる。

#### 4-7 授業手法等に対する評価の傾向

自由記述の設問「4. 良いと思う点 この授業で良いと思う点を教えてください。」「5. 改善点 この授業の改善点を教えてください。」では、授業手法への言及が多い。

ここでは、各授業手法に対する評価の傾向と、それに対する考察を行う。

##### 4-7-1 全体的な評価の傾向

良いと思う点・改善点ともに、全体的な傾向に大きな変化はない。

良いと思う点では、いわゆる板書と口頭の講義形態だけでなく、多様な授業手法が歓迎されている。他に共通して、楽しさ、明るさ、優しさ、平易さ、公平性など、従来と同じく良い評価となる。過去の調査から継続して、「面白くて丁度よい難度の授業、熱心で優しい教員」の組み合わせが、良い評価を受ける典型となっている。

改善点も従来から引き続き、良いと思う点の裏返しとして、聞き取りにくさや板書の見にくさ、難しすぎる課題や授業時間の不足、不親切な対応、不公平などが挙げられている。またコロナ禍特有のものとして、オンライン授業と対面授業の混在や、その連絡についての不備を指摘するものもあった。

## 4-7-2 板書

### 4-7-2-1 評価の傾向

良い評価としては、丁寧さや分かりやすさ、授業への組み込みの巧みさなどへの言及が多い。板書への言及そのものが減っているため、以前ほど多様な意見は無いが、その分効果的に利用しているケースへの評価が目立った。たとえば回答を学生に板書させる、などといった、教員による利用だけでないケースも見られた。

悪い評価としては、字の汚さや大小、読みにくさ、書き方の乱雑さ、内容の過小過多を指摘する意見があるとともに、「板書である」ことそのものへの指摘もあった。

### 4-7-2-2 考察

以前に比べ明らかに言及が減った。オンライン授業が増えたことや、それに伴い板書以外のツールの採用が拡大したことで、板書の機会が減っていると考えられる。

また、そもそも板書そのものが、以前に比べて歓迎されない手法となっていると考えられる。板書を書き写す手間や、消えて残らない性質への拒否感が見られた。板書そのものを Moodle などに掲載してほしいといった要望も見られるなど、板書という手法は、すでに単独では不満の原因となりうると考えられる。

## 4-7-3 オンライン授業：ミーティングツール

### 4-7-3-1 評価の傾向

主に Zoom を利用したミーティングツールを介した授業について、良いと思う点は、Zoom の使用そのものを評価する意見もあるが以前より減っている。それよりも、Zoom を巧みに使うことへの具体的な評価が見られるようになってきた。

Zoom と対面を自由に選べたり、両者で変わらない内容を上手く提供するなどが評価されている。また、Zoom の使い方の解説や、技術的なトラブルへの対応なども評価されている。

改善点は、まず第一に Zoom というツールに合った授業が提供できていない点が挙げられる。学生の反応に依らず一方的に解説したり、スライドの切り替えが早すぎたりといった点への言及が見られた。

また、Zoom と対面の切り替えの通知が遅かったり届かなかったりしたことで、無駄足を踏んだ、欠席してしまったなどの声もあった。

他に、通信の不安定、音量や光量の過不足、ミーティングのアドレスのわかりにくさなど、技術的な問題への言及も改善点としても挙がっていた。

### 4-7-3-2 考察

オンライン授業の定番となっている Zoom だが、対面と同じ扱いで授業をした場合、学生の不満は大きい。ミーティングツールならではの問題が多く、特に非言語コミュニケーションに依る意思疎通に問題が生じやすい。今後もミーティングツールによる授業は活用されるであろうから、ガイドライン等が必要かもしれない。

## 4-7-4 スライド（パワーポイント等含む）の使用

### 4-7-4-1 評価の傾向

スライド・パワーポイントへの言及は変わらず多い。言及も板書の 3 倍近くあり、標準的な授業手法になりつつあると考えられる。

良いと思う点は、なにより分かりやすさが挙げられている。扱いやすい、整理されている、ポイントがまとまっているなど、事前に編集された品質が、板書にはない利点として歓迎されている。

る。

またスライドのファイルを配布するなど、オンラインが日常になったため、以前より更に良い評価を受ける利用も言及されている。

スライドへの改善点では、スライドをただ読み上げるようなおざなりな対応や、見にくかったり内容の薄かったりする質の低いもの、またスピードやタイミングなどの提示方法への言及があった。

また、スライドを授業後などに配布しないことは幾つも言及があり、特にオンラインが一般化した上では、データでもらえることを学生が当然と思うようになっていくと考えられる。

#### 4-7-4-2 考察

当たり前になりつつあるスライドだが、その質と使い方への評価は厳しくなっている。

見やすく適切なボリュームのスライドを、学生の反応を確認しながら提示し、ただ読み上げるのではなく活用する。そして授業後はそのスライドをそのまま配布する。こうした形が、学生の最も求めるスライドの利用であると考えられる。しかし実際の運用では、図版などを用いるときには特に著作権の問題が生じるので、それも安易にはできない。その点は、学生が後日関連書物や、ネットで確認してもらう作業がもう一方で求められる。

#### 4-7-5 配布資料

##### 4-7-5-1 評価の傾向

独立した資料の場合もあれば、スライドを印刷したものの場合もある。

参考資料、その授業のテキスト、小テストなど、プリントの内容にばらつきが大きいいため、良い評価も理由が分かれている。しかし、プリントの配布そのものは概ね良いと評価されている。改善点として「プリントが欲しい」というものも挙げられている。

プリントを配布していても、「プリントが分かりにくい」「内容がすかすか」「授業の進行に合っていない」など、特定の科目で悪い評価が多くあった。

また、配布の有無がまちまちだったり、教員の資料把握不足や配布のタイミングなど、個別に改善点の指摘は多い。プリントの配布でも著作権の関係があるため、容易に利用することができるわけでない。各自書物やネットを使って確認してもらう作業が必要となる。

##### 4-7-5-2 考察

配布資料そのものを積極的に否定する意見は見られず、基本的にポジティブな評価が得られる。長期的には紙の資料配布が環境負荷などから敬遠され、スライドのデータ配布などに移行していく可能性は高いが、当面は良いと思う評価につながる、堅実な授業手法と考えられる。

一方で、配布資料の内容や質、配布の仕方などに問題があれば、本来不要な不満を生む場合もある。

#### 4-7-6 小テスト

##### 4-7-6-1 評価の傾向

小テストは、復習や自身の習熟度確認、学習意欲の維持などを理由に、良いと思うと評価する意見が多かった。特に復習としての効果を挙げる声が目立ち、確実な学習の実感につながっている。

各回のはじまりに行う小テスト授業などでは、前回の復習となる点が評価される。また一定の期間ごとに復習となる小テストを行うことで、学習内容の定着や、続く授業への興味が維持される。

小テストの回数が多い、難しい、簡単すぎるといった評価はあるが、テストの実施そのものに対する悪い評価は少ない。

Moodle を利用したテストの場合、様式の不統一や解説の不足など、Moodle の使いこなしに関する問題の指摘は見られた。

#### 4-7-6-2 考察

テストという形態をとることで、学生は、自主的な復習に自然と集中できると考えているようである。また、毎回の授業の始まりで行う小テストは、続く授業本体への理解や興味を深める役割も大きい。学生が、自主的な復習が難しいと考えやすいような科目ほど、小テストの効果は大きいと考えられる。

授業内容によって違いはあるが、悪い評価は少なく、採用の利点は大きい。

#### 4-7-7 学生によるプレゼンテーション・発表

##### 4-7-7-1 評価の傾向

オンライン授業が現実化したことで、プレゼンや、それに伴う打ち合わせなどもオンラインで行うケースが出てきている。しかし従来の対面授業での場合も含め、学生はその機会を概ね好ましいと考えている。

実施日を決めて準備をさせてから行う本格的なプレゼンテーションと、授業中に随時発表を求めるものと、2種類あるが、これも基本的には歓迎されている。

悪い評価としては、共同発表者の非協力的な態度や、発表回数や時間配分の問題、準備不足などへの言及があるが、「もっと発表の機会を」求める改善要望も多い。

##### 4-7-7-2 考察

単調になりやすい聴講式の授業に一人で臨むのに比べ、コミュニケーションを生み、調査なども伴い、また適度な試練となるプレゼンテーション・発表は、基本的に望まれている授業手法のひとつである。

小テストと同じく、学生に適度な課題を課すことで、自主的な習熟の深まりを促す効果が期待できる。学生の「考える事を促してくれる」を好む傾向が見て取れる。

#### 4-7-8 グループワーク

##### 4-7-8-1 評価の傾向

オンライン授業でもチャットツールなどでグループワークは十分成立しており、良い評価が多い。

コミュニケーションを伴うことによる良い評価は、プレゼンテーション・発表に近い。他の学生の意見を聞ける、考えが醸成される、団結を実感できるといった評価や、意見交換の機会そのものを求めている学生は多いようである。

グループディスカッションによって、苦手だった発言が少しはできるようになった、という意見もあった。

改善点としては、グループワークの意義が見えないなどの内容の問題や、コロナ禍での不安、グループ内での負担の偏重などがあった。ただ、グループワークの不足を指摘する声が多いため、そのものは歓迎されている。

##### 4-7-8-2 考察

教員と学生という二者間で進む授業に比べ、学生は自主性を尊重されていると感じるようである。小テストやプレゼンテーション・発表と同様で、学生の「考える事を促される事を好む」性

質に、グループワークも上手く対応できるひとつと言える。

なお、グループがきちんと機能するための工夫としては、教員によるグループ分け、役割のローテーションなどの負担公平化、適度なディスカッション時間の確保などが考えられる。

## 4-7-9 映像

### 4-7-9-1 評価の傾向

資料としての映像と、オンライン授業そのものや、その再視聴という複数の場合を含む。

前者は従来から見られた評価に近く、「興味を持てた」「理解が深まった」「印象に残りやすかった」といったものだった。配布資料やスライドなどの方法に比べ、より学生の興味を惹く効果は依然高いようである。

後者の場合、授業そのものが録画の配信であることに、好悪双方の評価が分かれている。良いと評価する意見の方が多いが、授業初回はライブ対応するなどが必要かもしれない。

改善点としては、映像自体の不備や配信のトラブルなどへの言及もあった。

### 4-7-9-2 考察

概ね歓迎されている手法であり、今後も需要・供給ともに増え続けると考えられる。繰り返し確認が望まれる内容や、映像の方が理解しやすい内容を補助的に使うのは、放送大学のプログラムなどに近い形で、取り組みやすい。

模擬授業を YouTube で公開するなど、授業全体を動画配信化するのは、繰り返し受講できる点で良い効果もあるが、非人間的な対応と感じたり、通信講座だという否定的な印象も生みやすい。

## 4-7-10 出席確認

### 4-7-10-1 評価の傾向

過去、点呼式で出席確認をしていた頃の自由記述では、ほぼ全てが悪い言及だった。しかし Moodle による出席確認は、むしろ全体的に好評である。

これは、大人数の授業にも関わらず点呼式の確認を行うなど、従来の出席確認の問題が、Moodle を使う場合に解消されているためだろう。Moodle を使わない点呼式などの出席確認を続けている科目に対しては、使ってほしいとの改善点も挙がっている。

### 4-7-10-2 考察

Moodle による出席確認は便利で学生の満足度も高いようだが、不正な出席が可能だったり、教員の操作の不備なども伴う。

学生は出席への関心は、不効率と不公平さが中心である。Moodle のようなシステムによって不効率が改善できるが、不公平さは課題が残る。

## 4-7-11 その他の授業の傾向に対する評価

### 4-7-11-1 その他の授業の傾向と、それに対する大まかな評価を挙げる。

- |           |   |                |               |
|-----------|---|----------------|---------------|
| ● 授業途中休憩  | : | 良「集中力が維持できて良い」 |               |
| ● 私語の扱い   | : | 良「厳しくしてくれる」    | 悪「注意して欲しい」    |
| ● 話し方     | : | 良「聞き取りやすい」     | 悪「聞き取りにくい」    |
| ● 教員による雑談 | : | 良「気分転換・楽しい」    | 悪「内容がぶれる・不要」  |
| ● 進捗管理    | : | 良「適切・無理がない」    | 悪「早すぎる・遅い」    |
| ● 授業時間    | : | 良「厳守・5分前終了」    | 悪「オーバー・終了が早い」 |

#### 4-7-12 求められる授業のモデル

これまでの考察から、今後求められていく授業のモデルを検討した。

- ・講義の中心は吟味されたスライドで、授業後ダウンロードが可能
- ・映像や音声を適宜使い、それらは授業後公開する
- ・90分授業であれば40分あたりに5分休憩を挟む
- ・グループワークをある程度採用し、役割のローテーションを行う
- ・グループではプレゼンテーションを行う
- ・適宜小テストを行う
- ・出席確認は何らかのシステムを用い、不正対策を行う

#### 4-7-13 全体的な傾向

全体的には、学生の授業に対する評価に、以下のような好悪の傾向が見られた。これは過去の調査全てと共通するものであり、当面普遍的と考えられる。

##### 好むもの

- わかりやすさ
- 楽しさ
- 親切さ
- 熱意
- 興味の促進
- 考える事を促される事
- 様々な媒体
- 公平感
- 実用性

##### 嫌うのもの

- わかりにくさ
- 伝わりにくさ
- 難しさ
- 厳しさ
- 不正確さ
- 不公平感
- 無関心

#### 4-8 コロナ対策下での授業としての評価と考察

設問Q3群と分類しているのが、コロナ対策下での授業への設問である。コロナ感染の状況が続き、そのなかでの授業が求められてきているが、今年度からオンラインを減らし、できるだけ対面授業を増やして実施してきた。今後ウィズ・コロナの流れを見据えて、対面だけでなくオンラインを含めた授業の運用が求められるため、本考察によってその参考のヒントを見出したい。

##### 4-8-1 学年別にみる前期と後期との比較

オンラインの授業実施では機器やネット状況などが揃ってはじめて可能になる。大学ではパソコンの所持が1年より必携となっているが、しかしそれが果たしてどこまで機能しているのかを知るための設問も加わっているため、学年別に確認することにした。学年別で前期と後期に分けて考察するが、その際に大きく3つに分類する。すなわち「そう思う」「どちらかといえばそう思う」は満足としてみなして『満足』と表記し、「どちらともいえない」はそのまま『どちらともいえない』とし、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を問題があるとみなして『問題がある』と表記する。

## 1年

回答者が前期に比べ、後期が35名程度減少していることを踏まえて指摘する。

前期 満足 79.5~90%    どちらともいえない 7~15%    問題がある 2~5%  
後期 満足 84~92%    どちらともいえない 5~11%    問題がある 1~5%

前期、後期ともに満足度はほぼ8割から9割を占め、後期にはさらに満足度をあげている。機器などについてもほとんど問題がない。

そうしたなかで、あえて問題点を探せば、オンラインに変わった授業の不満足度が他の設問回答に比べて5%と値が高いことである。「どちらともいえない」という回答でも同様の傾向を示し、前期が15%、後期が11%と他の設問回答に比べて高くなっている。そのため改善すべきは、オンラインの授業をいかに学生が満足するのかということに対する教員の工夫と言える。

## 2年

回答者が前期に比べ、後期が63名程度増加していることを踏まえて指摘する。

前期 満足 83~89%    どちらともいえない 7~13%    問題がある 1~4%  
後期 満足 82~89%    どちらともいえない 9~14%    問題がある 2%

前期、後期ともに満足度が8割から9割を示している。機器などにもほとんど問題がない。あえて問題を探すならば、オンラインの授業への不満足度が4%と一番大きな値となっていることである。ただし、後期になると2%へと減少していて、若干の改善が認められる。どちらでもないとの回答は前期12%、後期14%認められ、それらを含めると改善の余地がある。

## 3年

回答者が前期に比べ、後期が11名程度減少していることを踏まえて指摘する。

前期 満足 70~88%    どちらともいえない 9~16%    問題がある 0.4~4%  
後期 満足 81~87%    どちらともいえない 10~15%    問題がある 2~3%

満足の回答が前期、後期ともに8割から9割に近い値に達しているので、問題なく実施できたといってよいだろう。機器などについてもほとんど問題になっていない。あえて問題としてとりあげるならば、やはりここでもオンラインの授業を従来の授業と比較して満足しないとする数値が前期3%、後期2%と大きくなっていることである。その他オンラインへの説明やサポートへの不満足度も前期に0.4~0.8から2%へと増えている。一方若干ではあるが、学生の周辺機器に前期には問題があると回答した割合が最も大きな値となった4%から2%へと減少しており、改善している可能性がある。

## 4年

回答者が前期に比べ、後期が50名程度減少していることを踏まえて指摘する。

前期 満足 83~88%      どちらともいえない 8~12%      問題がある 2~4%  
後期 満足 83~89%      どちらともいえない 10~14%      問題がある 2~3%

満足の割合が、年間を通じて8割から9割ちかくのため、うまく対応できたと判断できる。機器についてもほとんど問題になっていない。そのなかで問題を探すとすれば、やはりオンライン授業が従来の授業に比べて不足のないものだったのかという設問に対して不満足の数値が、前期、後期ともに最も高い4%、3%だった点である。ほんのわずかだが、後期には1%の回復が認められる。

#### 4-8-2 コロナ対策下での授業としての評価と考察の総括

各学年ともに前期、後期において、コロナ禍でのオンライン授業の実施に関わるすべての設問に対して、満足のいく回答が8割から9割に達していた。その際に前期から後期に大きく満足度を変える数値も見られなかった。そのため今年度のコロナ対策下での授業の運用は、通年でうまく機能したと言える。来年度も引き続きこの運用ですすめることに大きな問題はないだろう。

あえて問題点を見出すとすれば、各学年に共通していた、オンライン授業が従来の授業に不足するものと理解する割合が、他の問題点よりも数値が若干高かったことだろう。対面と同様にオンライン授業にも利点と問題点が存在する。今後のウィズ・コロナの動きを受けて、対面授業を基本としつつも、オンライン授業の科目を実施していくために、学生にはそうしたオンライン授業の良さや問題点を説明する必要がある。さらに説明にあたっては、対面授業の良さや問題点もきちんと明示して、最善の授業運営を目指していることが理解できるように説明することが求められるだろう。

最後に回答者数について補足しておきたい。今回のアンケートの分析方法から気づいたこととして、回答者数に前期と後期で変化が認められたことである。2年生以外が、後期になると回答者数が10~50名程度の幅で減少していた。特に4年の場合には、前期が150名の回答者に対して、後期は100名を数えた。50名の減少は前期の回答者数の三分の一にあたり、分析において大きな問題になると言える。唯一2年生では、逆に後期に63名程度の数で回答者数が増加していた。しかしそれもまた、前期の分析が十分とは言えない分母となってくるため、問題である。

もともと回答者数が少ないことからして分析に問題が生じているが、さらに前期、後期における回答者数の変動は分析の支障となるため、回答者数を増やすための抜本的な改善の必要が改めて理解された。また若干ではあるが、回答者がすべての設問に回答せず無回答のことがあった。割合が少ないために上記の点に比べほとんど問題にならないが、少しでも回答数を増やすことを目指すならば、その点も踏まえて、今後アンケートを実施する際に、学生にはすべてに回答するように通知していくことが求められる。

学生による授業評価アンケート 2021年度 前期 教員所属学科別平均点一覧

教員所属学科	科目数	回答枚数	学生の自己評価 [Q1]				授業外学習時間 [Q2]	授業の評価 [Q3]							
			1	2	3	4		1	2	3	4	5	6	7	8
国際言語・文化学科	153	1837	あなたはこの授業を体得したか、課題の提出が遅れたりしないか、講義が面白かったか。	あなたは他の授業の間、他のことに気をとられて集中して取り組まなかったか。	あなたはこの授業に意欲的に取り組んだか、と思いませんか。	この授業内容の課題やレポートなどに積極的に取り組んだか、と思いませんか。	この授業の予習・復習や課題・宿題のために、1週間あたり平均何時間勉強しましたか。	新型コロナ対策に当たった授業概要への変更および到達目標について説明されたか。	学生の理解度を確認し、授業を進めていきましたか。	教材(テキスト・配布資料)、教具の利用は適切でわかりやすかったか。	教員の話方は、明確で聞き取りやすかったですか。	学生が質問したり、意見が述べられるように配慮がなされたか。	授業に対する熱意・真剣さが感じられましたか。	授業の達成目標は到達できたか。	コロナ対策の下での授業として、この授業は満足できるものでしたか。
国際言語・文化学科	153	1837	4.45	4.49	4.46	4.46	2.85	4.48	4.38	4.41	4.44	4.39	4.50	4.33	4.47
国際経営学科	127	1523	4.46	4.44	4.46	4.53	2.84	4.43	4.28	4.38	4.36	4.28	4.44	4.32	4.42
史学・文化財学科	116	1263	4.38	4.34	4.31	4.38	2.75	4.38	4.13	4.26	4.30	4.10	4.46	4.20	4.33
人間関係学科	103	1047	4.55	4.40	4.42	4.44	2.65	4.52	4.41	4.42	4.48	4.49	4.60	4.33	4.55
食物栄養学科	57	1789	4.74	4.60	4.59	4.63	2.87	4.60	4.51	4.52	4.51	4.50	4.62	4.46	4.55
発酵食品学科	56	1319	4.45	4.34	4.34	4.44	2.46	4.45	4.35	4.39	4.44	4.37	4.44	4.33	4.44
教職課程	13	310	4.36	4.53	4.49	4.49	2.81	4.52	4.36	4.49	4.45	4.36	4.53	4.34	4.51
司書課程	28	282	4.44	4.30	4.33	4.38	2.41	4.48	4.38	4.50	4.49	4.38	4.54	4.29	4.48
非常勤	170	1564	4.51	4.44	4.43	4.50	2.69	4.38	4.27	4.34	4.28	4.27	4.49	4.28	4.35
全体	823	####	4.50	4.45	4.44	4.49	2.74	4.47	4.34	4.40	4.41	4.35	4.51	4.33	4.45

学生による授業評価アンケート 2021年度 後期 教員所属学科別平均点一覧

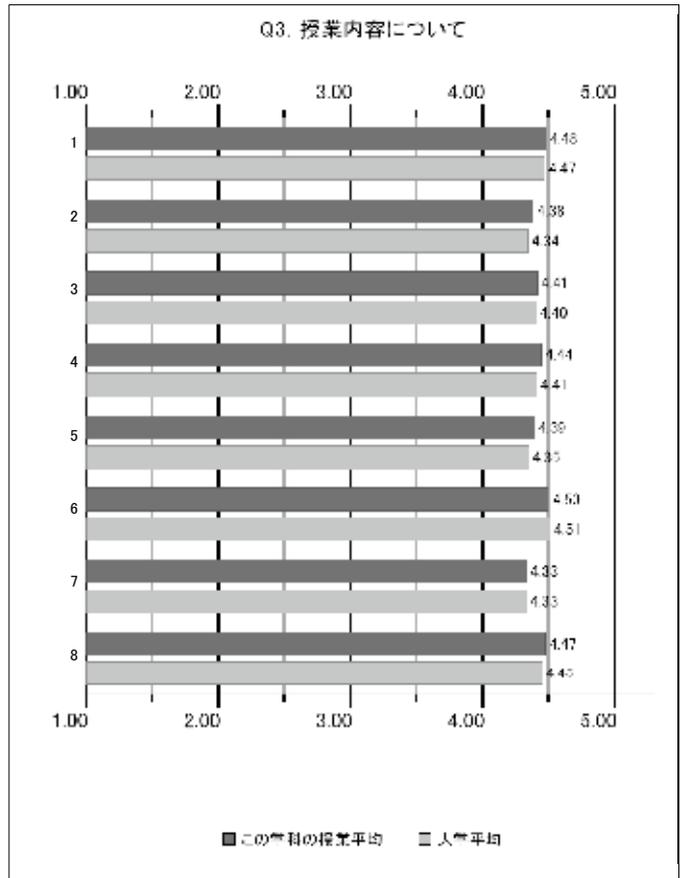
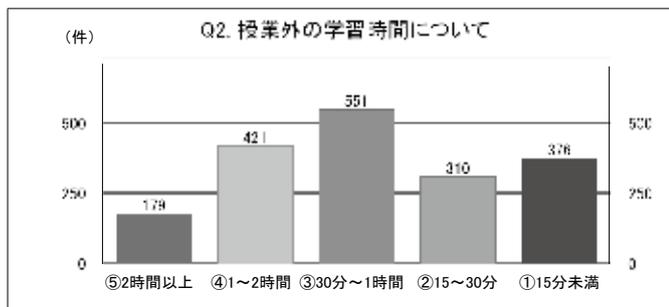
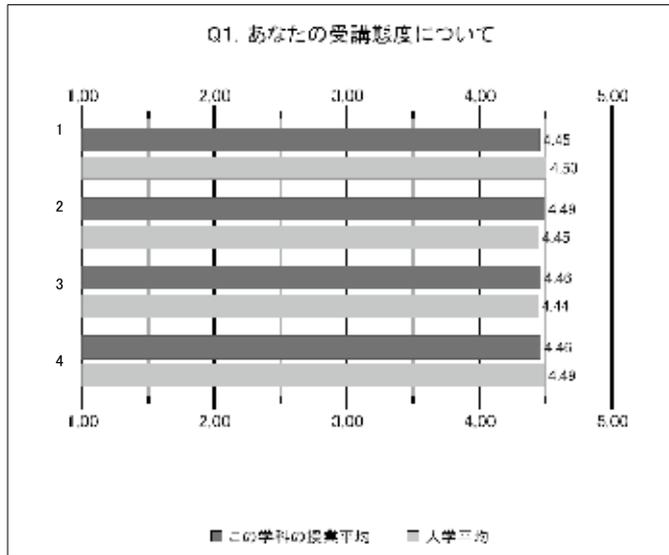
教員所属学科	科目数	回答枚数	学生の自己評価 [Q1]				授業外学習時間[Q2]	授業の評価 [Q3]								
			1	2	3	4		1	2	3	4	5	6	7	8	
国際言語・文化学科	157	1440	4.38	4.47	4.48	4.51	2.90	4.51	4.43	4.48	4.49	4.44	4.53	4.42	4.42	4.53
国際経営学科	140	2076	4.43	4.42	4.42	4.48	2.93	4.48	4.37	4.42	4.41	4.33	4.47	4.38	4.38	4.48
史学・文化財学科	109	1197	4.43	4.49	4.46	4.46	2.70	4.47	4.38	4.45	4.46	4.38	4.58	4.42	4.42	4.47
人間関係学科	119	1007	4.53	4.39	4.42	4.49	2.53	4.55	4.45	4.46	4.48	4.49	4.64	4.36	4.36	4.55
食物栄養学科	91	1881	4.68	4.65	4.63	4.66	2.74	4.55	4.49	4.49	4.49	4.48	4.60	4.48	4.48	4.55
発酵食品学科	69	713	4.48	4.44	4.42	4.45	2.41	4.50	4.45	4.45	4.50	4.45	4.46	4.39	4.39	4.46
教職課程	21	173	4.57	4.61	4.65	4.68	3.18	4.55	4.46	4.44	4.44	4.55	4.67	4.47	4.47	4.52
司書課程	23	193	4.50	4.39	4.39	4.47	2.79	4.59	4.50	4.51	4.48	4.47	4.58	4.40	4.40	4.57
非常勤	145	1622	4.44	4.40	4.41	4.47	2.46	4.35	4.29	4.37	4.36	4.29	4.54	4.33	4.33	4.37
全体	874	####	4.49	4.48	4.48	4.52	2.72	4.49	4.41	4.45	4.45	4.40	4.55	4.40	4.40	4.49



## 2. 授業評価アンケートを踏まえた各教員の授業改善策



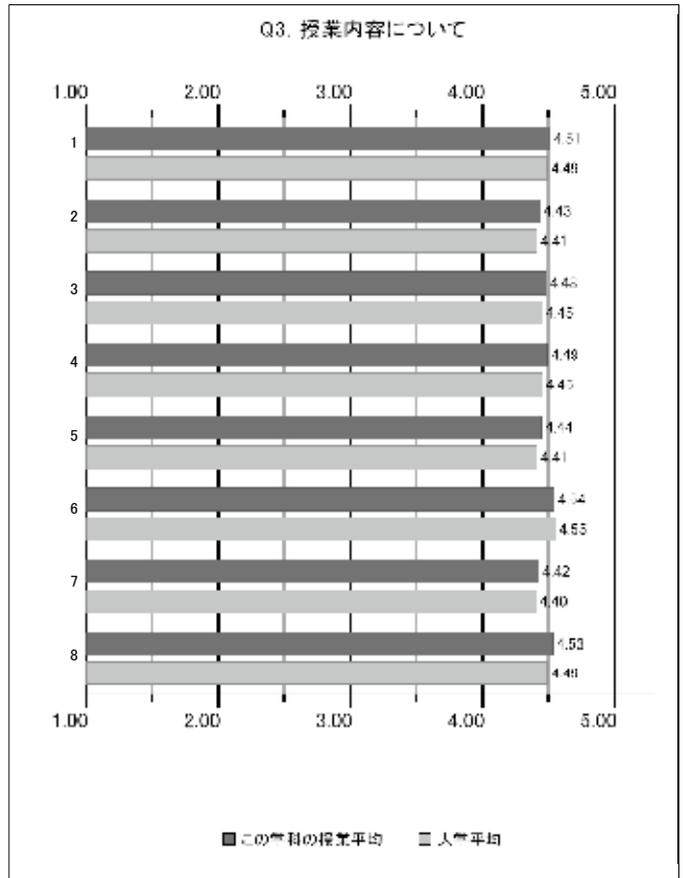
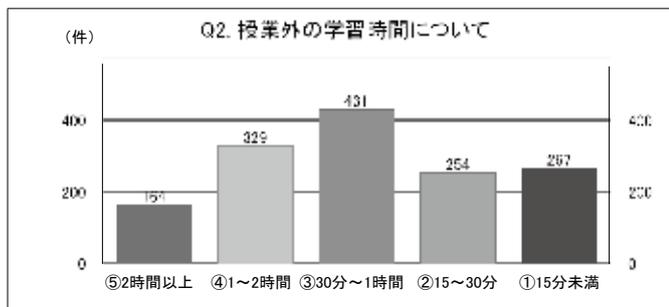
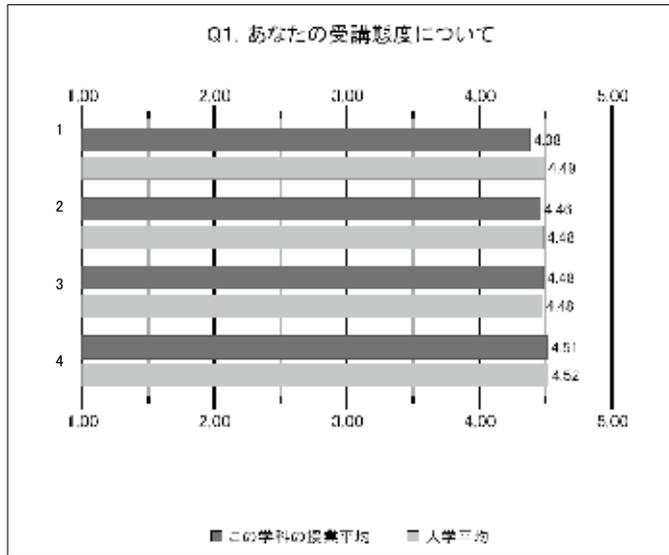
## 学科別集計 国際言語・文化学科



上段:回答者数 / 下段:割合

設問	5. そう思う	4. どちらかといえばそう思う	3. どちらともいえない	2. どちらかといえばそう思わない	1. そう思わない	あなたの講義	全体平均
[Q1] 1	1142 62.2%	481 26.2%	132 7.2%	59 3.2%	23 1.3%	4.45	4.50
[Q1] 2	1104 60.1%	559 30.4%	147 8.0%	24 1.3%	3 0.2%	4.49	4.45
[Q1] 3	1084 59.0%	558 30.4%	156 8.5%	32 1.7%	6 0.3%	4.46	4.44
[Q1] 4	1097 59.7%	545 29.7%	151 8.2%	36 2.0%	8 0.4%	4.46	4.49
[Q2] 1	(2時間以上) 179 9.7%	(1~2時間) 421 22.9%	(30分~1時間) 551 30.0%	(15~30分) 310 16.9%	(15分未満) 376 20.5%	2.85	2.74
[Q3] 1	1104 60.1%	541 29.5%	158 8.6%	22 1.2%	9 0.5%	4.48	4.47
[Q3] 2	1037 56.5%	550 29.9%	179 9.7%	51 2.8%	20 1.1%	4.38	4.34
[Q3] 3	1097 59.7%	487 26.5%	187 10.2%	43 2.3%	22 1.2%	4.41	4.40
[Q3] 4	1120 61.0%	477 26.0%	174 9.5%	45 2.4%	19 1.0%	4.44	4.41
[Q3] 5	1062 57.8%	516 28.1%	187 10.2%	48 2.6%	23 1.3%	4.39	4.35
[Q3] 6	1154 62.8%	496 27.0%	143 7.8%	27 1.5%	12 0.7%	4.50	4.51
[Q3] 7	925 50.4%	643 35.0%	226 12.3%	32 1.7%	7 0.4%	4.33	4.33
[Q3] 8	1120 61.0%	520 28.3%	155 8.4%	25 1.4%	17 0.9%	4.47	4.45

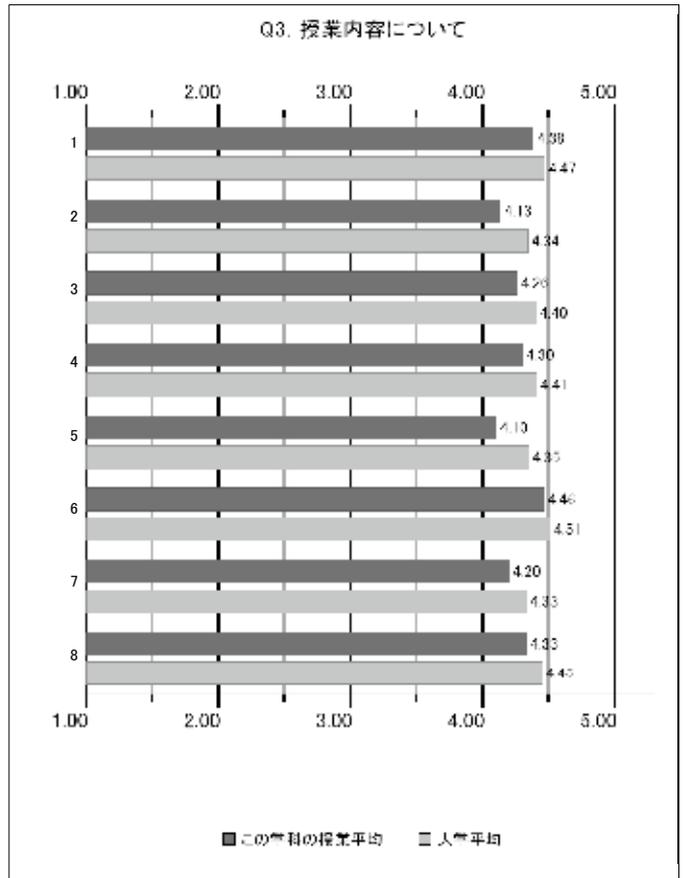
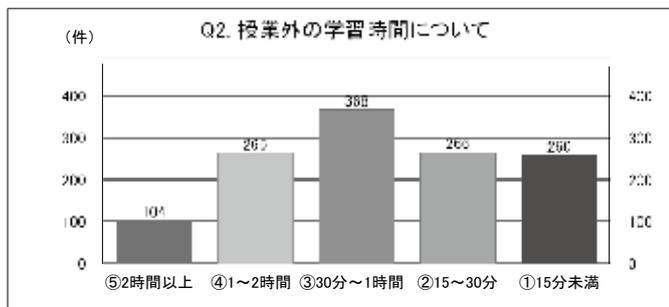
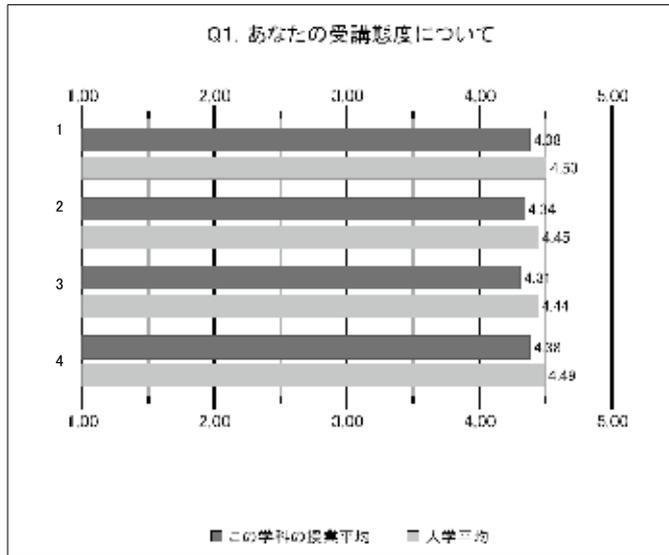
## 学科別集計 国際言語・文化学科



上段:回答者数 / 下段:割合

設問	5. そう思う	4. どちらかといえばそう思う	3. どちらともいえない	2. どちらかといえばそう思わない	1. そう思わない	あなたの講義	全体平均
[Q1] 1	865 59.9%	382 26.4%	114 7.9%	50 3.5%	34 2.4%	4.38	4.49
[Q1] 2	874 60.5%	421 29.1%	108 7.5%	19 1.3%	20 1.4%	4.46	4.48
[Q1] 3	888 61.5%	409 28.3%	117 8.1%	16 1.1%	15 1.0%	4.48	4.48
[Q1] 4	917 63.5%	386 26.7%	111 7.7%	18 1.2%	13 0.9%	4.51	4.52
[Q2] 1	(2時間以上) 164 11.3%	(1～2時間) 329 22.8%	(30分～1時間) 431 29.8%	(15～30分) 254 17.6%	(15分未満) 267 18.5%	2.91	2.72
[Q3] 1	911 63.0%	390 27.0%	120 8.3%	10 0.7%	12 0.8%	4.51	4.49
[Q3] 2	870 60.2%	388 26.9%	141 9.8%	23 1.6%	20 1.4%	4.43	4.41
[Q3] 3	907 62.8%	380 26.3%	114 7.9%	22 1.5%	19 1.3%	4.48	4.45
[Q3] 4	924 63.9%	352 24.4%	121 8.4%	24 1.7%	18 1.2%	4.49	4.45
[Q3] 5	884 61.2%	371 25.7%	143 9.9%	17 1.2%	23 1.6%	4.44	4.41
[Q3] 6	949 65.7%	354 24.5%	107 7.4%	16 1.1%	13 0.9%	4.54	4.55
[Q3] 7	819 56.7%	457 31.6%	134 9.3%	16 1.1%	17 1.2%	4.42	4.40
[Q3] 8	946 65.5%	361 25.0%	105 7.3%	18 1.2%	15 1.0%	4.53	4.49

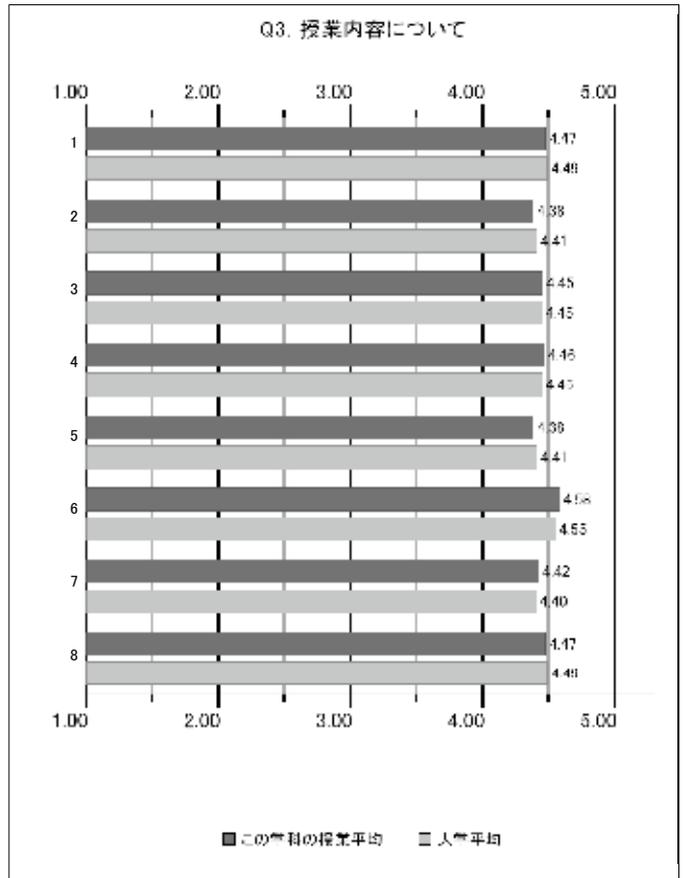
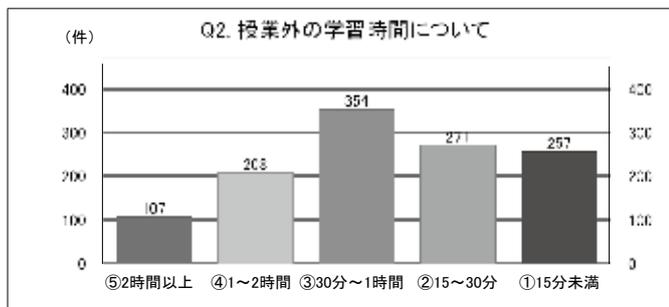
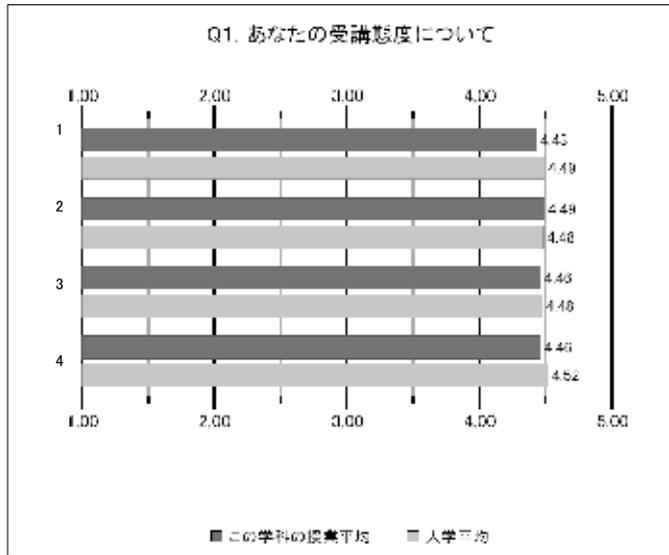
## 学科別集計 史学・文化財学科



上段:回答者数 / 下段:割合

設問	5. そう思う	4. どちらかといえばそう思う	3. どちらともいえない	2. どちらかといえばそう思わない	1. そう思わない	あなたの講義	全体平均
[Q1] 1 あなたはこの授業を休んだり、課題の提出が遅れたりしないで受講しましたか。	757 59.9%	325 25.7%	112 8.9%	48 3.8%	21 1.7%	4.38	4.50
[Q1] 2 あなたはこの授業の間、他のことに気をとられず集中して取り組みましたか。	679 53.8%	395 31.3%	144 11.4%	29 2.3%	16 1.3%	4.34	4.45
[Q1] 3 あなたはこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか。	668 52.9%	389 30.8%	145 11.5%	43 3.4%	16 1.3%	4.31	4.44
[Q1] 4 この授業内容の課題やレポートなどに積極的に取り組んだと思いますか。	718 56.8%	364 28.8%	139 11.0%	32 2.5%	10 0.8%	4.38	4.49
[Q2] 1 この授業の予習・復習や課題・宿題のために、1週間あたり平均何時間勉強しましたか。	(2時間以上) 104 8.2%	(1～2時間) 265 21.0%	(30分～1時間) 368 29.1%	(15～30分) 266 21.1%	(15分未満) 260 20.6%	2.75	2.74
[Q3] 1 新型コロナ対策に沿った授業概要への変更および到達目標について説明されましたか。	714 56.5%	372 29.5%	134 10.6%	29 2.3%	14 1.1%	4.38	4.47
[Q3] 2 学生の理解度や到達度を確認し、授業を進めていましたか。	589 46.6%	367 29.1%	222 17.6%	46 3.6%	38 3.0%	4.13	4.34
[Q3] 3 教材(テキスト・配布資料)、教具の利用は適切でわかりやすい授業でしたか。	656 51.9%	366 29.0%	174 13.8%	45 3.6%	20 1.6%	4.26	4.40
[Q3] 4 教員の話し方は、明瞭で聞き取りやすかったですか。	696 55.1%	330 26.1%	173 13.7%	41 3.2%	21 1.7%	4.30	4.41
[Q3] 5 学生が質問したり、意見が述べられるように配慮がなされていましたか。	601 47.6%	326 25.8%	229 18.1%	73 5.8%	33 2.6%	4.10	4.35
[Q3] 6 教員の授業に対する熱意・真剣さが感じられましたか。	771 61.0%	332 26.3%	129 10.2%	19 1.5%	9 0.7%	4.46	4.51
[Q3] 7 授業の達成目標は到達できましたか。	564 44.7%	453 35.9%	196 15.5%	33 2.6%	15 1.2%	4.20	4.33
[Q3] 8 コロナ対策の下での授業として、この授業は満足できるものでしたか。	686 54.3%	384 30.4%	137 10.8%	33 2.6%	23 1.8%	4.33	4.45

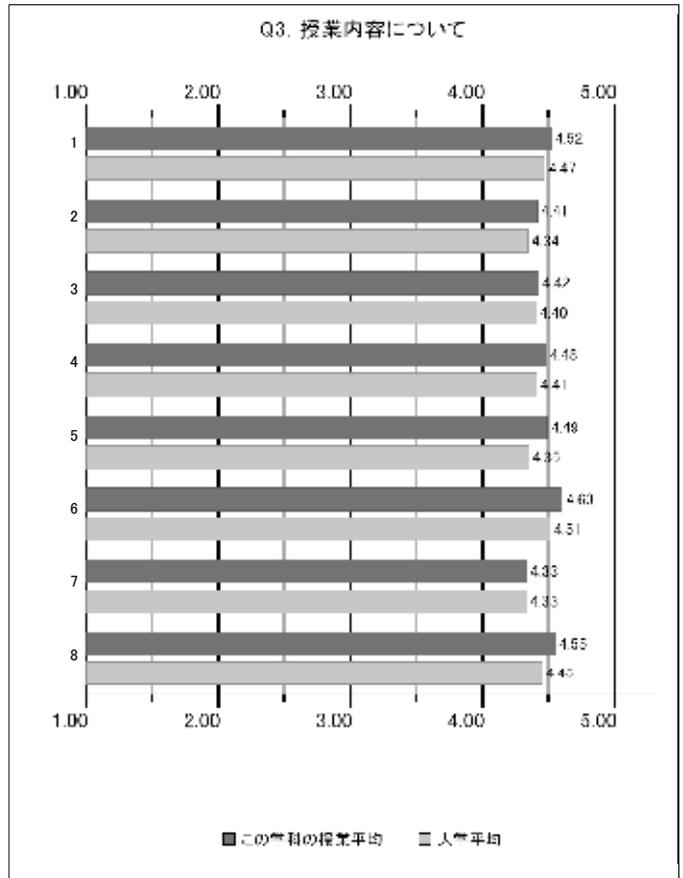
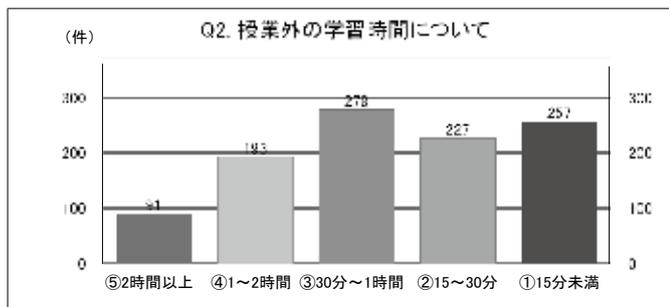
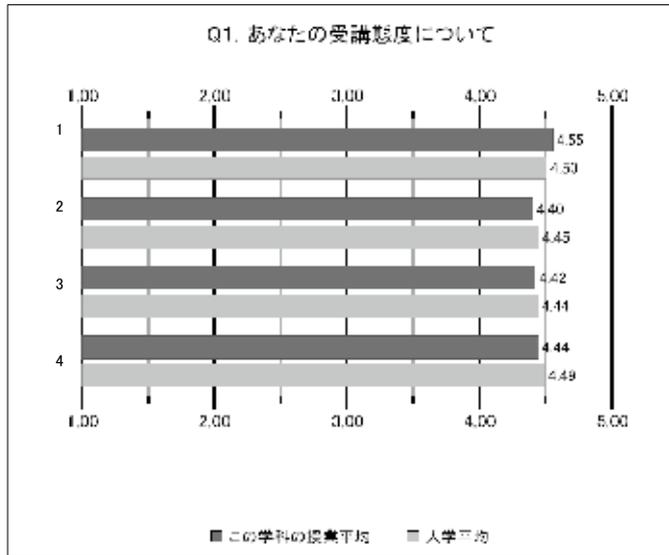
## 学科別集計 史学・文化財学科



上段:回答者数 / 下段:割合

設問	5. そう思う	4. どちらかといえばそう思う	3. どちらともいえない	2. どちらかといえばそう思わない	1. そう思わない	あなたの講義	全体平均
[Q1] 1	731 61.1%	315 26.3%	107 8.9%	26 2.2%	18 1.5%	4.43	4.49
[Q1] 2	745 62.2%	333 27.8%	92 7.7%	17 1.4%	10 0.8%	4.49	4.48
[Q1] 3	727 60.7%	334 27.9%	105 8.8%	19 1.6%	11 0.9%	4.46	4.48
[Q1] 4	722 60.3%	345 28.8%	101 8.4%	17 1.4%	12 1.0%	4.46	4.52
[Q2] 1	(2時間以上) 107 8.9%	(1～2時間) 208 17.4%	(30分～1時間) 354 29.6%	(15～30分) 271 22.6%	(15分未満) 257 21.5%	2.70	2.72
[Q3] 1	732 61.2%	322 26.9%	116 9.7%	17 1.4%	8 0.7%	4.47	4.49
[Q3] 2	682 57.0%	336 28.1%	128 10.7%	35 2.9%	12 1.0%	4.38	4.41
[Q3] 3	744 62.2%	296 24.7%	115 9.6%	28 2.3%	11 0.9%	4.45	4.45
[Q3] 4	744 62.2%	304 25.4%	109 9.1%	27 2.3%	12 1.0%	4.46	4.45
[Q3] 5	703 58.7%	304 25.4%	144 12.0%	28 2.3%	16 1.3%	4.38	4.41
[Q3] 6	818 68.3%	272 22.7%	92 7.7%	6 0.5%	7 0.6%	4.58	4.55
[Q3] 7	662 55.3%	379 31.7%	138 11.5%	7 0.6%	5 0.4%	4.42	4.40
[Q3] 8	738 61.7%	313 26.1%	122 10.2%	16 1.3%	8 0.7%	4.47	4.49

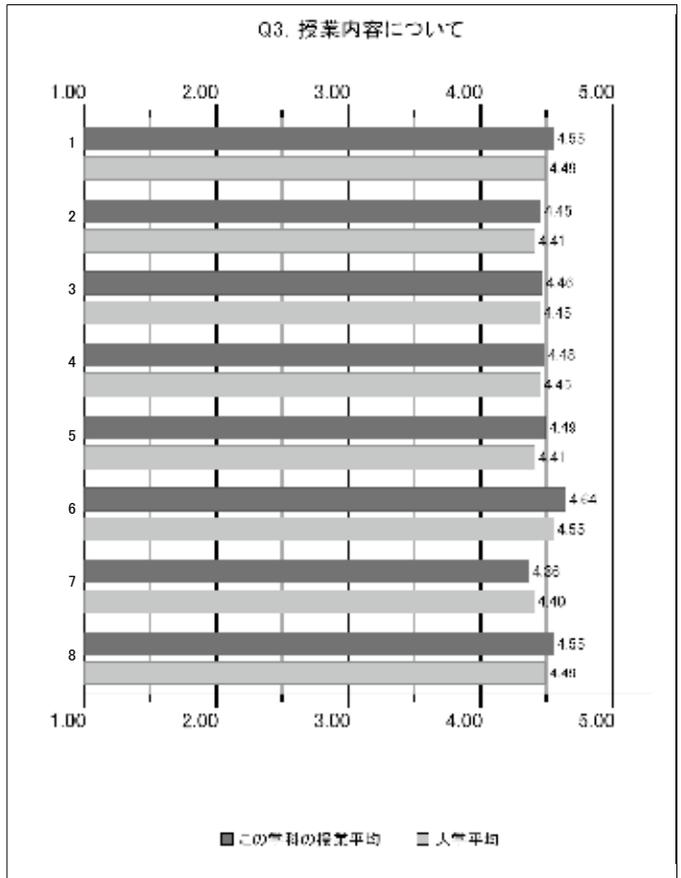
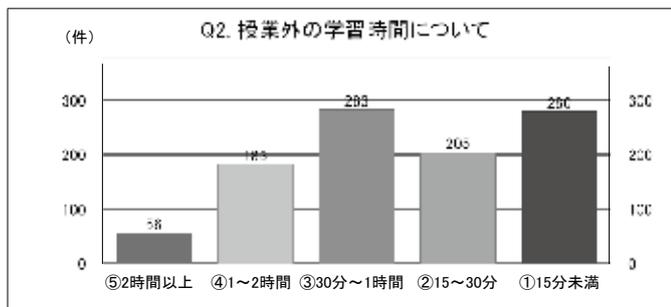
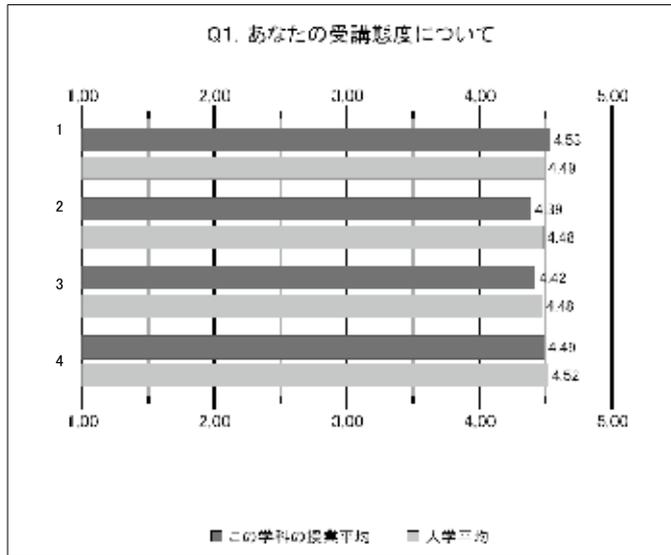
## 学科別集計 人間関係学科



上段:回答者数 / 下段:割合

設問	5. そう思う	4. どちらかといえばそう思う	3. どちらともいえない	2. どちらかといえばそう思わない	1. そう思わない	あなたの講義	全体平均
[Q1] 1	711 67.9%	249 23.8%	46 4.4%	22 2.1%	17 1.6%	4.55	4.50
[Q1] 2	570 54.4%	352 33.6%	100 9.6%	19 1.8%	5 0.5%	4.40	4.45
[Q1] 3	564 53.9%	376 35.9%	84 8.0%	18 1.7%	2 0.2%	4.42	4.44
[Q1] 4	616 58.8%	301 28.7%	112 10.7%	15 1.4%	3 0.3%	4.44	4.49
[Q2] 1	(2時間以上) 91 8.7%	(1~2時間) 193 18.4%	(30分~1時間) 279 26.6%	(15~30分) 227 21.7%	(15分未満) 257 24.5%	2.65	2.74
[Q3] 1	661 63.1%	294 28.1%	69 6.6%	8 0.8%	11 1.1%	4.52	4.47
[Q3] 2	606 57.9%	311 29.7%	95 9.1%	17 1.6%	16 1.5%	4.41	4.34
[Q3] 3	634 60.6%	279 26.6%	91 8.7%	20 1.9%	21 2.0%	4.42	4.40
[Q3] 4	655 62.6%	280 26.7%	81 7.7%	11 1.1%	18 1.7%	4.48	4.41
[Q3] 5	658 62.8%	279 26.6%	82 7.8%	12 1.1%	13 1.2%	4.49	4.35
[Q3] 6	718 68.6%	256 24.5%	60 5.7%	2 0.2%	10 1.0%	4.60	4.51
[Q3] 7	527 50.3%	374 35.7%	117 11.2%	11 1.1%	13 1.2%	4.33	4.33
[Q3] 8	690 65.9%	277 26.5%	57 5.4%	10 1.0%	13 1.2%	4.55	4.45

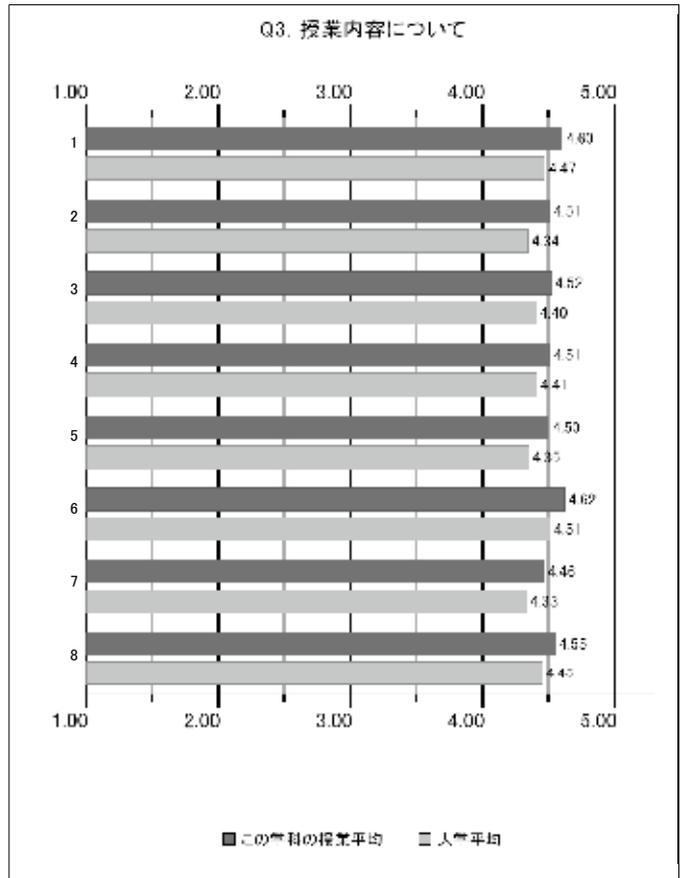
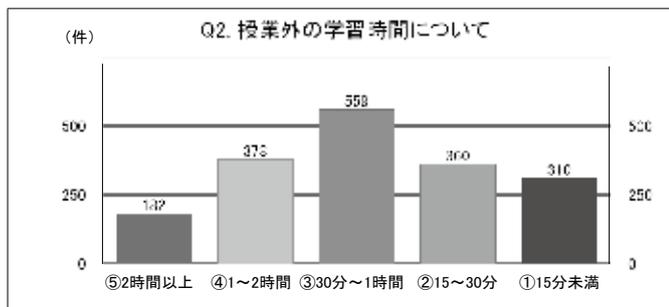
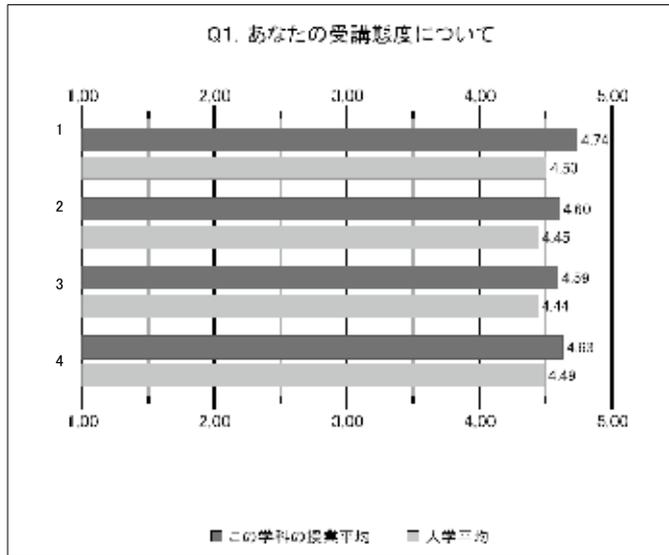
## 学科別集計 人間関係学科



上段:回答者数 / 下段:割合

設問	5. そう思う	4. どちらかといえばそう思う	3. どちらともいえない	2. どちらかといえばそう思わない	1. そう思わない	あなたの講義	全体平均
[Q1] 1	669 66.4%	250 24.8%	55 5.5%	16 1.6%	17 1.7%	4.53	4.49
[Q1] 2	561 55.7%	320 31.8%	94 9.3%	23 2.3%	8 0.8%	4.39	4.48
[Q1] 3	565 56.1%	331 32.9%	83 8.2%	21 2.1%	5 0.5%	4.42	4.48
[Q1] 4	613 60.9%	298 29.6%	82 8.1%	9 0.9%	5 0.5%	4.49	4.52
[Q2] 1	(2時間以上) 56 5.6%	(1～2時間) 183 18.2%	(30分～1時間) 283 28.1%	(15～30分) 205 20.4%	(15分未満) 280 27.8%	2.53	2.72
[Q3] 1	659 65.4%	265 26.3%	71 7.1%	6 0.6%	6 0.6%	4.55	4.49
[Q3] 2	598 59.4%	291 28.9%	92 9.1%	17 1.7%	7 0.7%	4.45	4.41
[Q3] 3	623 61.9%	260 25.8%	90 8.9%	29 2.9%	4 0.4%	4.46	4.45
[Q3] 4	633 62.9%	256 25.4%	80 7.9%	29 2.9%	6 0.6%	4.48	4.45
[Q3] 5	633 62.9%	257 25.5%	91 9.0%	18 1.8%	4 0.4%	4.49	4.41
[Q3] 6	707 70.2%	238 23.6%	49 4.9%	7 0.7%	2 0.2%	4.64	4.55
[Q3] 7	526 52.2%	346 34.4%	108 10.7%	17 1.7%	6 0.6%	4.36	4.40
[Q3] 8	661 65.6%	252 25.0%	82 8.1%	7 0.7%	5 0.5%	4.55	4.49

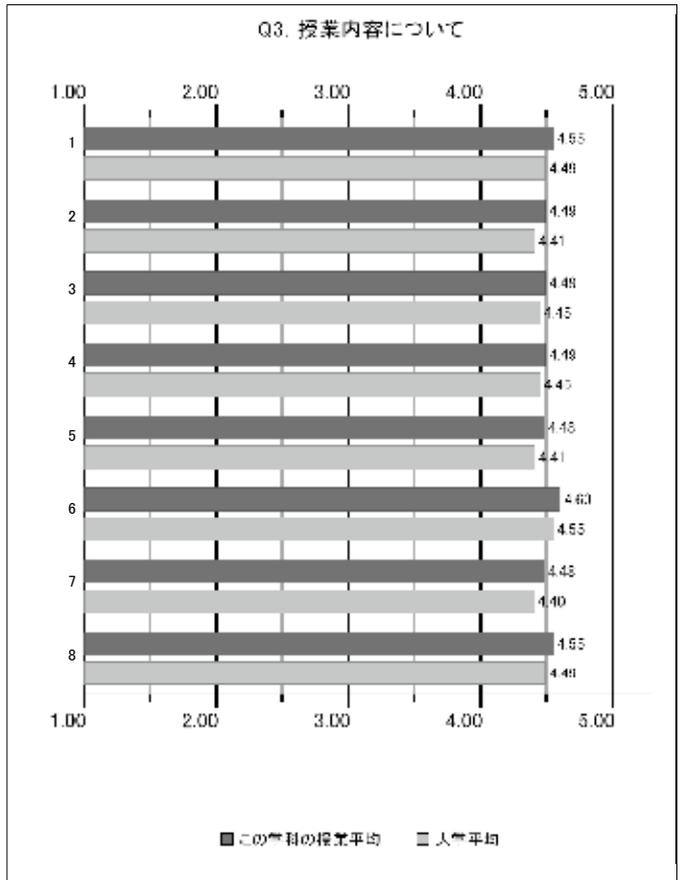
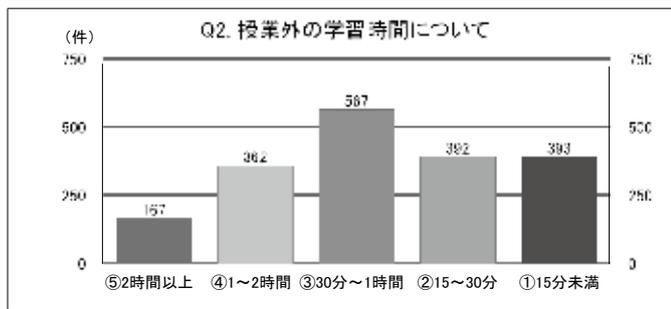
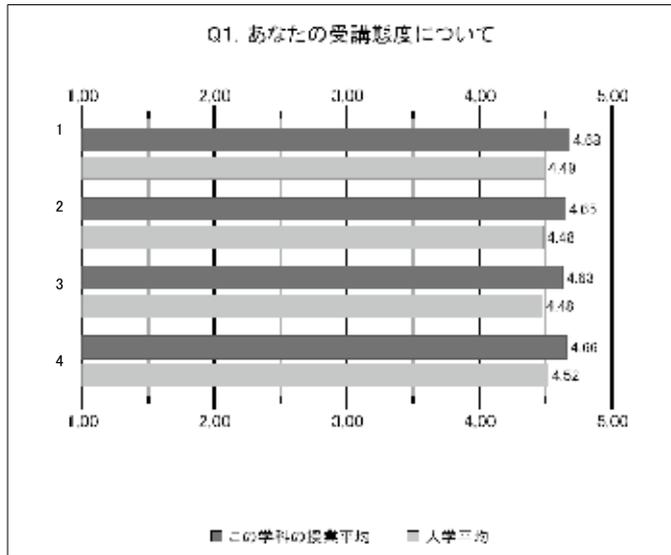
## 学科別集計 食物栄養学科



上段:回答者数 / 下段:割合

設問	5. そう思う	4. どちらかといえばそう思う	3. どちらともいえない	2. どちらかといえばそう思わない	1. そう思わない	あなたの講義	全体平均
[Q1] 1 あなたはこの授業を休んだり、課題の提出が遅れたりしないで受講しましたか。	1410 78.8%	318 17.8%	39 2.2%	15 0.8%	7 0.4%	4.74	4.50
[Q1] 2 あなたはこの授業の間、他のことに気をとられず集中して取り組みましたか。	1170 65.4%	535 29.9%	72 4.0%	8 0.4%	2 0.1%	4.60	4.45
[Q1] 3 あなたはこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか。	1163 65.0%	542 30.3%	68 3.8%	13 0.7%	2 0.1%	4.59	4.44
[Q1] 4 この授業内容の課題やレポートなどに積極的に取り組んだと思いますか。	1236 69.1%	463 25.9%	80 4.5%	8 0.4%	2 0.1%	4.63	4.49
[Q2] 1 この授業の予習・復習や課題・宿題のために、1週間あたり平均何時間勉強しましたか。	(2時間以上) 182 10.2%	(1～2時間) 378 21.1%	(30分～1時間) 559 31.2%	(15～30分) 360 20.1%	(15分未満) 310 17.3%	2.87	2.74
[Q3] 1 新型コロナ対策に沿った授業概要への変更および到達目標について説明されましたか。	1200 67.1%	493 27.6%	77 4.3%	15 0.8%	4 0.2%	4.60	4.47
[Q3] 2 学生の理解度や到達度を確認し、授業を進めていましたか。	1110 62.0%	519 29.0%	125 7.0%	24 1.3%	10 0.6%	4.51	4.34
[Q3] 3 教材(テキスト・配布資料)、教具の利用は適切でわかりやすい授業でしたか。	1130 63.2%	505 28.2%	122 6.8%	22 1.2%	9 0.5%	4.52	4.40
[Q3] 4 教員の話し方は、明瞭で聞き取りやすかったですか。	1118 62.5%	506 28.3%	128 7.2%	28 1.6%	9 0.5%	4.51	4.41
[Q3] 5 学生が質問したり、意見が述べられるように配慮がなされていましたか。	1133 63.3%	460 25.7%	156 8.7%	27 1.5%	11 0.6%	4.50	4.35
[Q3] 6 教員の授業に対する熱意・真剣さが感じられましたか。	1217 68.0%	481 26.9%	74 4.1%	9 0.5%	7 0.4%	4.62	4.51
[Q3] 7 授業の達成目標は到達できましたか。	1030 57.6%	570 31.9%	166 9.3%	17 1.0%	2 0.1%	4.46	4.33
[Q3] 8 コロナ対策の下での授業として、この授業は満足できるものでしたか。	1158 64.7%	491 27.4%	114 6.4%	22 1.2%	4 0.2%	4.55	4.45

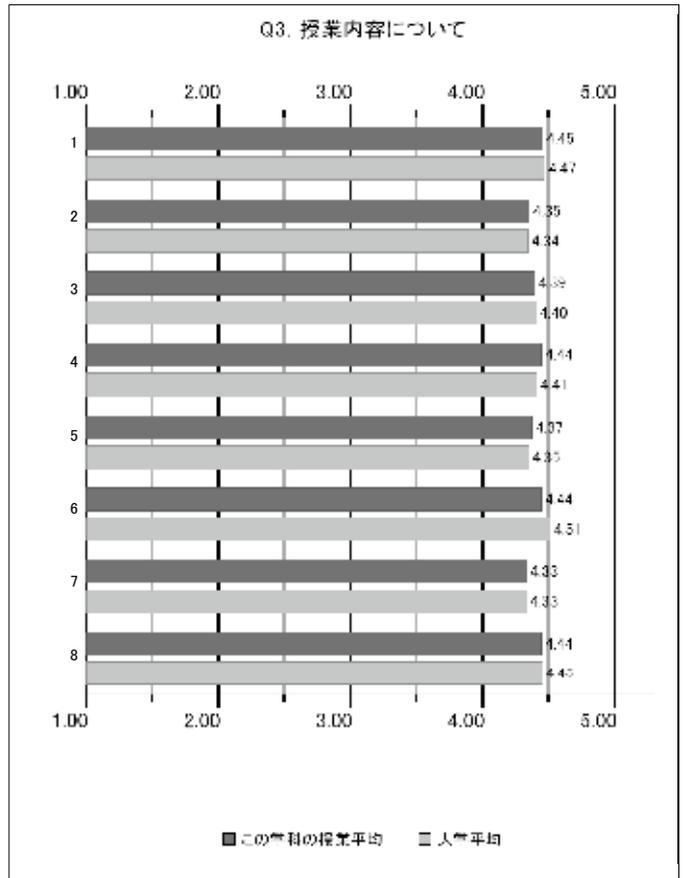
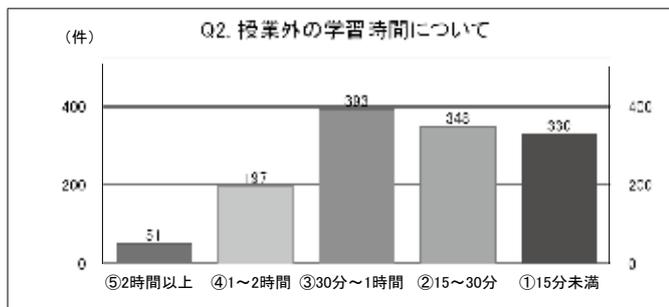
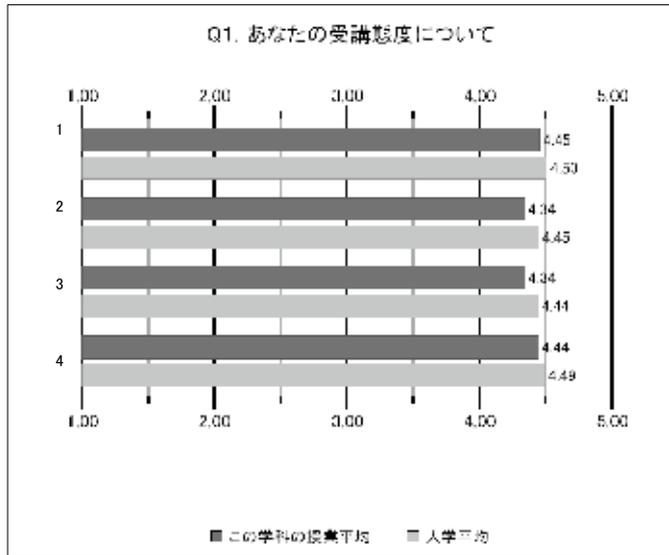
## 学科別集計 食物栄養学科



上段:回答者数 / 下段:割合

設問	5. そう思う	4. どちらかといえばそう思う	3. どちらともいえない	2. どちらかといえばそう思わない	1. そう思わない	あなたの講義	全体平均
[Q1] 1 あなたはこの授業を休んだり、課題の提出が遅れたりしないで受講しましたか。	1394 74.1%	404 21.5%	62 3.3%	14 0.7%	6 0.3%	4.68	4.49
[Q1] 2 あなたはこの授業の間、他のことに気をとられず集中して取り組みましたか。	1311 69.7%	508 27.0%	46 2.4%	15 0.8%	1 0.1%	4.65	4.48
[Q1] 3 あなたはこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか。	1281 68.1%	518 27.5%	63 3.3%	14 0.7%	2 0.1%	4.63	4.48
[Q1] 4 この授業内容の課題やレポートなどに積極的に取り組んだと思いますか。	1327 70.5%	485 25.8%	58 3.1%	9 0.5%	2 0.1%	4.66	4.52
[Q2] 1 この授業の予習・復習や課題・宿題のために、1週間あたり平均何時間勉強しましたか。	(2時間以上) 167 8.9%	(1~2時間) 362 19.2%	(30分~1時間) 567 30.1%	(15~30分) 392 20.8%	(15分未満) 393 20.9%	2.74	2.72
[Q3] 1 新型コロナ対策に沿った授業概要への変更および到達目標について説明されましたか。	1197 63.6%	554 29.5%	105 5.6%	13 0.7%	10 0.5%	4.55	4.49
[Q3] 2 学生の理解度や到達度を確認し、授業を進めていましたか。	1138 60.5%	579 30.8%	133 7.1%	19 1.0%	12 0.6%	4.49	4.41
[Q3] 3 教材(テキスト・配布資料)、教具の利用は適切でわかりやすい授業でしたか。	1148 61.0%	553 29.4%	140 7.4%	24 1.3%	11 0.6%	4.49	4.45
[Q3] 4 教員の話し方は、明瞭で聞き取りやすかったですか。	1157 61.5%	539 28.7%	145 7.7%	29 1.5%	11 0.6%	4.49	4.45
[Q3] 5 学生が質問したり、意見が述べられるように配慮がなされていましたか。	1143 60.8%	537 28.5%	167 8.9%	21 1.1%	10 0.5%	4.48	4.41
[Q3] 6 教員の授業に対する熱意・真剣さが感じられましたか。	1260 67.0%	514 27.3%	84 4.5%	15 0.8%	7 0.4%	4.60	4.55
[Q3] 7 授業の達成目標は到達できましたか。	1086 57.7%	641 34.1%	129 6.9%	17 0.9%	8 0.4%	4.48	4.40
[Q3] 8 コロナ対策の下での授業として、この授業は満足できるものでしたか。	1208 64.2%	531 28.2%	121 6.4%	15 0.8%	6 0.3%	4.55	4.49

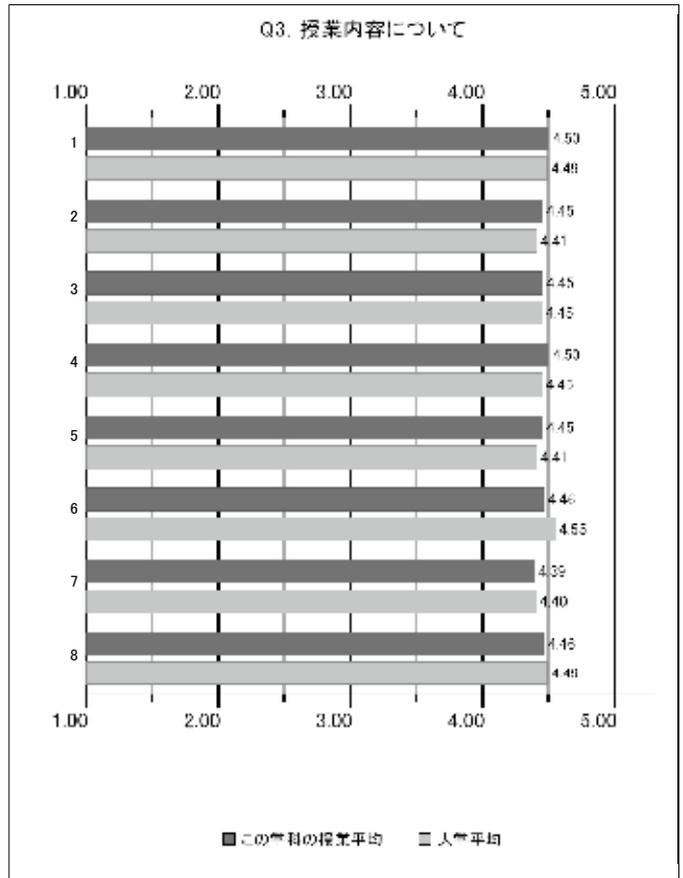
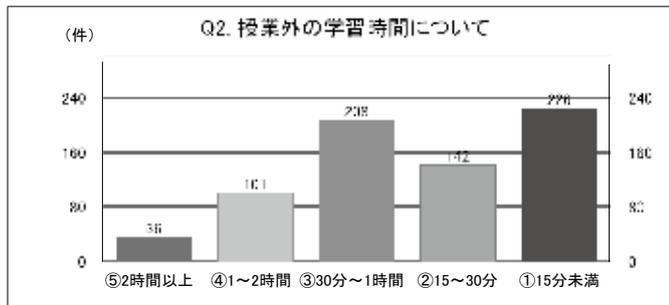
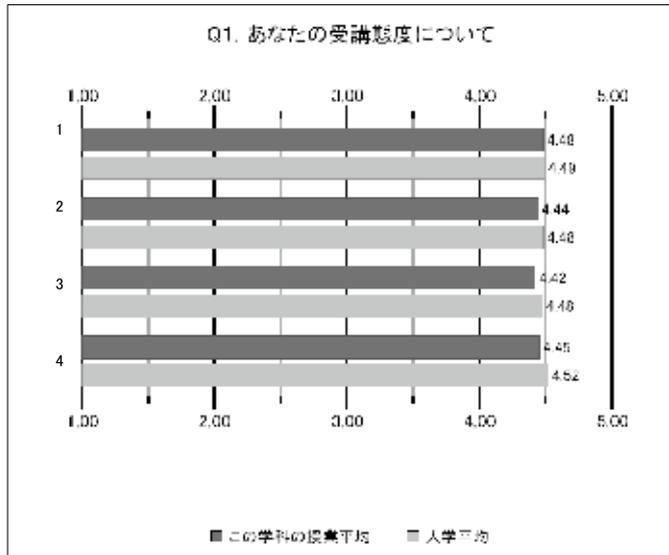
## 学科別集計 発酵食品学科



上段:回答者数 / 下段:割合

設問	5. そう思う	4. どちらかといえばそう思う	3. どちらともいえない	2. どちらかといえばそう思わない	1. そう思わない	あなたの講義	全体平均
[Q1] 1	779 59.1%	402 30.5%	101 7.7%	25 1.9%	12 0.9%	4.45	4.50
[Q1] 2	650 49.3%	502 38.1%	138 10.5%	19 1.4%	9 0.7%	4.34	4.45
[Q1] 3	660 50.0%	485 36.8%	147 11.1%	15 1.1%	11 0.8%	4.34	4.44
[Q1] 4	751 56.9%	426 32.3%	116 8.8%	19 1.4%	7 0.5%	4.44	4.49
[Q2] 1	(2時間以上) 51 3.9%	(1~2時間) 197 14.9%	(30分~1時間) 393 29.8%	(15~30分) 348 26.4%	(15分未満) 330 25.0%	2.46	2.74
[Q3] 1	766 58.1%	405 30.7%	128 9.7%	12 0.9%	8 0.6%	4.45	4.47
[Q3] 2	705 53.4%	415 31.5%	164 12.4%	28 2.1%	7 0.5%	4.35	4.34
[Q3] 3	722 54.7%	409 31.0%	162 12.3%	16 1.2%	7 0.5%	4.39	4.40
[Q3] 4	744 56.4%	430 32.6%	122 9.2%	18 1.4%	3 0.2%	4.44	4.41
[Q3] 5	738 56.0%	376 28.5%	168 12.7%	25 1.9%	9 0.7%	4.37	4.35
[Q3] 6	753 57.1%	407 30.9%	138 10.5%	15 1.1%	4 0.3%	4.44	4.51
[Q3] 7	657 49.8%	471 35.7%	168 12.7%	18 1.4%	5 0.4%	4.33	4.33
[Q3] 8	755 57.2%	413 31.3%	133 10.1%	14 1.1%	4 0.3%	4.44	4.45

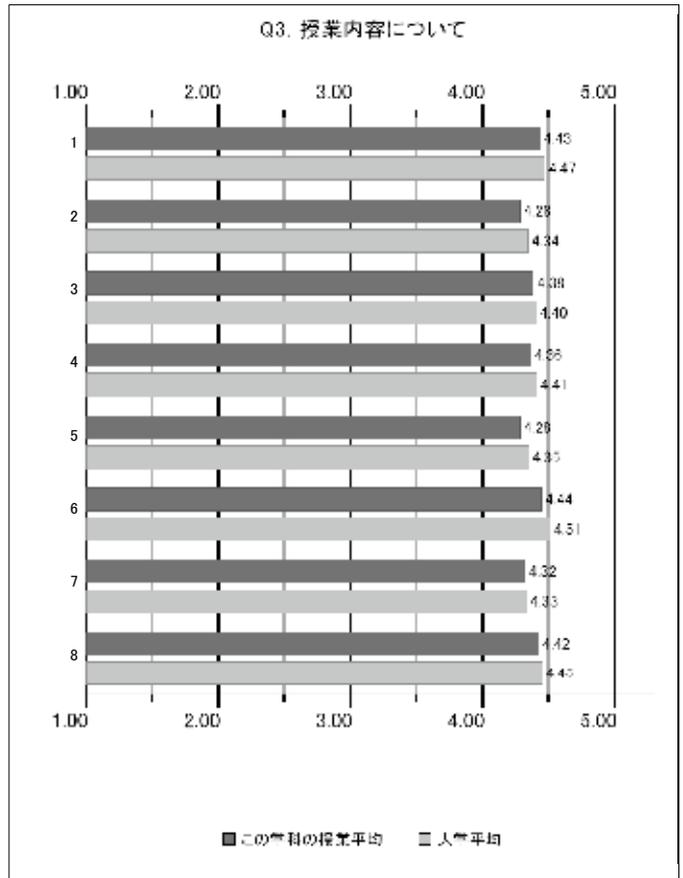
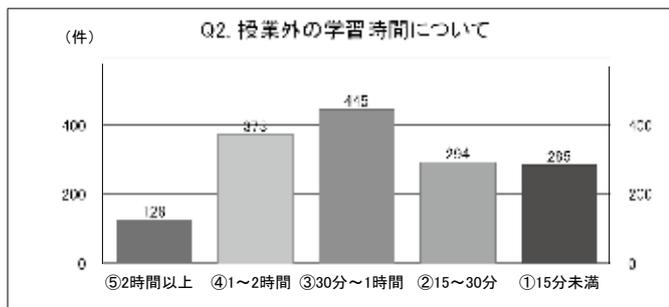
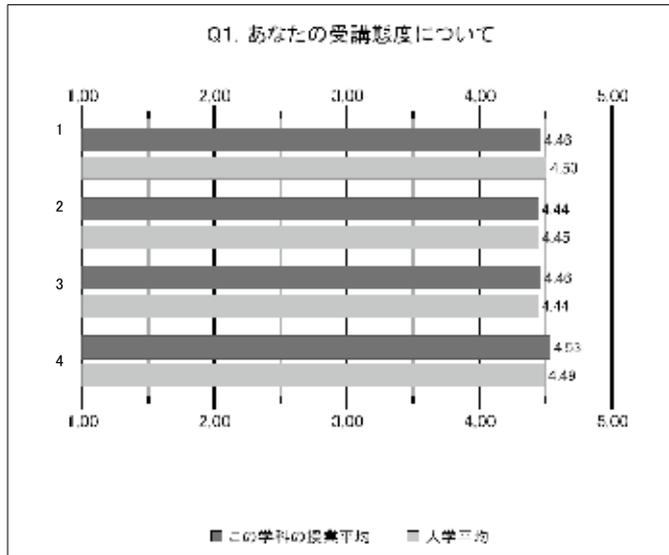
## 学科別集計 発酵食品学科



上段:回答者数 / 下段:割合

設問	5. そう思う	4. どちらかといえばそう思う	3. どちらともいえない	2. どちらかといえばそう思わない	1. そう思わない	あなたの講義	全体平均
[Q1] 1	431 60.4%	216 30.3%	46 6.5%	15 2.1%	4 0.6%	4.48	4.49
[Q1] 2	389 54.6%	260 36.5%	55 7.7%	8 1.1%	1 0.1%	4.44	4.48
[Q1] 3	378 53.0%	264 37.0%	61 8.6%	8 1.1%	0 0.0%	4.42	4.48
[Q1] 4	407 57.1%	238 33.4%	54 7.6%	12 1.7%	2 0.3%	4.45	4.52
[Q2] 1	(2時間以上) 36 5.0%	(1～2時間) 101 14.2%	(30分～1時間) 208 29.2%	(15～30分) 142 19.9%	(15分未満) 226 31.7%	2.41	2.72
[Q3] 1	430 60.3%	219 30.7%	56 7.9%	4 0.6%	3 0.4%	4.50	4.49
[Q3] 2	397 55.7%	250 35.1%	60 8.4%	4 0.6%	2 0.3%	4.45	4.41
[Q3] 3	398 55.8%	244 34.2%	63 8.8%	2 0.3%	4 0.6%	4.45	4.45
[Q3] 4	416 58.3%	241 33.8%	47 6.6%	4 0.6%	3 0.4%	4.50	4.45
[Q3] 5	408 57.2%	225 31.6%	73 10.2%	5 0.7%	1 0.1%	4.45	4.41
[Q3] 6	393 55.1%	257 36.0%	51 7.2%	6 0.8%	2 0.3%	4.46	4.55
[Q3] 7	363 50.9%	269 37.7%	72 10.1%	5 0.7%	2 0.3%	4.39	4.40
[Q3] 8	406 56.9%	240 33.7%	60 8.4%	4 0.6%	3 0.4%	4.46	4.49

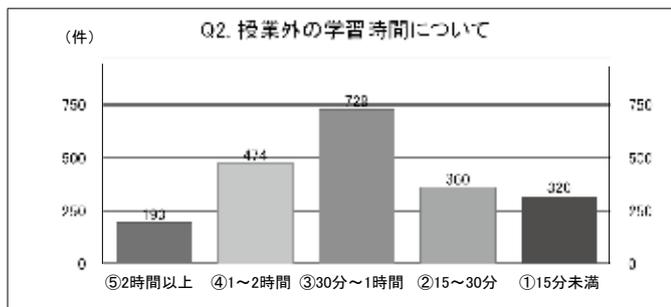
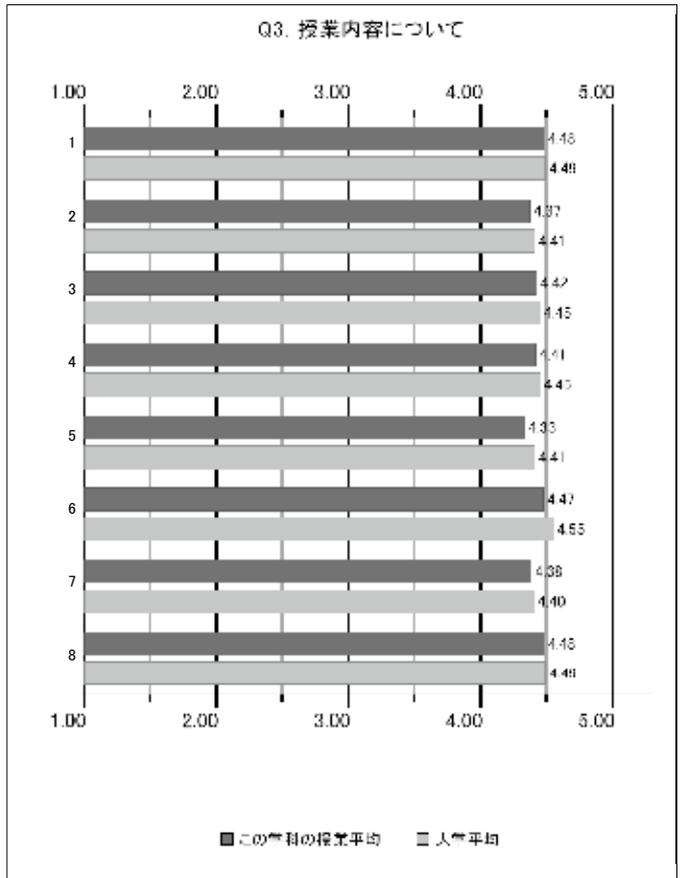
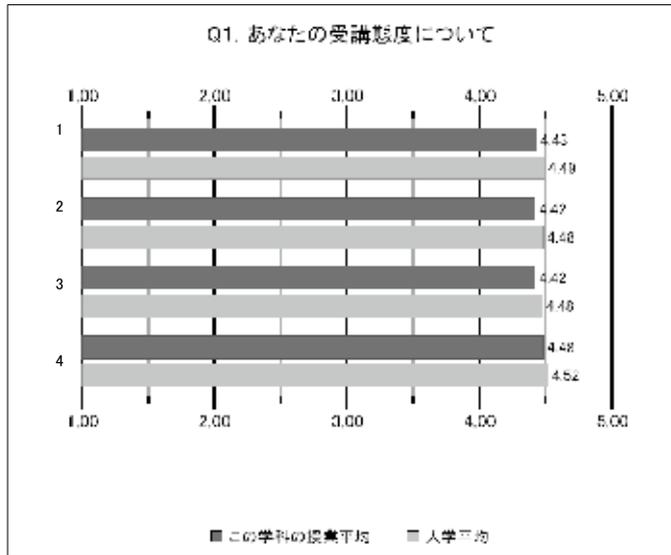
学科別集計 国際経営学科



上段:回答者数 / 下段:割合

設問	5. そう思う	4. どちらかといえばそう思う	3. どちらともいえない	2. どちらかといえばそう思わない	1. そう思わない	あなたの講義	全体平均
[Q1] 1	992 65.1%	342 22.5%	112 7.4%	48 3.2%	29 1.9%	4.46	4.50
[Q1] 2	922 60.5%	409 26.9%	153 10.0%	20 1.3%	19 1.2%	4.44	4.45
[Q1] 3	930 61.1%	405 26.6%	152 10.0%	24 1.6%	10 0.7%	4.46	4.44
[Q1] 4	1002 65.8%	365 24.0%	124 8.1%	26 1.7%	6 0.4%	4.53	4.49
[Q2] 1	(2時間以上) 126 8.3%	(1～2時間) 373 24.5%	(30分～1時間) 445 29.2%	(15～30分) 294 19.3%	(15分未満) 285 18.7%	2.84	2.74
[Q3] 1	920 60.4%	398 26.1%	162 10.6%	29 1.9%	14 0.9%	4.43	4.47
[Q3] 2	841 55.2%	378 24.8%	228 15.0%	37 2.4%	37 2.4%	4.28	4.34
[Q3] 3	891 58.5%	398 26.1%	167 11.0%	42 2.8%	22 1.4%	4.38	4.40
[Q3] 4	898 59.0%	360 23.6%	192 12.6%	39 2.6%	27 1.8%	4.36	4.41
[Q3] 5	842 55.3%	362 23.8%	241 15.8%	49 3.2%	26 1.7%	4.28	4.35
[Q3] 6	933 61.3%	375 24.6%	169 11.1%	28 1.8%	14 0.9%	4.44	4.51
[Q3] 7	802 52.7%	466 30.6%	210 13.8%	34 2.2%	10 0.7%	4.32	4.33
[Q3] 8	915 60.1%	397 26.1%	160 10.5%	36 2.4%	15 1.0%	4.42	4.45

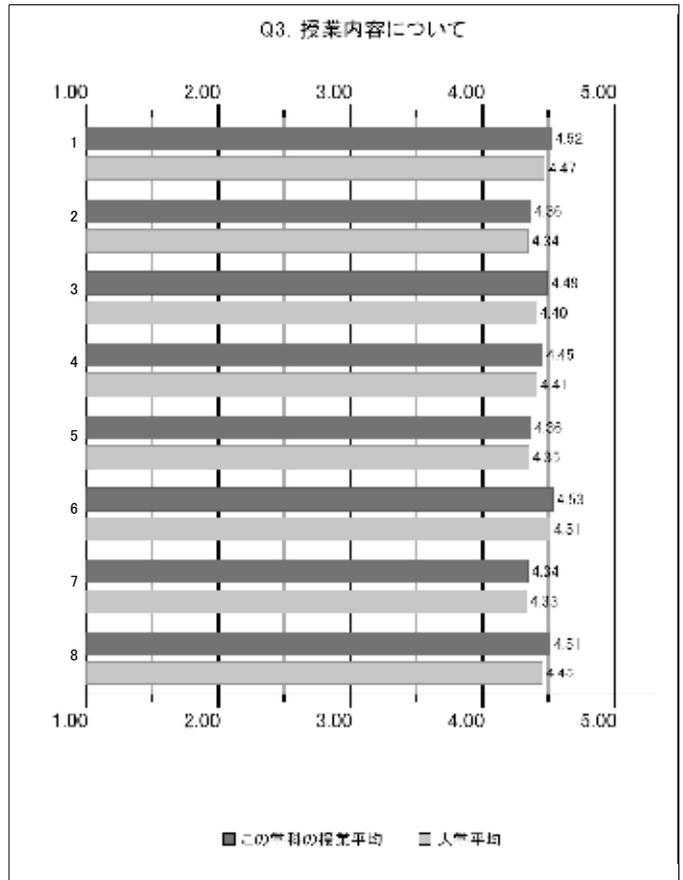
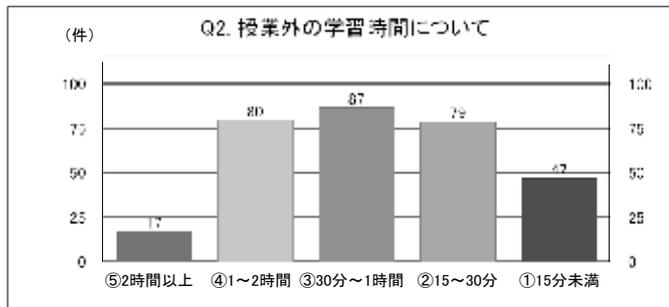
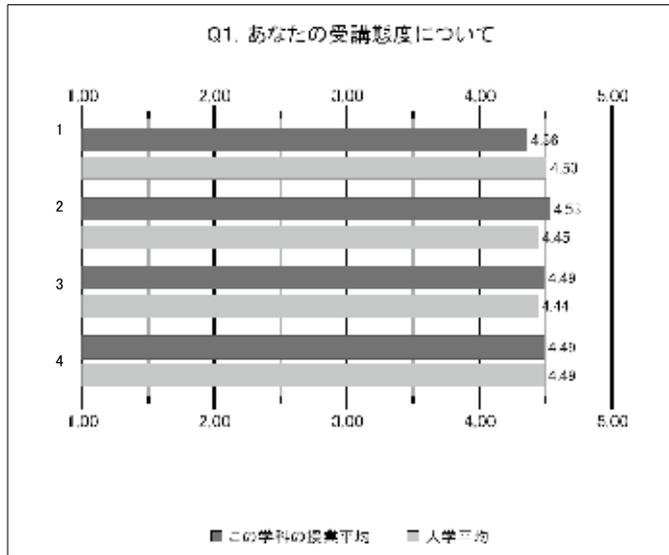
学科別集計 国際経営学科



上段:回答者数 / 下段:割合

設問	5. そう思う	4. どちらかといえばそう思う	3. どちらともいえない	2. どちらかといえばそう思わない	1. そう思わない	あなたの講義	全体平均
[Q1] 1 あなたはこの授業を休んだり、課題の提出が遅れたりしないで受講しましたか。	1253 60.4%	551 26.5%	209 10.1%	34 1.6%	29 1.4%	4.43	4.49
[Q1] 2 あなたはこの授業の間、他のことに気をとられず集中して取り組みましたか。	1193 57.5%	626 30.2%	216 10.4%	24 1.2%	17 0.8%	4.42	4.48
[Q1] 3 あなたはこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか。	1199 57.8%	600 28.9%	234 11.3%	28 1.3%	12 0.6%	4.42	4.48
[Q1] 4 この授業内容の課題やレポートなどに積極的に取り組んだと思いますか。	1263 60.8%	582 28.0%	200 9.6%	22 1.1%	9 0.4%	4.48	4.52
[Q2] 1 この授業の予習・復習や課題・宿題のために、1週間あたり平均何時間勉強しましたか。	(2時間以上) 193 9.3%	(1～2時間) 474 22.8%	(30分～1時間) 729 35.1%	(15～30分) 360 17.3%	(15分未満) 320 15.4%	2.93	2.72
[Q3] 1 新型コロナ対策に沿った授業概要への変更および到達目標について説明されましたか。	1307 63.0%	517 24.9%	214 10.3%	20 1.0%	17 0.8%	4.48	4.49
[Q3] 2 学生の理解度や到達度を確認し、授業を進めていましたか。	1211 58.3%	513 24.7%	275 13.2%	44 2.1%	30 1.4%	4.37	4.41
[Q3] 3 教材(テキスト・配布資料)、教具の利用は適切でわかりやすい授業でしたか。	1245 60.0%	520 25.0%	249 12.0%	38 1.8%	19 0.9%	4.42	4.45
[Q3] 4 教員の話し方は、明瞭で聞き取りやすかったですか。	1255 60.5%	493 23.7%	257 12.4%	43 2.1%	23 1.1%	4.41	4.45
[Q3] 5 学生が質問したり、意見が述べられるように配慮がなされていましたか。	1184 57.0%	499 24.0%	301 14.5%	47 2.3%	38 1.8%	4.33	4.41
[Q3] 6 教員の授業に対する熱意・真剣さが感じられましたか。	1316 63.4%	478 23.0%	230 11.1%	27 1.3%	22 1.1%	4.47	4.55
[Q3] 7 授業の達成目標は到達できましたか。	1145 55.2%	612 29.5%	271 13.1%	24 1.2%	15 0.7%	4.38	4.40
[Q3] 8 コロナ対策の下での授業として、この授業は満足できるものでしたか。	1322 63.7%	487 23.5%	219 10.5%	33 1.6%	15 0.7%	4.48	4.49

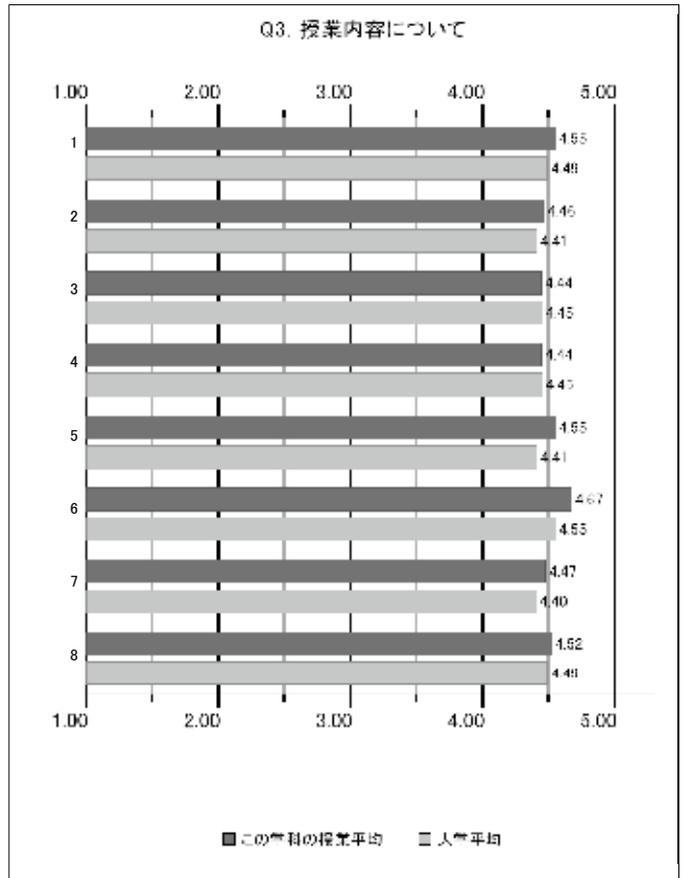
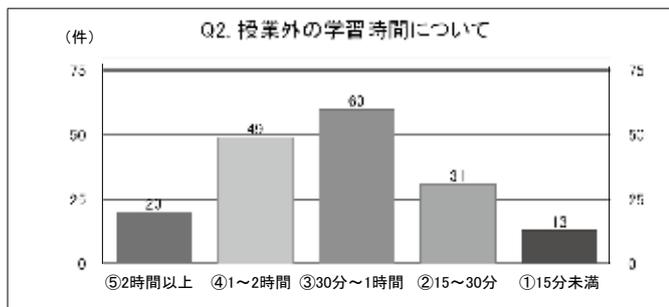
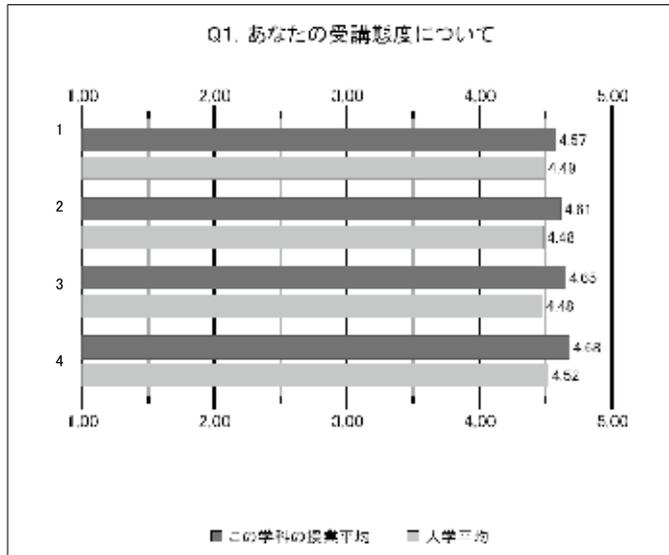
## 学科別集計 教職課程



上段:回答者数 / 下段:割合

設問	5. そう思う	4. どちらかといえばそう思う	3. どちらともいえない	2. どちらかといえばそう思わない	1. そう思わない	あなたの講義	全体平均
[Q1] 1 あなたはこの授業を休んだり、課題の提出が遅れたりしないで受講しましたか。	180 58.1%	81 26.1%	34 11.0%	10 3.2%	5 1.6%	4.36	4.50
[Q1] 2 あなたはこの授業の間、他のことに気をとられず集中して取り組みましたか。	196 63.2%	89 28.7%	19 6.1%	5 1.6%	1 0.3%	4.53	4.45
[Q1] 3 あなたはこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか。	186 60.0%	97 31.3%	20 6.5%	6 1.9%	1 0.3%	4.49	4.44
[Q1] 4 この授業内容の課題やレポートなどに積極的に取り組んだと思いますか。	191 61.6%	88 28.4%	25 8.1%	5 1.6%	1 0.3%	4.49	4.49
[Q2] 1 この授業の予習・復習や課題・宿題のために、1週間あたり平均何時間勉強しましたか。	(2時間以上) 17 5.5%	(1~2時間) 80 25.8%	(30分~1時間) 87 28.1%	(15~30分) 79 25.5%	(15分未満) 47 15.2%	2.81	2.74
[Q3] 1 新型コロナ対策に沿った授業概要への変更および到達目標について説明されましたか。	190 61.3%	92 29.7%	26 8.4%	2 0.6%	0 0.0%	4.52	4.47
[Q3] 2 学生の理解度や到達度を確認し、授業を進めていましたか。	163 52.6%	104 33.5%	33 10.6%	7 2.3%	2 0.6%	4.36	4.34
[Q3] 3 教材(テキスト・配布資料)、教具の利用は適切でわかりやすい授業でしたか。	189 61.0%	89 28.7%	28 9.0%	4 1.3%	0 0.0%	4.49	4.40
[Q3] 4 教員の話し方は、明瞭で聞き取りやすかったですか。	190 61.3%	80 25.8%	29 9.4%	9 2.9%	1 0.3%	4.45	4.41
[Q3] 5 学生が質問したり、意見が述べられるように配慮がなされていましたか。	166 53.5%	104 33.5%	30 9.7%	5 1.6%	5 1.6%	4.36	4.35
[Q3] 6 教員の授業に対する熱意・真剣さが感じられましたか。	194 62.6%	90 29.0%	21 6.8%	5 1.6%	0 0.0%	4.53	4.51
[Q3] 7 授業の達成目標は到達できましたか。	153 49.4%	111 35.8%	38 12.3%	4 1.3%	1 0.3%	4.34	4.33
[Q3] 8 コロナ対策の下での授業として、この授業は満足できるものでしたか。	189 61.0%	95 30.6%	22 7.1%	3 1.0%	1 0.3%	4.51	4.45

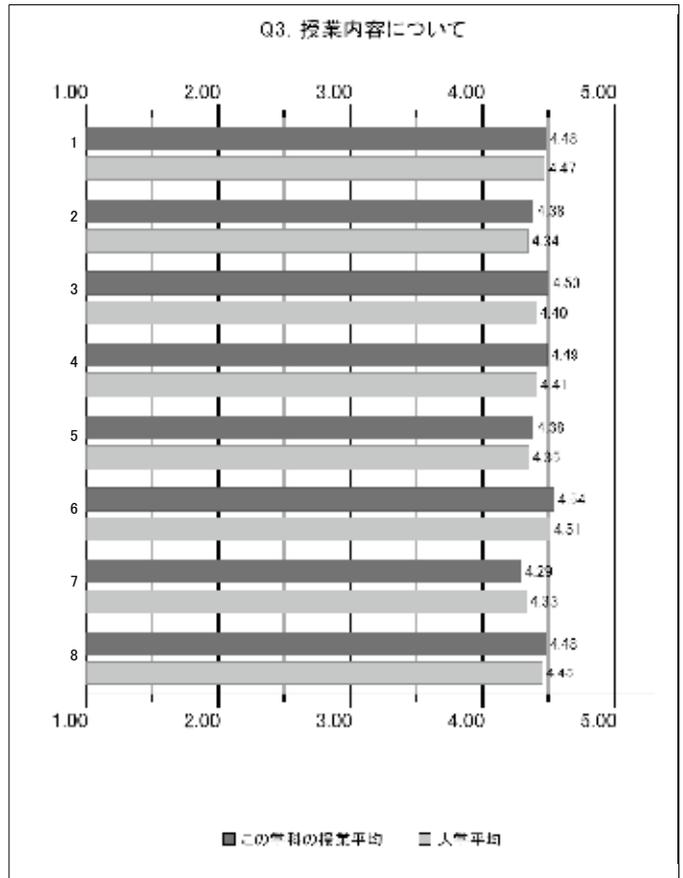
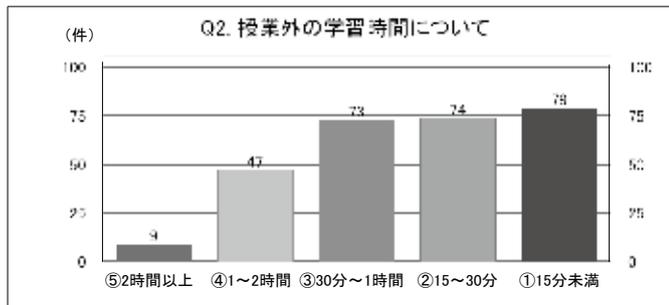
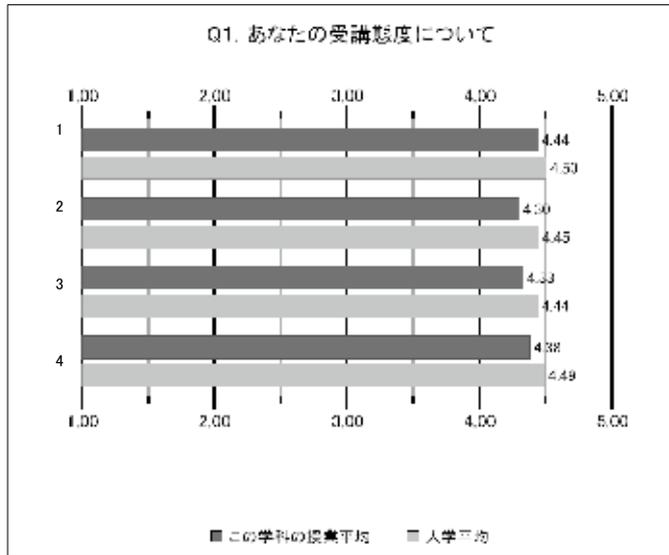
## 学科別集計 教職課程



上段:回答者数 / 下段:割合

設問	5. そう思う	4. どちらかといえばそう思う	3. どちらともいえない	2. どちらかといえばそう思わない	1. そう思わない	あなたの講義	全体平均
[Q1] 1	110 63.6%	53 30.6%	8 4.6%	2 1.2%	0 0.0%	4.57	4.49
[Q1] 2	117 67.6%	48 27.7%	5 2.9%	3 1.7%	0 0.0%	4.61	4.48
[Q1] 3	126 72.8%	39 22.5%	4 2.3%	3 1.7%	1 0.6%	4.65	4.48
[Q1] 4	126 72.8%	39 22.5%	7 4.0%	1 0.6%	0 0.0%	4.68	4.52
[Q2] 1	(2時間以上) 20 11.6%	(1~2時間) 49 28.3%	(30分~1時間) 60 34.7%	(15~30分) 31 17.9%	(15分未満) 13 7.5%	3.18	2.72
[Q3] 1	120 69.4%	33 19.1%	17 9.8%	2 1.2%	1 0.6%	4.55	4.49
[Q3] 2	112 64.7%	36 20.8%	19 11.0%	4 2.3%	2 1.2%	4.46	4.41
[Q3] 3	108 62.4%	41 23.7%	18 10.4%	4 2.3%	2 1.2%	4.44	4.45
[Q3] 4	113 65.3%	35 20.2%	17 9.8%	4 2.3%	4 2.3%	4.44	4.45
[Q3] 5	122 70.5%	31 17.9%	16 9.2%	2 1.2%	2 1.2%	4.55	4.41
[Q3] 6	133 76.9%	27 15.6%	9 5.2%	1 0.6%	2 1.2%	4.67	4.55
[Q3] 7	104 60.1%	49 28.3%	18 10.4%	1 0.6%	1 0.6%	4.47	4.40
[Q3] 8	115 66.5%	40 23.1%	13 7.5%	3 1.7%	2 1.2%	4.52	4.49

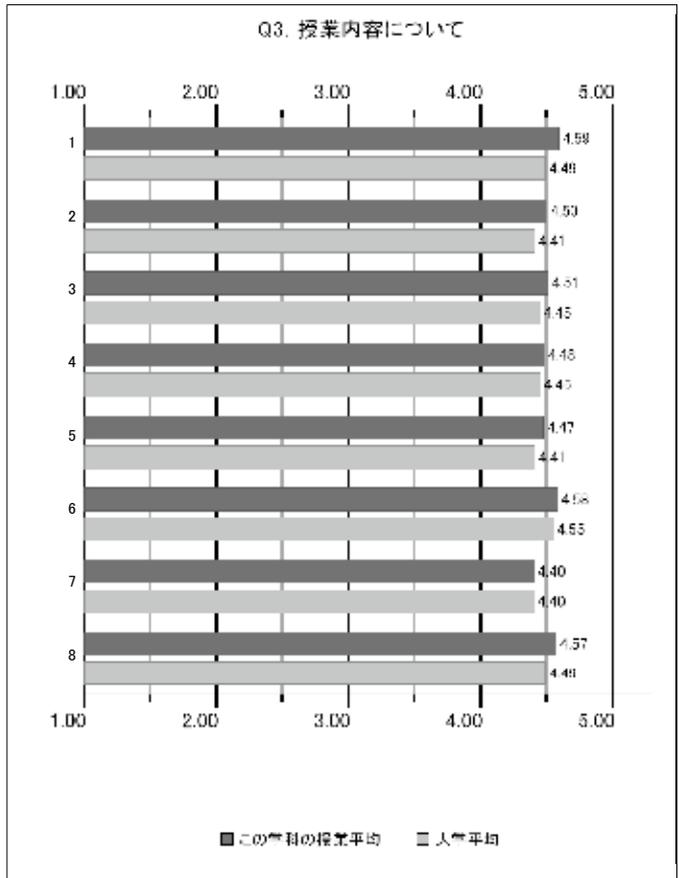
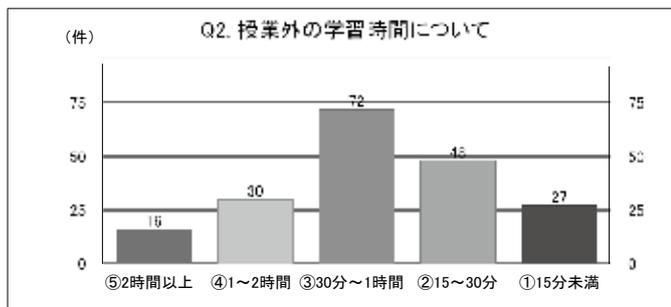
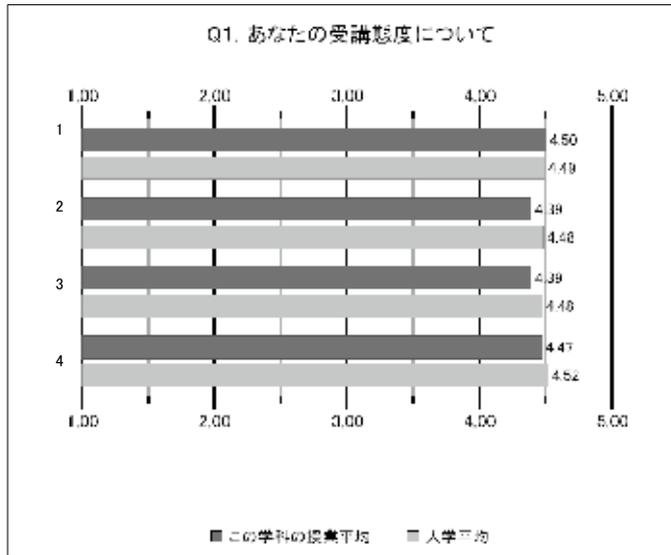
## 学科別集計 司書課程



上段:回答者数 / 下段:割合

設問	5. そう思う	4. どちらかといえばそう思う	3. どちらともいえない	2. どちらかといえばそう思わない	1. そう思わない	あなたの講義	全体平均
[Q1] 1	172 61.0%	73 25.9%	28 9.9%	6 2.1%	3 1.1%	4.44	4.50
[Q1] 2	132 46.8%	108 38.3%	38 13.5%	3 1.1%	1 0.4%	4.30	4.45
[Q1] 3	136 48.2%	109 38.7%	31 11.0%	5 1.8%	1 0.4%	4.33	4.44
[Q1] 4	149 52.8%	98 34.8%	29 10.3%	5 1.8%	1 0.4%	4.38	4.49
[Q2] 1	(2時間以上) 9 3.2%	(1~2時間) 47 16.7%	(30分~1時間) 73 25.9%	(15~30分) 74 26.2%	(15分未満) 79 28.0%	2.41	2.74
[Q3] 1	167 59.2%	86 30.5%	25 8.9%	2 0.7%	1 0.4%	4.48	4.47
[Q3] 2	155 55.0%	86 30.5%	35 12.4%	5 1.8%	1 0.4%	4.38	4.34
[Q3] 3	172 61.0%	85 30.1%	20 7.1%	3 1.1%	2 0.7%	4.50	4.40
[Q3] 4	172 61.0%	78 27.7%	28 9.9%	2 0.7%	1 0.4%	4.49	4.41
[Q3] 5	170 60.3%	61 21.6%	42 14.9%	5 1.8%	4 1.4%	4.38	4.35
[Q3] 6	180 63.8%	76 27.0%	24 8.5%	2 0.7%	0 0.0%	4.54	4.51
[Q3] 7	131 46.5%	104 36.9%	41 14.5%	4 1.4%	0 0.0%	4.29	4.33
[Q3] 8	176 62.4%	74 26.2%	26 9.2%	4 1.4%	2 0.7%	4.48	4.45

## 学科別集計 司書課程



上段:回答者数 / 下段:割合

設問	5. そう思う	4. どちらかといえばそう思う	3. どちらともいえない	2. どちらかといえばそう思わない	1. そう思わない	あなたの講義	全体平均
[Q1] 1 あなたはこの授業を休んだり、課題の提出が遅れたりしないで受講しましたか。	115 59.6%	63 32.6%	12 6.2%	3 1.6%	0 0.0%	4.50	4.49
[Q1] 2 あなたはこの授業の間、他のことに気をとられず集中して取り組みましたか。	97 50.3%	77 39.9%	17 8.8%	2 1.0%	0 0.0%	4.39	4.48
[Q1] 3 あなたはこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか。	97 50.3%	77 39.9%	17 8.8%	2 1.0%	0 0.0%	4.39	4.48
[Q1] 4 この授業内容の課題やレポートなどに積極的に取り組んだと思いますか。	112 58.0%	62 32.1%	17 8.8%	2 1.0%	0 0.0%	4.47	4.52
[Q2] 1 この授業の予習・復習や課題・宿題のために、1週間あたり平均何時間勉強しましたか。	(2時間以上) 16 8.3%	(1～2時間) 30 15.5%	(30分～1時間) 72 37.3%	(15～30分) 48 24.9%	(15分未満) 27 14.0%	2.79	2.72
[Q3] 1 新型コロナ対策に沿った授業概要への変更および到達目標について説明されましたか。	123 63.7%	60 31.1%	10 5.2%	0 0.0%	0 0.0%	4.59	4.49
[Q3] 2 学生の理解度や到達度を確認し、授業を進めていましたか。	116 60.1%	59 30.6%	17 8.8%	1 0.5%	0 0.0%	4.50	4.41
[Q3] 3 教材(テキスト・配布資料)、教具の利用は適切でわかりやすい授業でしたか。	117 60.6%	60 31.1%	13 6.7%	3 1.6%	0 0.0%	4.51	4.45
[Q3] 4 教員の話し方は、明瞭で聞き取りやすかったですか。	116 60.1%	55 28.5%	19 9.8%	2 1.0%	0 0.0%	4.48	4.45
[Q3] 5 学生が質問したり、意見が述べられるように配慮がなされていましたか。	118 61.1%	51 26.4%	21 10.9%	3 1.6%	0 0.0%	4.47	4.41
[Q3] 6 教員の授業に対する熱意・真剣さが感じられましたか。	124 64.2%	57 29.5%	12 6.2%	0 0.0%	0 0.0%	4.58	4.55
[Q3] 7 授業の達成目標は到達できましたか。	98 50.8%	75 38.9%	16 8.3%	3 1.6%	0 0.0%	4.40	4.40
[Q3] 8 コロナ対策の下での授業として、この授業は満足できるものでしたか。	120 62.2%	63 32.6%	10 5.2%	0 0.0%	0 0.0%	4.57	4.49

### 3. 2021年度学生による授業評価アンケート実施要項等



## 令和3年度 学生による授業評価アンケート実施に関する指導のお願い

昨年に引き続き、平常に近い授業を目指して授業を実施していただいておりますことにここに感謝申し上げます。

さて授業の改善を目的に授業アンケートを実施いたします。すでにお知らせしましたように、今年度も、遠隔授業に関連する項目を加えて、問題点を抽出し今後に向けて改善していきたいと思っております。

諸先生がたには、貴重な教育時間を削ることになりますが、できれば各演習の時間を利用していただき、以下の注意点を踏まえて、学生に授業アンケートを実施するようご指導を賜りたくここにお願い申し上げます。

### 注意点：

1. 全科目において授業評価アンケートを実施する
2. ポートフォリオ学習支援システムを利用し WEB 上で実施する  
\* アンケート実施手順(2 ページ以降)を参照

入力期間は、2021 年 7 月 5 日（月）から 7 月 24 日（土）。

入力期間を昨年度よりも長くいたしました。従来回収率が悪い場合、できれば、その期間内で実施する演習において、学生に授業評価アンケートを入力するようご指導頂きますようお願い申し上げます。なお回収率を上げるために、教務課から学生に掲示で告知し、一斉メールでも知らせます。またオンライン授業で実施する場合、学生にアンケートの記入を要請する画面(pptx)も用意し、先生がたに配布いたします。

以下、特にご注意頂く点を記します。

1. 対象科目に関して  
原則として全科目です。  
教育実習などの実習科目もアンケート対象になります。シラバスに記入された科目はすべて対象になるとお考えください。
2. 学生への指導に関して
  - ① できれば期限内の演習などの時間内で入力する時間を設けていただき、完了するようにご指導ください。
  - ② ポートフォリオの授業アンケートのページには、各科目において、2020 年度での授業アンケートを確定しているというデータもあがってきますので、必ず 2021 年

度のアンケート項目で答えるようにお伝えください。

- ③ 入力方法がわからない学生がいれば、アンケート実施手順（2ページ以降）を示してご説明ください。
  - ④ 学外でもアクセスできます。
3. 4の「オンライン授業について」（質問事項5項目）は個別の授業を対象とする質問ではないので、評価は1度のみ行ってもらいます。1年「導入演習」 2年「発展演習」 3年「専門演習」 4年「卒業演習」で回答してもらうようにご指示をお願いいたします。

以上、大変お手数をおかけしますが、どうぞよろしく願いいたします。

大学 FD 委員長  
安松みゆき

令和3年度 学生による後期授業評価アンケート実施要領と指導のお願い

教員各位

学務多忙のなか FD 研修会および授業改善にご協力賜り、心より御礼申し上げます。

さて授業の改善を目的に授業アンケートを実施いたします。今年度も、遠隔授業に関連する項目を加えて、問題点を抽出し今後に向けて改善していきたいと思っております。必ず全員の学生が入力するようにご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

記:

1 全科目(教育実習 I,II を除く)において授業評価アンケートを実施

2 ポートフォリオ学習支援システムを利用して WEB 上で実施

3 入力期間 2022 年 1 月 11 日(月)～2022 年 1 月 22 日(土)

4 ご指導上の注意事項

\* 入力については回収率を高めるために、誠に申し訳ありませんが、できるだけ授業のなかで実施していただきますようお願いいたします。

\* 回収率を高めるために、ppt での知らせを作成し、moodleFD/SD 研修会にアップします。また今回はこの依頼文や関連する資料を先生がたのボックスにお入れいたします。いずれも1月11日(月)前までに準備いたします。ご利用いただければ幸いです。

\* 入力方法がわからない学生がいましたら、アンケート実施手順(2ページ以降を示してご説明ください。

\* 「期限内」で入力するようにご指導ください。

\* 学外でも入力は可能です。

\* コロナ禍の授業に関する質問は、1年生は基礎演習、2年生は発展演習2、3年生は専門演習2、4年生は卒業演習2においてのみ回答するように指示してください。他の科目に表示ができませんが、回答する必要はありません。

以上、大変お手数をおかけしますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

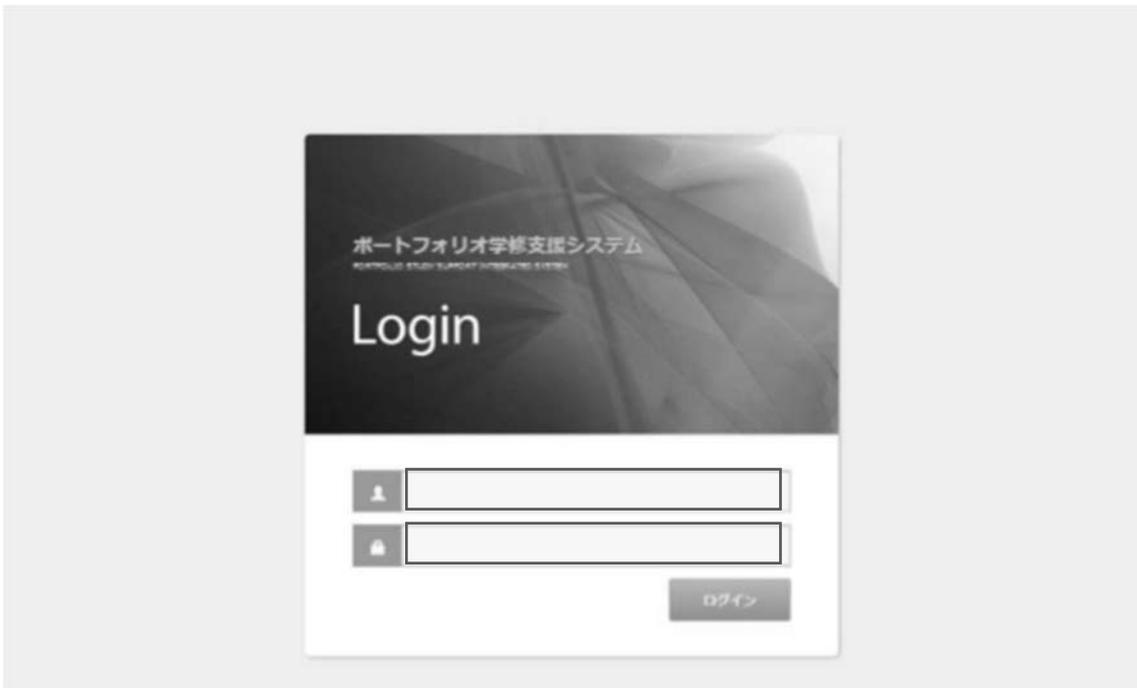
FD 委員長

## ポートフォリオ学修支援システムによる授業評価アンケート実施手順

- 在学生ポータル「学生支援」の「ポートフォリオ学修支援システム」へログイン



- ログイン画面



- ①ユーザーID とパスワードの入力しログインをする。

- ポートフォリオ学修支援システムのメニューから「授業評価アンケート」をクリック

The screenshot shows the 'ポートフォリオ学修支援システム' (Portfolio Learning Support System) interface. On the left, a sidebar menu has '授業評価アンケート' (Class Evaluation Survey) highlighted. The main content area is titled '授業評価アンケート' and contains a table of courses. Each row in the table includes a course ID, title, semester, status, and a '評価' (Evaluate) button. The '評価' button for the first row (W90072) is highlighted with a red box.

科目	年次	学期	履修	評価	完了
W90072 世界史選読特級学Ⅱ	2020年度	後期	有	○	評価
W90071 世界史選読特級学Ⅰ	2020年度	前期	有		評価
W80072 科学技術Ⅱ	2019年度	後期	有	○	評価
C70051 認知心理学Ⅱ	2019年度	前期	有	○	評価
C70061 認知心理学Ⅰ	2019年度	前期	有	○	評価
C70071 認知心理学Ⅲ	2019年度	前期	有	○	評価
C70081 多言語概論入門	2019年度	前期	有	○	評価
CB0061 アニメーション基礎技術Ⅰ	2019年度	前期	有	○	評価
CB0071 アニメーション基礎技術Ⅱ	2019年度	前期	有	○	評価
CB0081 CG演習Ⅰ	2019年度	前期	有	○	評価
C90101 演義Ⅰ	2019年度	通年	有	○	評価

①履修科目一覧（前期・後期）が表示される。

②回答する科目の詳細ボタンをクリックすると授業評価アンケート回答画面が表示される。

## ● 授業評価アンケート設問回答画面

### ① 設問回答欄

設定された設問に対する回答を入力します。  
回答期間内のアンケートのみ入力が可能です。

### ② 下書き保存ボタン

入力した内容を保存します。

### ③ 確定ボタン

入力した内容を登録します。

### ④ 戻るボタン

授業評価アンケート一覧画面に戻ります。